

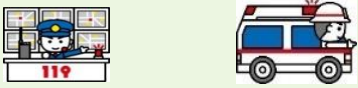
救急業務のDX推進に係る 消防本部担当者向け技術カタログ

消防庁 救急企画室

令和7年3月



本技術カタログの位置付け

フェーズ	Ⅰ. 119入電～出動～現場到着 	Ⅱ. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	Ⅲ. 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	Ⅳ. 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への 自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

本技術カタログは、下記のいずれか又は複数の機能を有し、救急業務の効率化・円滑化に資するシステムの公募を行い、取りまとめたものである。本技術カタログの利用条件等は「救急業務のDX推進に係る消防本部担当者向け技術カタログ利用規約」に規定しているので、当該利用規約に基づき利用すること。

利用規約URL:https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-151/03/riyoukiyaku01.pdf

目次

フェーズⅠ

①救急需要予測及び②救急隊（車）最適配置（AIビッグデータ）・・・P3～P6

③映像通報・・・P7～P11

フェーズⅡⅢ

④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)・・・P12～P31

⑤観察内容等の自動記録・・・P32～P39

⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助・・・P40～P44

フェーズⅡ

⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼・・・P45～P55

⑧収集した情報を引継書へ自動反映・・・P56～P63

フェーズⅢ

⑨電子サイン・・・P64～P69

⑩活動記録票への自動反映・・・P70～P81

フェーズⅣ

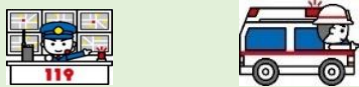
⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援・・・P82～P95

⑫救急車の資材在庫管理・・・P96～P105

⑬救急隊員の労務負担の把握・・・P106～P111

フェーズⅠ

①救急需要予測及び②救急隊（車）最適配置（AI、ビッグデータ）

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン	

システム名：救急需要予測及び配置シミュレーション

フェーズ：ⅠⅣ／機能：①救急需要予測、②救急隊（車）最適配置（AIビッグデータ）⑬

【システムの概要】 救急需要を予測し予測に応じた最適な配置をシミュレーションする



データ解析

- 過去の救急統計データ
- 住民基本台帳地区別・年齢別人口
- 地区別・年齢別人口/人口推計
- 国勢調査将来人口推計
- 天候/天気予報など



救急需要予測

地理情報、使用道路、エリア、地区、時間帯、天候、人口、高齢者の割合など、様々な要因を網羅的に解析しAIを活用し需要を予測



シミュレーション

- 救急隊の配置可能場所、増隊場所、移動配置場所等を設定
- 運用条件を設定（曜日/署所/時間）
- 最適な配置を運用計画を検討



最適配置・部隊運用

事例①

短期的：システム運用

救急需要予測最適配置シミュレーションシステムの運用

事例②

長期的：報告書

救急活動記録データ分析・調査/
将来予測シミュレーション レポート作成

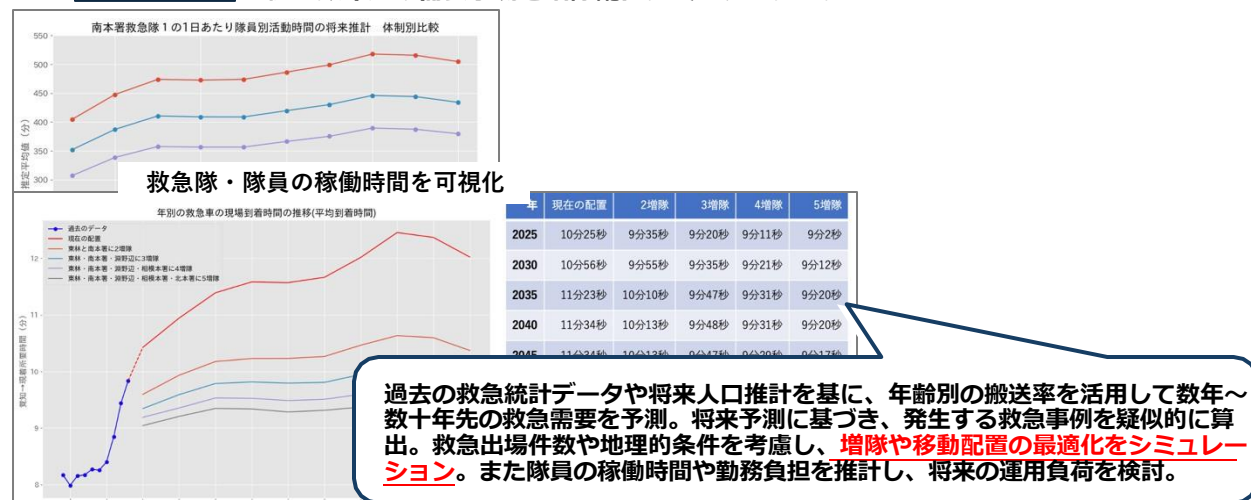
事例①

例：2日後までの需要予測と増隊配置シミュレーション



事例②

例：数年先の需要予測と増隊配置シミュレーション



【導入実績】 ◇川崎市消防局（事例①） ◇相模原市消防局（事例②）

【訴求ポイント】 赤字で記載

【導入効果】 事前に救急需要を予測し配置や増隊場所を決めることで初動が早くなり、現場到着時間の短縮や救急隊の効率の良い活動が期待できる。

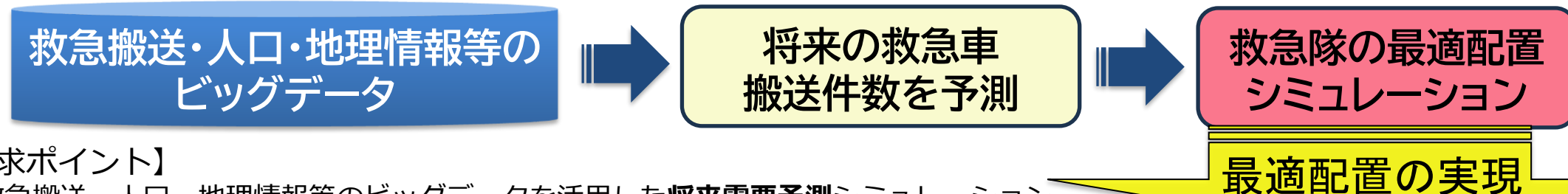


システム名：救急需要予測及び配置シミュレーション

フェーズ：Ⅰ／機能：①救急需要予測、②救急隊（車）最適配置（AIビッグデータ）

【システム概要】

救急搬送実績データ、人口、地理情報等のビッグデータを用い、
将来の救急車搬送件数を予測し、救急隊の最適配置シミュレーションを実施する技術を有している。



【訴求ポイント】

- ・救急搬送・人口・地理情報等のビッグデータを活用した**将来需要予測シミュレーション**
- ・配置変更等を踏まえた救急隊**最適配置のためのシミュレーション**
- ・博士号取得者等による本技術を活用した**計画策定に向けた解析・シミュレーションの実施**

【導入効果】

- ・配置変更等を踏まえた**最適配置の実現へ**
現場到着時間の短縮、救急隊毎の対応件数の平準化、署移転等による効果・影響の可視化
- ・**ビッグデータ分析に基づく救急隊配置計画の策定へ**

現場到着時間の短縮

対応件数の平準化

効果・影響の可視化

【本技術及び本技術に関連する実績】

- ・将来の救急搬送件数予測・救急隊配置シミュレーション
- ・医師・看護師の将来需要予測シミュレーション
- ・医療資源・人口動態の可視化・シミュレーション

【費用の目安】 500万円程度～

なお、ご要望・業務内容に応じて異なりますので
下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人日本医療経営機構 <https://iryo-keiei.or.jp/>
事務局 TEL: 075-315-1052 E-mail: office@iryo-keiei.or.jp

システム名：救急需要予測システム

フェーズ：Ⅰ／機能：①救急需要予測、②救急隊（車）最適配置（AIビッグデータ）

システムの概要（パッケージ製品）

- ・過去の救急事案データや、人口・気象等の各種オープンデータを元にAIが学習
 - ・「救急事案件数予測」、「平均現場到着時間予測」、「救急隊配置シミュレーション」を実行し、救急車両の適正配置を支援
- 救急需要予測システム参考URL
- ・<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/app/shobo/prediction.html>
 - ・https://www.hitachi.co.jp/rd/research/design/service/case_first_aid.html

基本機能（パッケージ製品）

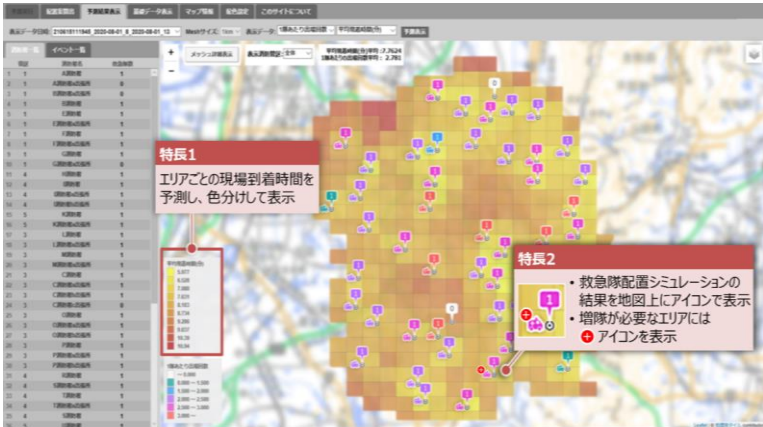
(1)エリアごとの事案件数と現場到着時間を予測

- ・予測したい条件（日付、時間帯、隊配置）の入力によりエリアごとの予測結果をヒートマップで表示
- ・管轄地区全体など任意のエリアの平均現場到着時間を算出

(2)救急隊の配置をシミュレーション

- ・XAI(※1)により、地図上で増隊が必要なエリアにアイコンを表示

※1 Explainable Artificial Intelligence
(説明可能な人工知能)



参考：救急需要予測システムの予測結果表示画面イメージ

訴求ポイント（カスタムシステム開発）

「実証実験など柔軟な支援による検討段階での効果測定支援」

弊社では、パッケージ製品の納入だけでなく、消防本部様の運用に即したカスタマイズやオーダーメイドでのシステム提供も可能です。

AIを活用するシステムでは、「要件整理」の段階で運用に沿ったシステム設計が重要です。弊社は、消防本部の運用や地域特性に応じた課題の分析・整理など、構想段階からの支援が可能です。

お客様の検討状況に応じ、要件整理のスペシャリストがデザイン思考(※2)に基づき、課題解決をサポートいたします。

※2 ユーザーや顧客の視点を起点に、解決案の創生と検証をスピーディーに繰り返して価値あるサービスやソリューションを探索的に見いだす思考法

導入効果（パッケージ製品）

(1)最適な救急隊配置計画による負担軽減

- ・各種オープンデータや事案データをもとに最適な配置計画の提供

(2)将来の効果的な増隊計画に活用

- ・XAIの予測結果を参考に根拠のある増隊計画を立案
- ・平均現場到着時間が長いエリアなどへの増隊計画へ活用

費用の目安

パッケージ製品：1,500万円(税抜)+システム導入費
カスタムシステム開発：個別見積

導入実績

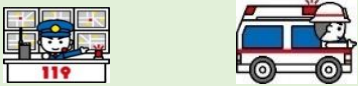
大規模消防本部

【問い合わせ先】

(株)日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 第七営業部 (TEL: 03-5471-4468)
Webサイトからのお問合せ：<https://www.hitachi.co.jp/Div/jkk/inquiry/inquiry.html>

フェーズⅠ

③映像通報

フェーズ	Ⅰ . 119入電～出動～現場到着 	Ⅱ . 傷病者接触～車内收容～搬送先選定 	Ⅲ . 現場出発 ～ 病院收容 (医師引継) 	Ⅳ . 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・收容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

システム名：映像通報サービス

フェーズ：Ⅰ／機能：③映像通報

【概要】

消防本部から通報者端末にSMSで映像通報用URLを送信し、通報者がURLにアクセスすることにより、ライブ映像でやりとりができるサービスです。

【ポイント】

- ・ 2 者間の映像を他の端末（救急隊等）で共有できます。
- ・ ライブ映像の他、チャットによるやりとりも可能です。
- ・ 通報内容は消防本部端末に自動保存されます。
- ・ 口頭指導動画等を通報者端末に送信することができます。

【導入効果】

- ・ 迅速・的確な出動指令が行えます。
- ・ 傷病者に的確な指導が行えます。

【導入実績】

- ・ 全国 8 2 消防本部（2024,12,25現在）

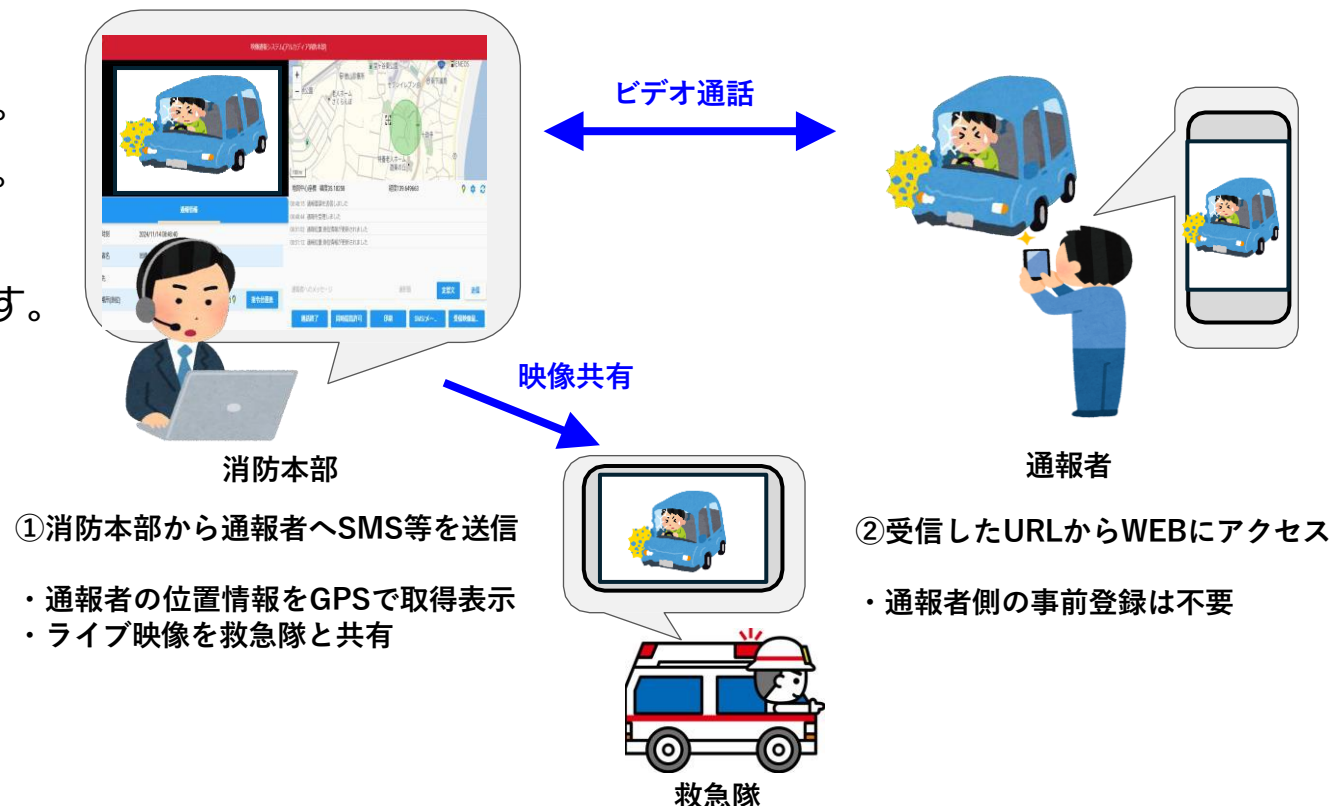
【費用】

- ・ 初期費用 ¥ 350,000、月額費用 ¥ 20,000

※弊社サービスNET119をご利用のお客様は初期費用 ¥ 0、月額費用 ¥ 10,000となります。

【問い合わせ先】

050-5830-0750
[受付時間]平日9:00～17:00]



Arcadia
Computing Innovation®

株式会社アルカディア
<https://arcadia.co.jp>

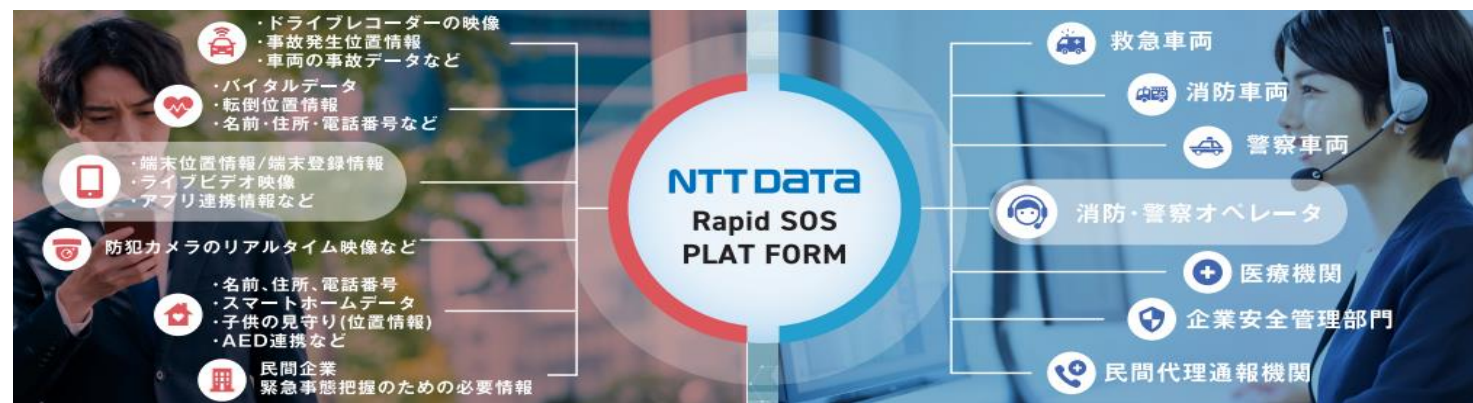
〒562-0043 大阪府箕面市桜井一丁目10番28号

システム名：緊急通報サービスプラットフォーム（RapidSOS）

フェーズ：ⅠⅡⅢ／機能：③映像通報、④

緊急通報サービス

NTT Data
with RapidSOS



【概要】

様々なIoTデバイスの多種多様な情報を、緊急通報対応の関係者に連携する、デジタルプラットフォームサービス

【訴求ポイント】

スマートフォンだけでなく、スマートウォッチ、スマートホーム、ドライブレコーダー等の様々なIoTデバイスからの情報（端末位置情報やカメラのリアルタイム映像、車両情報等）を、緊急通報受理機関に共有・連携し、迅速で正確な対応を可能とします。

【導入効果】

①高精度な位置情報②付加情報（通報者に紐づく医療・車両等）を、連携を要する関係者含めて迅速に共有でき、現場への駆けつけ所要時間の削減と、より多くの方の救命活動に繋がります。例えば米国では、電話受付から現場への駆け付け所要時間を88%削減しています。

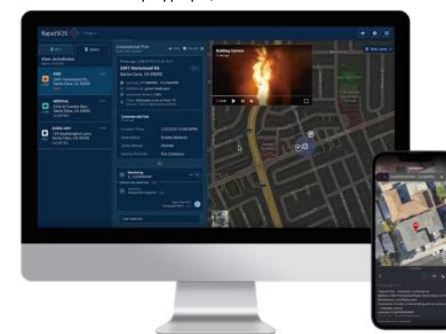
【導入実績】

米国で、現時点（2024年11月末）で人口カバー率99.99%*1。

日本で、2025年度商用サービス開始予定。2024年度に複数の消防指令台にて実証を実施。

*1 RapidSOS UNITE/Portal、IamResponding、eDispatches等、複数のサービス合計の数値

<画面イメージ>



【問い合わせ先】

株式会社NTTデータ
モビリティ&レジリエンス事業部 危機管理ソリューション担当
(050-5545-1866/rapidsos.sales@hml.nttdata.co.jp)

システム名：DATA119（映像通報サービス）

フェーズ：Ⅰ／機能：③映像通報

「概要」

通報者と指令員を繋ぐ映像共有サービスです。

通報者のスマートフォン等で撮影した現場映像を指令台で参照、状況把握や救急隊到着前活動を映像を介して支援する仕組みです。
私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を全国の消防様と創ってまいります。

■訴求ポイント

- ①リアルタイムに現場状況を把握できます
- ②救急隊現場到着前に助言や指導を映像を通して救命率向上に貢献します
- ③指令連携により、スムーズに映像配信開始・現場位置特定できます
- ④使用時間制による料金体系にて利用しやすくサービス提供します
- ⑤将来的に現場画像伝送システムの代替手段としての活用を期待できます

■導入効果

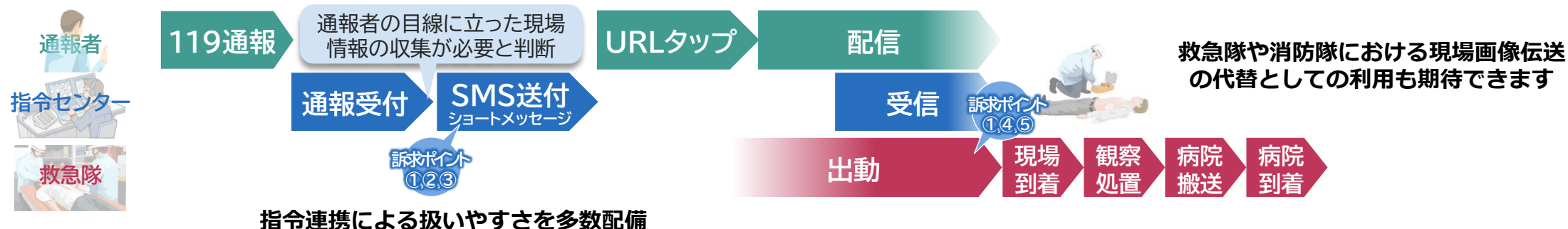
現場状況 把握

通報者の目に見える状況を指令センターで早期把握できることで、精度高い的確な判断や検討を行えます

救命率向上 貢献

救急現場におけるバイスタンダーへの助言や応急手当の指導を通じ、現場における初期対応に役立てられます

「映像通報サービス利用の流れ」



【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



システム名 : Live119

フェーズ : I / 機能 : ③映像通報

- ・システムの概要（システムの説明）

119番等の緊急通報時における音声・映像情報を、
通報現場と消防指令センター間で迅速かつ
スムーズに共有することを目的とする映像通報システム
(<https://www.dawn-corp.co.jp/service/live119>)



- ・訴求ポイント

口頭では把握しきれなかった現場の様子を映像で確認したり、動画送信により口頭指導を支援
約5年の運用で培ったノウハウと消防職員の声を反映したりリニューアル版を2024年夏にリリース

- ・導入効果

的確な口頭指導の支援による救命率の向上
救助・事故現場の映像による事前把握による対応時間の短縮

- ・導入実績

172消防本部（管轄人口約5,500万人）

- ・費用の目安（税別）

初期費用：150万円、月額利用料：8万円（月100回、年間1,200回までの利用）

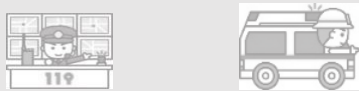
【問い合わせ先】

株式会社ドーン (<https://www.dawn-corp.co.jp>) 公共営業部

（電話 03-5777-1033 / メールアドレス : cloud_sales@dawn-corp.co.jp）

フェーズⅡ・Ⅲ

④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

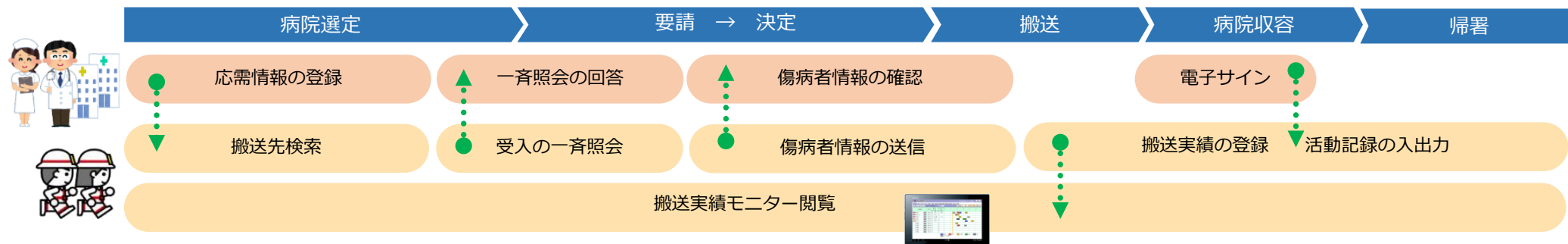
フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着 	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	IV . 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼		⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン ⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

システム名：医療施設情報システム Mefis

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等） ⑦⑧⑨⑩

システムの概要

救急搬送時の医療機関の情報と傷病者情報のやり取りや、医療機関の空き状況、救急隊の各種帳票への出力機能を有している、地域救急の見える化を行うシステムです。救急搬送時の搬送時間の短縮と救急隊の活動における書類作業の軽減に寄与する機能群を実装しています。救急隊はタブレット等のモバイル端末を用いて医療機関への受入要請・傷病者情報のやり取りを行い、活動時の記録を帳票出力できます。



訴求ポイント

導入する地域の課題や各種の様式種別に対応しており、地域によって異なるニーズに対応します。

搬送時間が長くなる事案ではリアルタイムの情報共有を充実させる、地域災害の多い地域では個別の一斉照会の運用支援を行うなどの運用全体のサポートにより成果を上げてきました。

導入効果

これまで導入頂いた自治体では下記の効果があったとの反響をいただいています。

- ・搬送時間の短縮
- ・交渉回数4回以上の事案が半減
- ・三次救急に集中していた搬送の平準化
- ・応需入力率の向上

導入実績・費用の目安

14都道府県、8自治体/費用目安は利用数及びカスタマイズ箇所により変動のためお問合せ下さい。

問い合わせ先：国際航業株式会社 info-mefis@kk-grp.jp

製品サイト：<https://www.kkc.co.jp/service/item/2814/>

システム名：医療関係者間アプリケーション「Join」

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）⑥⑦

・システムの概要

①国内で初めて医療機器認証を受けた医療者向け遠隔医療アプリ

病院前救護の現場で、救急隊員が患者情報を正確に医療機関へ伝え、搬送先病院の選定や、病院到着後に迅速な治療が出来る体制を整えます。

※実現には、消防、医療機関双方にJoinの導入が必要。

②医療情報のモバイルハブ

画像/映像/生体検査機器、各種医療情報システムと連携し、スマホ・タブレットやPC上で表示可能。救急車内の情報をJoin経由で搬送先に事前連携。

（薬事承認・認可を受けた国：日本、米国（FDA）、欧州（CE）ブラジル、サウジアラビア、ケニア）

・訴求ポイントおよび導入実績

Joinの3つのバリュー

①医療機器（2014年）：汎用画像診断装置用プログラム ※世界のガイドラインも遵守：日本・米国・欧州・ブラジル・サウジ・ケニア等

②保険収載：2016年日本初、2022年・2024年診療報酬にて適用拡大

③グローバル展開：世界32か国、約1100医療機関（日本では約500医療機関） ※世界中の急性期地域医療情報連携に採用、臨床効果の報告多数

※本邦では86の消防本部/団/組合にて導入（2024年）

<https://www.allm.net/news/20220201/>

・導入効果（参考）

～消防と病院で双方にJoinが導入されることで、病院前連携を実現～

・消防隊とのプレホスピタル連携（写真や動画の事前情報を共有）

①事故による破損の程度、エアバック開閉の有無を把握

②病気の場合、家の様子がわかる

③身分証の写真（※本人の許可のもと）

・受け入れ病院は受電後→院内周知をシームレスに行える

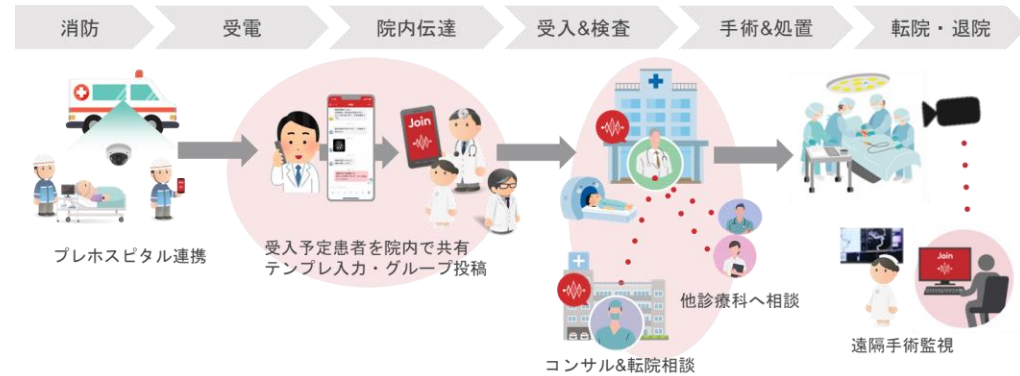
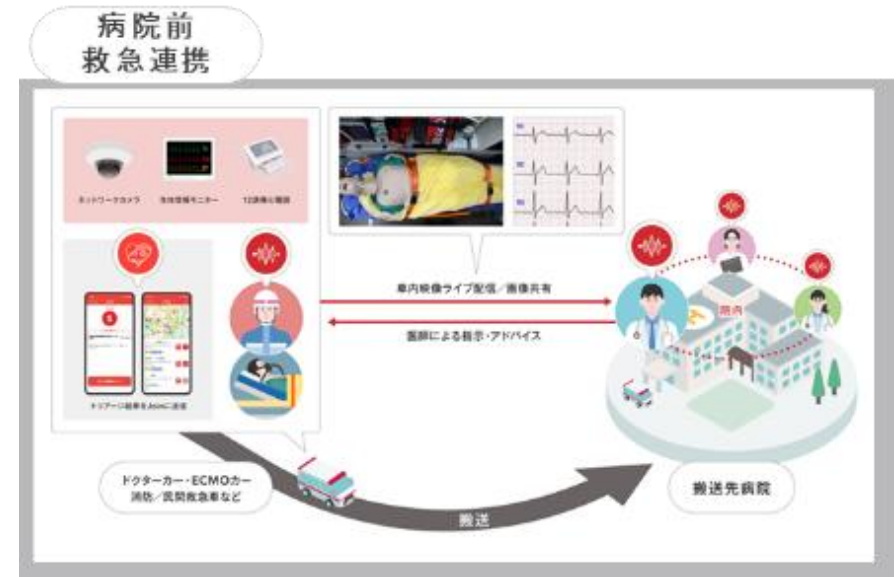
・費用の目安

・導入及び運営支援：300万円

・月額使用料：11万円/30ID

※DICOMデータ連携が必要な場合、サーバーを設置。設置費用：400万円

※2024/11時点 ご用命をいただき次第、ヒアリングを行い、お見積りを作成いたします。



【問い合わせ先】 株式会社アルム <https://www.allm.net/contact/>

システム名：映像伝送サービス Telesees(テレシーズ)

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

【概要】

スマートフォン等の配信端末を介して、救急隊員のウェアラブルカメラや救急車内のカメラなどの映像を指令センターや病院等に設置しているP C に配信するサービスです。

【ポイント】

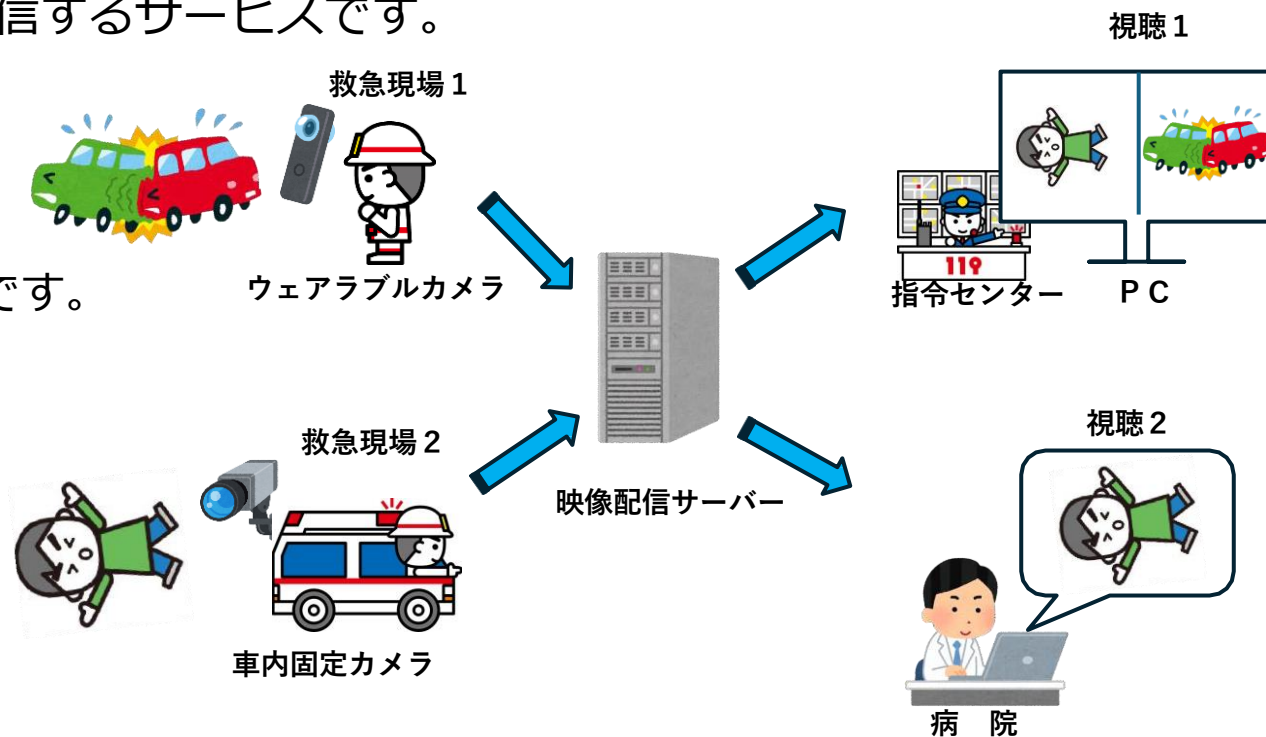
- ・ 最大4配信までの分割表示できます。
- ・ それ以上の配信数の場合は、切り替えて表示が可能です。
- ・ すべての配信映像は受信P Cに保存されます。

【導入効果】

- ・ 救急隊と病院が傷病者の状況を共有できます。
- ・ 傷病者に迅速・的確な処置が行えます。

【費用】

- ・ 初期費用 ¥ 0、月額費用 ¥ 10,000（送信側1台と受信側1台の場合。端末数× ¥ 5,000円となります）



【問い合わせ先】

050-5830-0750



[受付時間] 平日9:00～17:00]

Arcadia 株式会社アルカディア
Computing Innovation® <https://arcadia.co.jp>

〒562-0043 大阪府箕面市桜井一丁目10番28号

システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズⅡⅢⅣ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）⑤⑧⑨⑩⑪

「概要」

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入に役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・ 傷病者申し送り票の電子化
- ・ 救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・ 入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



フェーズⅢ

- ・ 医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・ 傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・ 登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・ 予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■ 訴求ポイント

- ① 救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ② 医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③ シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④ 機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■ 導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

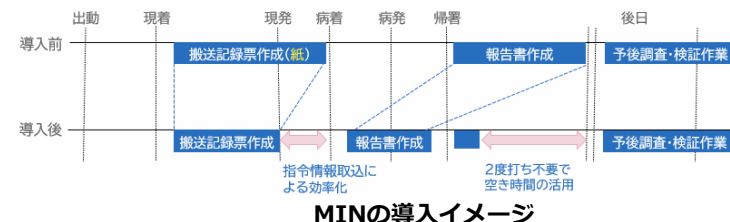
- ① 指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ② 指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■ 導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入＋入力簡素化機能＋医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入＋入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



システム名：救急車両向け映像伝送システム E g C a s t e r

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

・システムの概要

救急車両と医療機関を繋ぐ、カメラ映像及びバイタルデータ等の映像伝送システム。



・訴求ポイント

スマホ、タブレットなどの活用により、傷病者のバイタルサイン、12誘導心電図、外傷等の身体所見など現場状況を救急隊と医療機関がリアルタイムで情報共有する事が出来る。

・導入効果

搬送先医療機関が早期に傷病者の身体所見を確認できる事により、医師の具体的判断、受入れ準備、治療の準備が進められ、治療までの時間が短縮されることで、救命率の向上、傷病者の良好な予後に効果が期待される。

・導入実績

全国の消防本部及び医療機関 約20施設

・費用の目安

救急車 1 台から医療機関及び消防本部への映像伝送で、初期150万円～200万円

・システムの紹介Webサイト

<https://www.enwa.tv/egcaster/>

【問い合わせ先】

ENWA株式会社 <https://www.enwa.tv>

TEL : 06-4390-3522 E-Mail : info@enwa.tv

システム名：救急情報映像伝送システム 富士の国

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

*システム概要

- ・救急現場の傷病者の12誘導心電図、バイタル情報及び現場の動画像を、クラウド若しくはリアルタイムに搬送先の医療機関に伝送します。

「富士の国」クラウド伝送

Join とのシステム連携

- *医療従事者コミュニケーションアプリ「Join」をプラットフォームにして、12誘導心電図・血圧・SpO2を判読精度の高いレポートのまま、Joinチャットにて共有します。
- *心電計アプリからJoinに伝送するまでは3アクション！簡単な操作で医療機関と共有できます。



*訴求ポイント

- ・現場に携帯できる小型の医療機器（富士の国）を使用し、接触時の傷病者の状況を医療機関と共有出来るため、早期医療介入が可能になります。
- ・医療従事者との相互のコミュニケーションを図れるため、受入れ等をスムーズに行うことが出来ます。
- ・タブレット画面に活動記録を簡潔に入力することが出来るので、救急隊員の労力を軽減できます。

*導入効果

- ・様々な時間の短縮につながり、傷病者の救命率及び再発防止につながります。（現場滞在、病院選定、手術やカテーテル治療の準備等）

「富士の国」リアルタイム伝送

EgCaster とのシステム連携

- *12誘導心電図伝送システム「富士の国」専用に開発をした、リアルタイム伝送システムです。
- *患者接触時、12誘導心電図、血圧、SpO2、カメラ映像を医療機関へLIVE配信可能です。カメラ映像やビデオ喉頭鏡映像のLIVE配信、GPS位置情報の表示も可能です。
- *受信医療機関の操作で、判読精度の高い心電図・バイタルレポートを取得できます。
- *受信医療機関は最大25台同時視聴可能です。送信可能な医療機関の数に制限はございません。



総合救急救命情報システム「SELITS」

現場での活動内容の記録を電子化することで、救急隊員の労力を軽減でき、DX化に繋がります。



【問い合わせ先】 株式会社グッドケア

HP:<http://www.goodcare.jp>

メールアドレス：info@goodcare.jp

システム名：救急医療情報システム

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有⑦⑪

・システムの概要（システムの説明）

救急医療情報システムは、救急隊と医療機関が救急業務に係る情報を入力・閲覧し、情報連携を強化することで、搬送時間の短縮および業務効率化を目的とした情報連携プラットフォームです。

・訴求ポイント

救急医療情報システムに救急隊は搬送実績情報を、医療機関は応需情報を入力、救急システムを通して情報共有できます。

また、オプションとして、救急隊が救急現場で記載する傷病者観察メモや、メディカルコントロール内で救急業務の分析を行う事後検証業務のシステム化も可能です。

これらにより、救急業務の各フェーズで発生する情報を救急医療情報システム上に集約することができ、関係者間の情報連携、情報管理の一元化、情報の利活用を推進します。

・導入効果

- 応需情報、搬送実績情報に加え、傷病者観察メモ、現場画像や心電図、事後検証をオンライン上に反映し、関係者間の早期情報連携が可能
- 傷病者観察メモや事後検証のペーパーレス化による情報管理の一元化が可能
- 入力した各種情報のうち、共通項目は救急医療情報システムの各機能の間で自動連携するため、二重入力項目の削減が可能
- 入力した各種情報は統計活用が可能

・導入実績

17都道府県に提供しています。（2024年11月時点）

・その他

詳細資料については、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

株式会社NTTデータ <https://www.nttdata.com/jp>
第四公共事業本部 ヘルスケア事業部 企画統括部 ヘルスケアソリューション担当
メールアドレス noriaki.takahashi@nttdata.com

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④医療機関とのデータ画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等） ⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑫

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。

入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。

また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。

医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。

また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

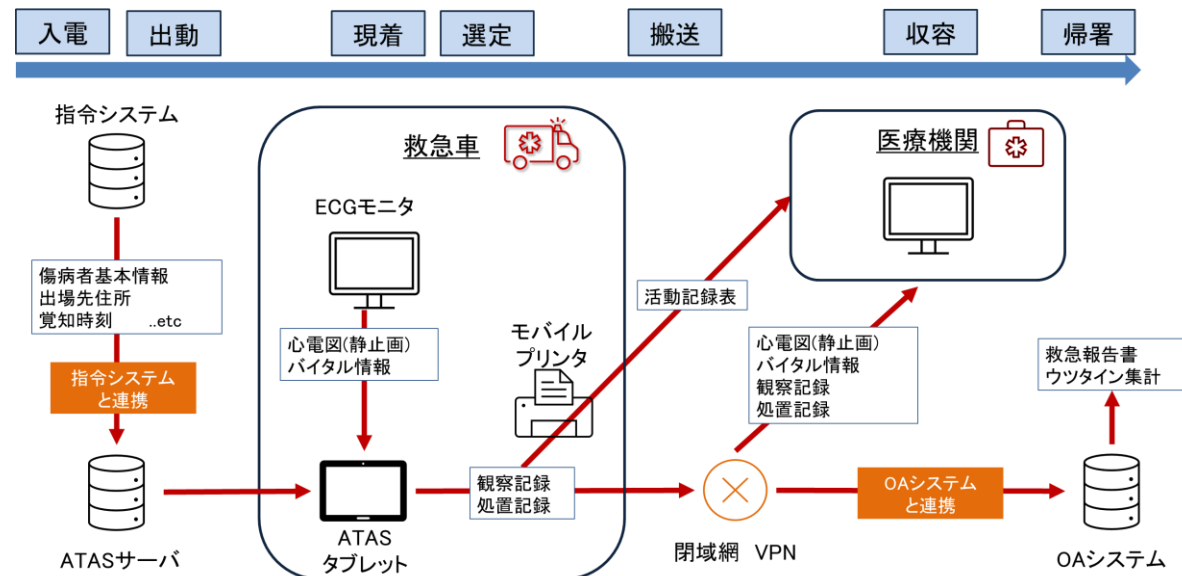
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ

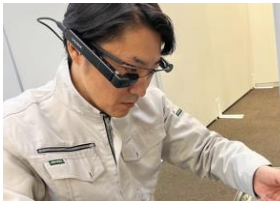


【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL: support-qq@ais-idc.jp

システムの概要

装着者の視点で撮影できるスマートグラスを使用し、搬送中の処置の様子を受け入れ先病院に共有します。加えて、車内に固定のモニタリング用カメラを設置することで、バイタルデータも同時に確認できます。

スマートグラスで隊員の視線映像を撮影、リアルタイムで搬送先病院に中継



現場-救急-専門医など複数でのやり取りも可能



訴求ポイント

1. スマートグラスでは隊員が映像をハンズフリーで送信でき、受入れ病院側では隊員の目線をそのまま確認できる
2. A病院とB病院、救急医と専門医など、複数拠点/人での会話が可能となり、臨機応変な相談や受入れ準備ができる
3. 受入れ病院側からカメラを遠隔操作し、確認したい箇所を見られる
4. 車載モニター画面の映像を共有することで、病院側がリアルタイムにバイタルデータを確認できる
5. 音声や映像・共有画面を自動で録画保存することで、医療機関側での閲覧や事後検証に活用できる

導入効果

搬送中、支援システムに接続しておくことで、受入れ病院側がリアルタイムで患者の状態を確認し、適切な処置を指示できるようになりました。また搬送の途中経過を把握できるため、到着から処置開始までの時間を短縮できます。

導入事例

医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック病院様

他システムと比較して、4G回線において映像や音声 が乱れなかったことがLiveOnWearable採用のポイントとなりました。

導入事例：<https://web.liveon.ne.jp/case/scvc/> ※手術配信における近似事例のインタビューになります。

導入費用

初期費用150万円～

【問い合わせ先】

ジャパンメディアシステム株式会社 マーケティング担当

電話：03-5297-5511 メール：mkt@jm-s.co.jp

<https://web.liveon.ne.jp/product/liveon-wearable/>

システム名：災害時傷病者情報管理システム（デジタルトリアージシステム）

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

・ システムの概要

デジタルトリアージシステムは、災害時における傷病者情報を一元管理するためのシステムです。従来の手書きによる紙ベースの情報管理を、音声入力やスマートフォンを用いた操作によって効率化し、現場の各隊員が入力した傷病者情報を、指揮本部、救急搬送隊、医療機関とリアルタイムで共有することが可能になります。

これにより、多くの命を救うための救急隊の活動を強力にサポートします。

また、救急総合支援システムATAS（エイタス）と連携することで、現場活動から事務作業までを一貫したシステムとなり、更に効率化することができます。

※救急総合システムATASは、(株)麻生情報システムの製品です

・ 訴求ポイント

- ・ 入力ミス、漏れの防止。追記、修正時間を最小化。
- ・ リアルタイム情報共有、情報伝達のスピードアップにより、救命率向上に貢献。
- ・ 入力された情報を自動的に記録・保存し、分析や改善に活用可能。
- ・ 災害後のレポート作成やトレーニングに役立つデータを提供。
- ・ 既存のシステムや機材との連携を想定した設計。
- ・ 既存のデバイスでの使用も可能。

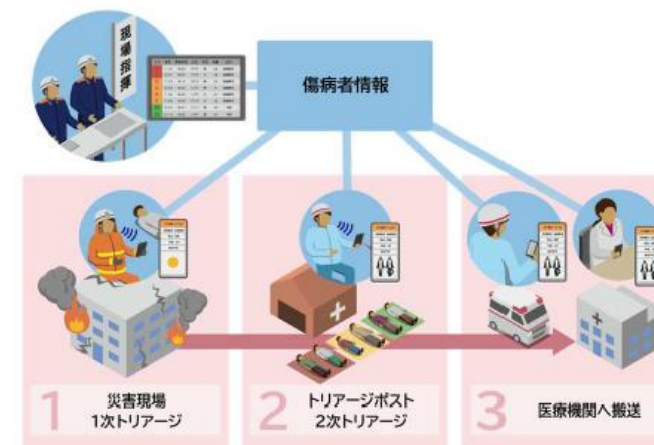
・ 導入効果

災害現場での救急活動の効率化により、救命率の向上と隊員の負担を大幅に削減できます。

・ 導入実績：2026年度より導入開始予定です。

・ 費用の目安：ご相談

【システム運用イメージ】



① 災害発生時から搬送完了までの傷病者情報を **リアルタイムに一元管理**



② スマートフォンのアプリにトリアージ情報を **AI音声入力・OCR入力**

【問い合わせ先】

株式会社モリタホールディングス <https://www.morita119.com/>
新事業開発室 MAIL: Fdems-support@morita119.com

システム名：デフィブリレータ EMS-1052による標準12誘導/導出18誘導心電図のメール送信機能

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④ 医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

・システムの概要（システムの説明）

デフィブリレータ EMS-1052で測定した12誘導または導出18誘導心電図解析結果（PDF）をメール送信するシステムです。

※通信には別途モバイルルータが必要です。

・訴求ポイント

①標準12誘導解析機能を搭載可能、さらに導出18誘導心電図波形を表示・記録できます（オプションです）。

②解析結果（PDF）を搬送先へメール送信可能。送信先アドレス登録件数は60件、12誘導解析後に自動送信も可能です（オプションです）。

・導入効果

①右室梗塞、後壁梗塞を直感的にとらえやすくしたレポートで虚血性心疾患の迅速な診断をサポートします。

②搬送先の適正化や受入病院でのスムーズな処置をサポートします。

・導入実績

①EMS-1052と標準12誘導/導出18誘導心電図機能：約600台

②メール送信機能：約150台

・費用の目安

価格は構成により異なります。

* 本システムは、医療従事者用です。

▼日本光電Webサイト（医療関係者向け製品情報）

https://medical.nihonkohden.co.jp/iryo/index.html?URL=/iryo/products/resus_resus/def/ems1052.html

システムのイメージ



【問い合わせ先】 事業者名：日本光電工業株式会社、HPアドレス：<https://www.nihonkohden.co.jp/>

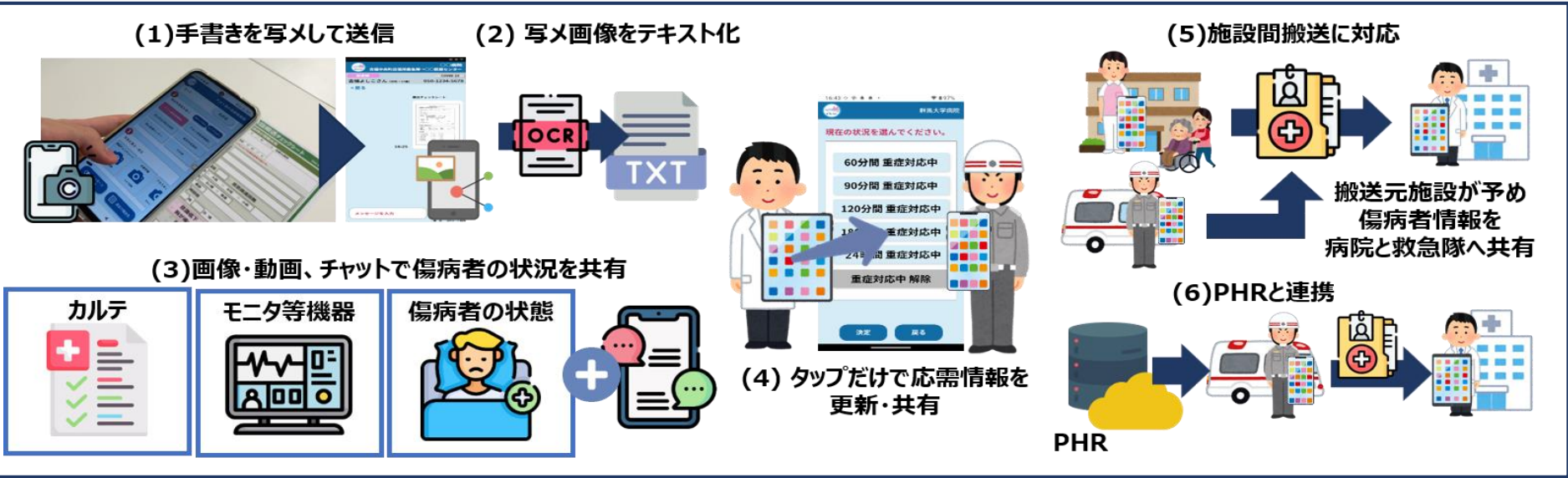
担当部署：国内事業本部 中央営業部、連絡先：電話：03-5996-8647 メールアドレス：SalesOperations-chuo@db.nkc.co.jp

システム概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始を実現している。加えて、iPicssは、(3)写メを基本とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも全世代が迷わず使える仕様となっている

訴求ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の紙のシステムにそのまま導入でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。各所への情報共有により様々な時短が可能！(1)手書きの用紙を写メして送るだけ(2)写メ画像をOCRによりテキスト化してデータベース利用が可能。(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。(4)現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」をタイムリーに関係者間で共有。(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。(6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携した実績あり。



導入効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：20分50秒 → 13分30秒。消防指令における119番電話対応時間が約20秒短縮。高齢者施設でのシミュレーションで、施設者の対応時間が2分36秒短縮。

導入実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

問合せ

そなえ株式会社 050-3159-5859／info@sonae.ltd https://sonae.ltd
バース・ビュー株式会社 03-6801-5620 ／sales.birdsview.jp https://www.birdsview.jp

システム名：ライフバック15 V4+ モニタリング機能付除細動器 & 病院前情報連携システム LIFENET Care

フェーズ：ⅡⅢ/機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

■ システムの概要（システムの説明）

- ・ ライフバック15 V4+は、専用モデムと接続することで、4G回線を使用して救急現場・救急車内からクラウドへの12誘導心電図の送信、モニターに表示されているバイタルのライブストリーミングが可能になります。
- ・ 搬送先の病院からは、Webベースのシステム、もしくはiOS/Androidベースのアプリ「LIFENET Care」を活用することで、前述のデータの参照が可能になります。
- ・ 「LIFENET Care」システムを通して、救急隊/病院間のビデオ通話やチャットも可能になります。また、傷病者の症状に応じて院内の医療チーム（例：カテ室）への一斉通知が可能なチームアクティベーション機能を有します。

■ 訴求ポイント

- ・ メールによる通知だけでなく、Web/アプリベースのシステムを活用することで、患者データへのアクセス性が向上します。
- ・ ライブストリーミングとビデオ通話を併用し(右図)、救急現場の情報を医師へリアルタイムに共有することで、病院内から現場や傷病者の状況を確認でき、救急隊/病院間のコミュニケーションの円滑化に貢献します。
- ・ 専用モデムはライフバック15から給電されキャリングケースに収納可能な為、
- ・ 煩雑な配線が不要で現場活動を阻害しません。携帯回線を使用する為、Wi-Fiに繋ぐ/テザリングを行うといった手間がなく、マルチSIM搭載で大手3キャリア利用可能となり、通信接続性が向上しました。

■ 導入効果

- ・ 救急隊が病院到着前に12誘導心電図を伝送することで、First Medical Contact to Balloon Time、Door to Balloon Timeの短縮に貢献します。また、チームアクティベーション機能を使用することで、院内の医療チーム（例：カテ室）の効率的な立ち上げにも貢献します。
- ・ ライブストリーミングとビデオ通話を活用することで、病院内の医師による傷病者の状況確認が容易になり、重症患者の早期発見・対応や患者急変時のモニタリングなどの円滑化に寄与することが期待できます。

■ 費用の目安

- ・ 弊社担当者、または下記のお問い合わせ先よりお問い合わせください。



【問い合わせ先】

日本ストライカー株式会社 メディカル事業本部

製品に関するお問い合わせは

0120-715-545 平日9:00～17:00
(土日、祝日、年末年始を除く)

システム名：CodeMate®

フェーズ：ⅡⅢⅣ / 機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）⑤⑧⑩⑪

● システムの概要

CodeMateは、携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」と連携し、救命士が搬送先の病院および所属の消防署へ提出する各種救急レポートの作成を支援するアプリケーションです。タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にインストールしたアプリ上で、除細動器で取得した心電図等のデータをタイムリーに参照・反映、傷病者情報をタップやプルダウンで入力できるため、救急車内や病院の待機中などに輸送証・報告書などのレポート作成を効率的かつ正確に行えます。他社の除細動器や車載モニタであっても、アプリ上でレポートを作成する基本機能はご使用いただけます（一部機能制限あり）。

● 訴求ポイント

車載モニタの機能を兼ねる除細動器から救急活動に関するデータをアプリに取込み、傷病者搬送書類に反映・書類を作成、電子コピーやハードコピー（車載にモバイルプリンタが必要）で搬送先へ提出することが可能となります。また、入力したデータは帰署後に消防本部で必要となる活動記録の内容に取込むことができ、病院収容後からモバイル端末にて報告書の作成が可能、業務負担の軽減と活動の効率化に貢献します。また、除細動器で取得した活動データをもとに活動のデブリーフィング資料として活用いただけます。

● 導入効果

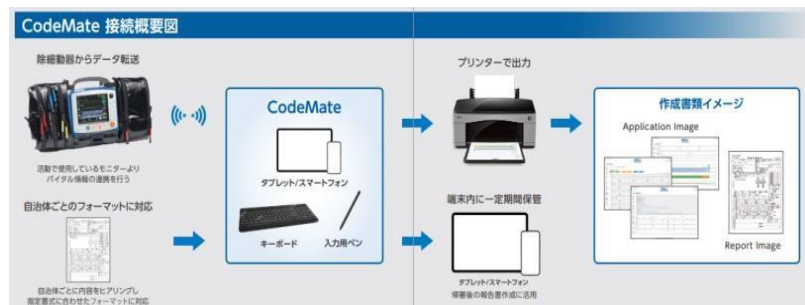
実証を行った施設では帰署後の報告書作成の平均時間が20分短縮された。また、搬送先へ提出する傷病者搬送書類も手書きによる読み難さが軽減され、病院側の患者記録の取得精度もより高まった。

● 導入実績

実証を依頼した3消防本部にて稼働中、令和7年以降の予算請求をおこなっている消防本部が複数あり。

● 費用の目安

初期費用として本部でのライセンス及び設定費用として¥1,000,000と、別途除細動器1台につき¥1,000,000を頂戴しております。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部（03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry>）

システム名：e-MATCH(救急医療管制・意思決定支援システム)

フェーズ：Ⅱ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）⑦

システムの概要

e-MATCH(救急医療管制・意思決定支援システム)は1.救急患者と医療機関のマッチングの適正化、2.地域全体の病院前～急性期医療の情報共有の仕組みを提供、3.継続的な質向上(PDSA)のためのフィードバックに資するデータ提供します。

システムの詳細

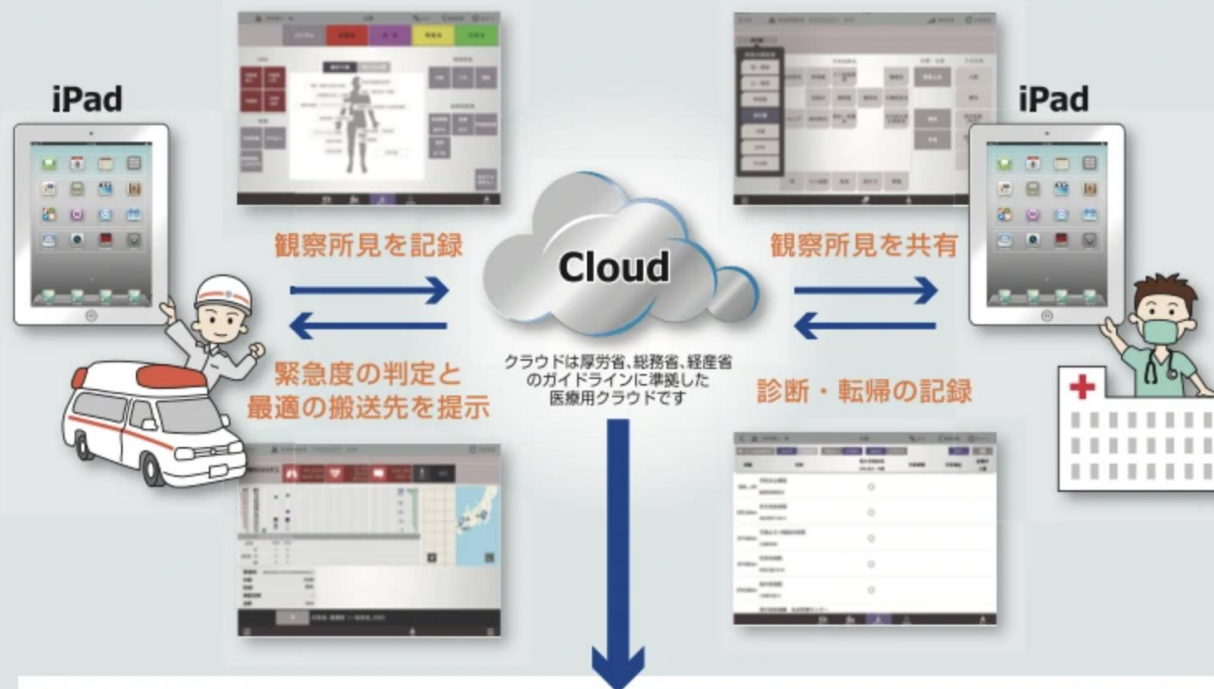
訴求ポイント

各都道府県・MCにおける傷病者の搬送および受け入れに関する実施基準の見直し・改善を支援(エビデンスベースの議論を促進させ、各種検証や研究にも幅広く活用可能)データ活用のご相談から各種資料作成をサポート！

導入実績

奈良県(2012年～)
千葉市(2014年～2018年)
三重3市(津市、伊賀市、名張市)
(2014年～2016年)
福島県
(県北地区での運用2016年～2018年)

病院前医療(救急隊)と急性期医療(医療機関)における救急診療情報の共有と救急搬送の適正化を実現します。



継続的な医療の質向上を目的とした、照会・搬送・診療状況の定量化・視覚化



*図表はイメージで実際のデータに基づいたものではありません

導入効果(定性、定量)

※奈良県での効果

重症外傷傷病者における現地活動時間30分以上の割合
25.3%→15.2% (導入前後)
重症外傷傷病者における現地での紹介回数4回以上の割合
15.4%→9.7% (導入前後)
重症者の照会回数4回以上の割合
12.0% → 1.7% (稼働後5年間)
重症者の現場滞在時間30分以上の割合
16.2% → 7.4% (稼働後5年間)
重症以上傷病者における照会1回決定率
66.4%→81.8%(稼働後5年間)
コロナ禍、熱発患者の搬送ルール策定に活用

費用の目安

導入費用 応相談
運用費用 200,000円～年/台
(運用契約内容により変動します)



製品詳細はこちら

【問い合わせ先】



事業者名：バース・ビュー株式会社
担当部署：救急災害医療DX事業部

Web: <https://www.birdsview.jp>

連絡先：03-6801-5620

e-mail: e-match@birdsview.jp

システム名：NSER mobile

フェーズ：ⅡⅢⅣ/機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）⑤⑦⑧⑨⑩⑪

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。

なぜ

NSER mobile は、
救急隊の負担を軽減し、
救急医療の質を高めるのか？

救急隊・救急救命士のための情報メディア

EMS Collection

<https://ems-collection.jp/>

【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL:txp99@txpmedical.com



システム名 : RescueNet 12-Lead

フェーズ : II Ⅲ / 機能 : ④医療機関とのデータ・画像共有 (12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑥

- システムの概要

RescueNet 12-Leadは弊社携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」で12誘導心電図を取得・解析し傷病判定補助を行う機能になります。また心電図伝送システムなどにつなぎかえることなく、除細動器から登録されている複数のメールアドレスや FAXに心電図伝送が可能なシステムとなります。(Wi-Fi環境必須)

- 訴求ポイント

場所を選ばずに12誘導心電図伝送が行える点。また、本体が生体情報モニタリング機能付きの除細動器であるため傷病者急変時にケーブルの取り外しや他モダリティの追加を行わずに救急処置継続が可能となります。

- 導入効果

これまで主に救急車内収容後に取得されていた12誘導心電図が傷病者接触時から取得が可能となり、現場離脱前に搬送先病院へ心電図と補助判定の結果を共有することができます。また、心電図の解析と補助判定の機能を有するため、救命士の熟練度に関わらず傷病者への適切な対応が可能となります。

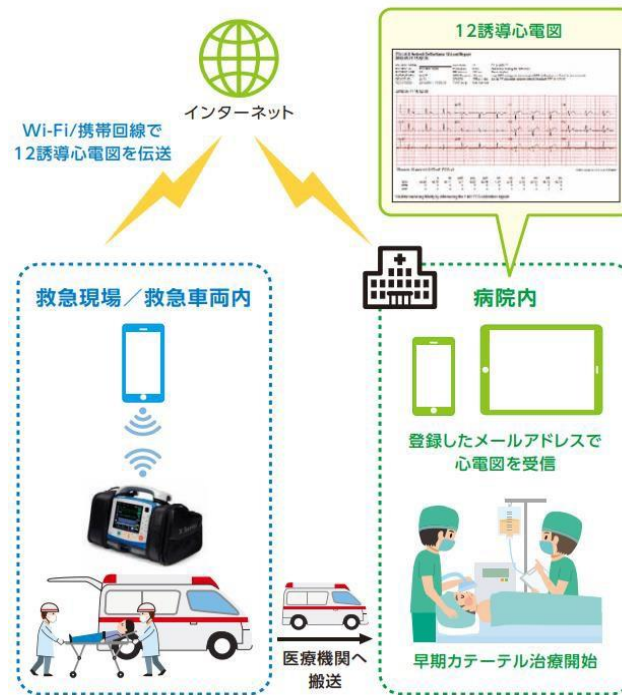
- 導入実績

全国150以上の消防本部にて稼働中。

- 費用の目安

弊社携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」には出荷時より 本機能が付属されているため、追加でのオプション費用は不要となります。ご使用に際し伝送先の登録・設定費用として除細動器1台につき¥100,000を頂戴しております。その他、Wi-Fi環境が必要となるため導入先消防施設での携帯電話テザリングやポケットWi-Fiのご準備をお願いしており、その費用が別途必要となります。

RescueNet™ 12-Lead 伝送の仕組み



病院はEメールやFAXがあれば、12誘導心電図を受信することが可能です。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部 (03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry/>)

システム名 : Smart119

フェーズ : II III IV / 機能 : ④医療機関とのデータ・画像共有 (12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

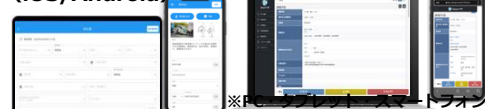
【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

- ＜入力支援＞
- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
 - ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
- バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン	19:10(前)	19:00	19:10	19:16(前)
JCS(EVIA)	20/11/0	20/11/0	20/11/0	20/11/0
呼吸(分)	20			
脈拍(分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)				
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

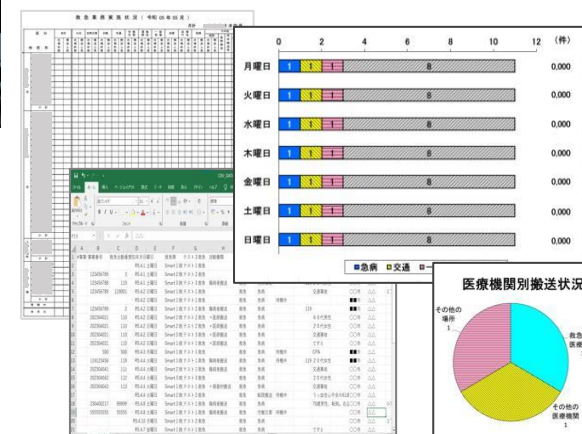
IV. 帰署～事務処理

⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置記録など
- ・国報告CSV/統計出力可能
- ・その他各種帳票等に反映
- ・事後検証
※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



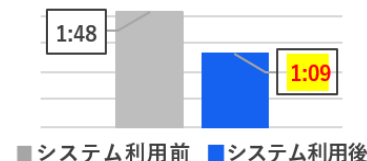
【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

- ◇ 千葉市消防局 ◇ 東広島市消防局
- ◇ 千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇ 江別市消防本部 ◇ 桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



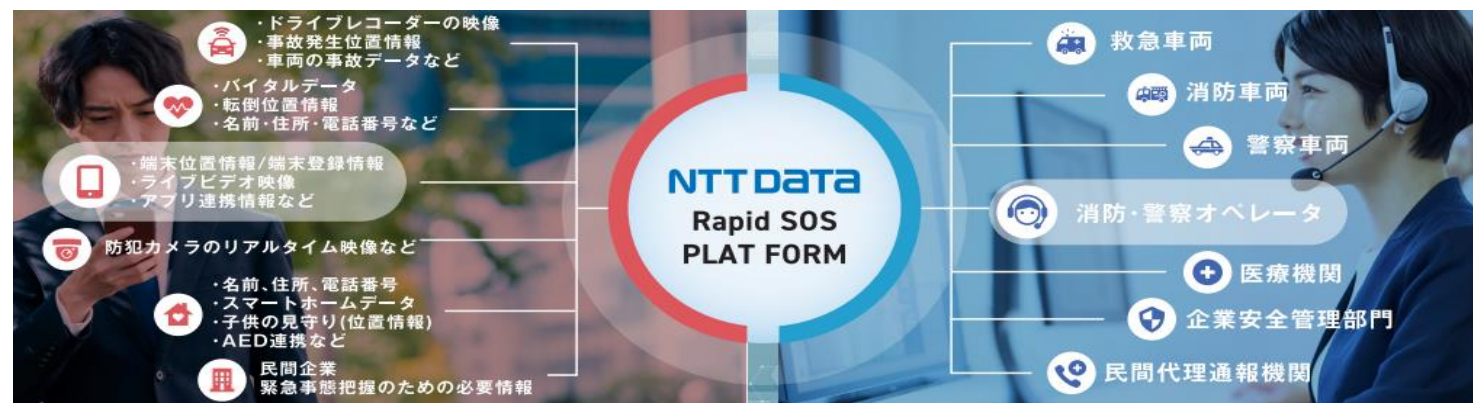
システム名：緊急通報サービスプラットフォーム（RapidSOS）

フェーズ：ⅠⅡⅢ／③④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

再掲

緊急通報サービス

NTT Data
with RapidSOS



【概要】

様々なIoTデバイスの多種多様な情報を、緊急通報対応の関係者に連携する、デジタルプラットフォームサービス

【訴求ポイント】

スマートフォンだけでなく、スマートウォッチ、スマートホーム、ドライブレコーダー等の様々なIoTデバイスからの情報（端末位置情報やカメラのリアルタイム映像、車両情報等）を、緊急通報受理機関に共有・連携し、迅速で正確な対応を可能とします。

【導入効果】

①高精度な位置情報②付加情報（通報者に紐づく医療・車両等）を、連携を要する関係者含めて迅速に共有でき、現場への駆けつけ所要時間の削減と、より多くの方の救命活動に繋がります。例えば米国では、電話受付から現場への駆け付け所要時間を88%削減しています。

【導入実績】

米国で、現時点（2024年11月末）で人口カバー率99.99%*1。

日本で、2025年度商用サービス開始予定。2024年度に複数の消防指令台にて実証を実施。

*1 RapidSOS UNITE/Portal、IamResponding、eDispatches等、複数のサービス合計の数値

<画面イメージ>

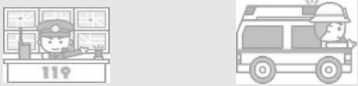


【問い合わせ先】

株式会社NTTデータ
モビリティ&レジリエンス事業部 危機管理ソリューション担当
(050-5545-1866/rapidsos.sales@hml.nttdata.co.jp)

フェーズⅡ

⑤観察内容等の自動記録

フェーズ	Ⅰ . 119入電～出動～現場到着 	Ⅱ . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	Ⅲ . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	Ⅳ . 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤観察内容等の自動記録⑦⑧⑨⑩⑪⑫

再掲

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。

入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。

また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。

医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。

また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

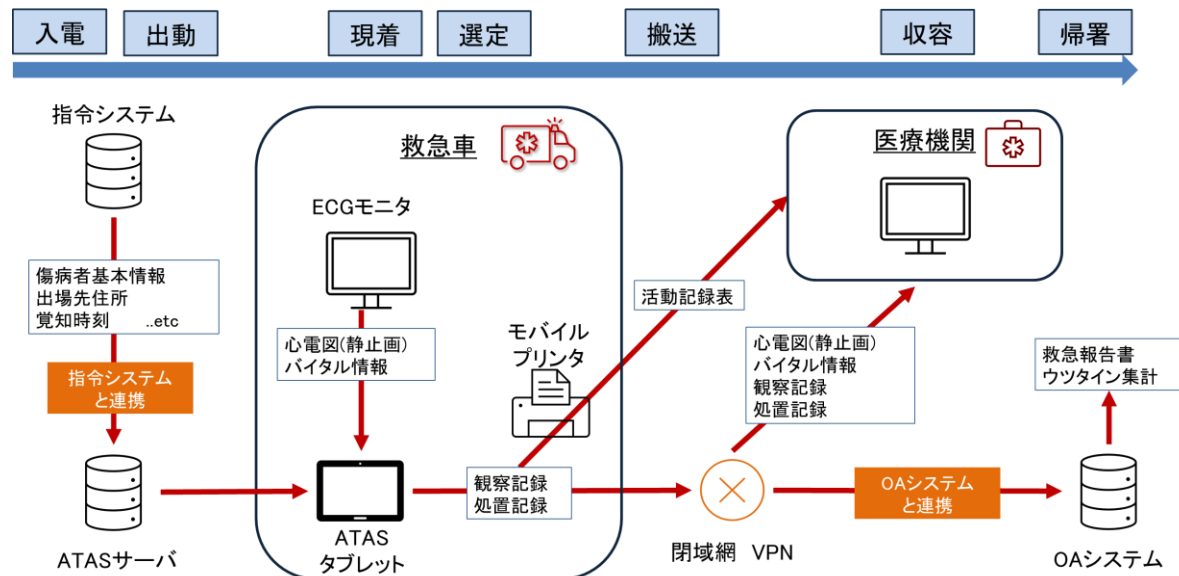
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ



【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL: support-qq@ais-idc.jp

システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤観察内容等の自動記録⑧⑨⑩⑪

再掲

「概要」

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入に役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・ 傷病者申し送り票の電子化
- ・ 救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・ 入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



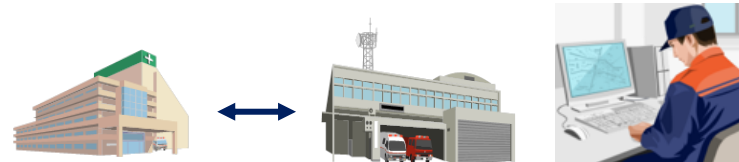
フェーズⅢ

- ・ 医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・ 傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・ 登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・ 予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■ 訴求ポイント

- ① 救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ② 医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③ シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④ 機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■ 導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

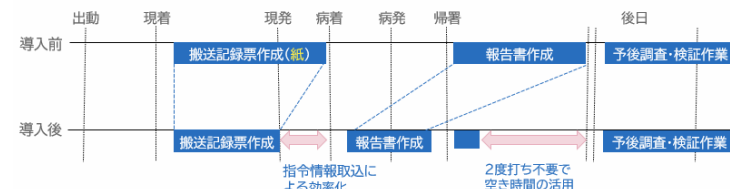
- ① 指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ② 指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■ 導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入＋入力簡素化機能＋医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入＋入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



MINの導入イメージ

【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



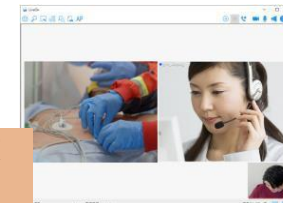
システムの概要

装着者の視点で撮影できるスマートグラスを使用し、搬送中の処置の様子を受け入れ先病院に共有します。加えて、車内に固定のモニタリング用カメラを設置することで、バイタルデータも同時に確認できます。

スマートグラスで隊員の視線映像を撮影、リアルタイムで搬送先病院に中継



現場-救急-専門医など複数でのやり取りも可能



訴求ポイント

1. スマートグラスでは隊員が映像をハンズフリーで送信でき、受入れ病院側では隊員の目線をそのまま確認できる
2. A病院とB病院、救急医と専門医など、複数拠点/人での会話が可能となり、臨機応変な相談や受入れ準備ができる
3. 受入れ病院側からカメラを遠隔操作し、確認したい箇所を見られる
4. 車載モニター画面の映像を共有することで、病院側がリアルタイムにバイタルデータを確認できる
5. 音声や映像・共有画面を自動で録画保存することで、医療機関側での閲覧や事後検証に活用できる

導入効果

搬送中、支援システムに接続しておくことで、受入れ病院側がリアルタイムで患者の状態を確認し、適切な処置を指示できるようになりました。また搬送の途中経過を把握できるため、到着から処置開始までの時間を短縮できます。

導入事例

医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック病院様
他システムと比較して、4G回線において映像や音声不乱れたことがLiveOnWearable採用のポイントとなりました。
導入事例：<https://web.liveon.ne.jp/case/scvc/> ※手術配信における近似事例のインタビューになります。

導入費用

初期費用150万円～

【問い合わせ先】

ジャパンメディアシステム株式会社 マーケティング担当

電話：03-5297-5511 メール：mkt@jm-s.co.jp

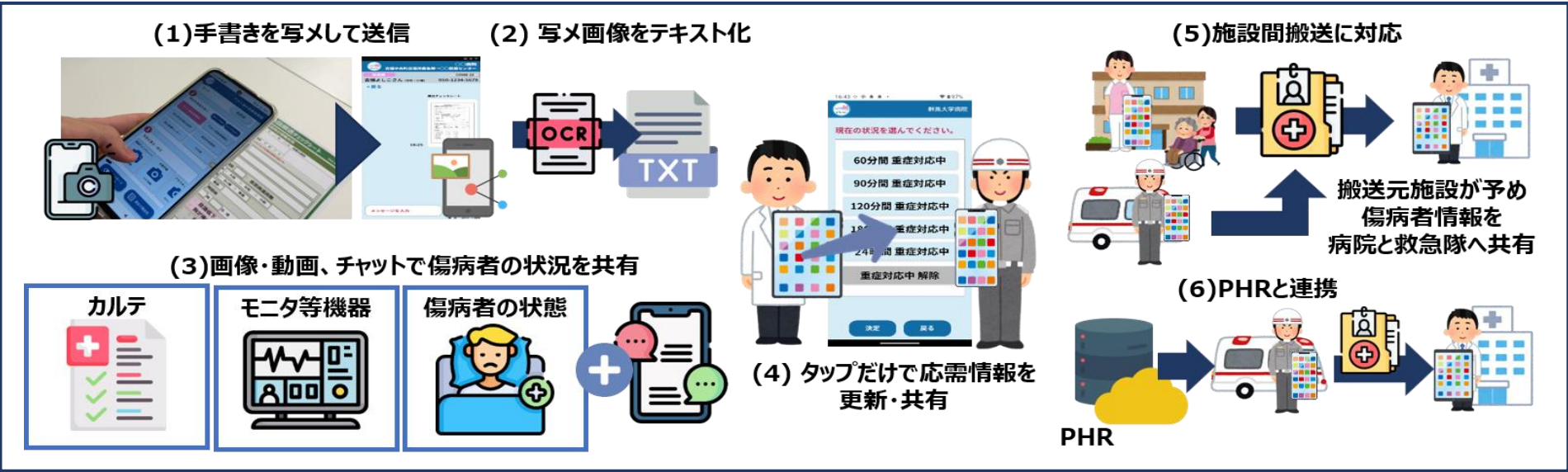
<https://web.liveon.ne.jp/product/liveon-wearable/>

システム概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始を実現している。加えて、iPicssは、(3)写メを基本とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも全世代が迷わず使える仕様となっている

訴求ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の紙のシステムにそのまま導入でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。各所への情報共有により様々な時短が可能！(1)手書きの用紙を写メして送るだけ(2)写メ画像をOCRによりテキスト化してデータベース利用が可能。(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。(4)現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」をタイムリーに関係者間で共有。(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。(6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携した実績あり。



導入効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：20分50秒 → 13分30秒。消防指令における119番電話対応時間が約20秒短縮。高齢者施設でのシミュレーションで、施設者の対応時間が2分36秒短縮。

導入実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

問合せ

そなえ株式会社 050-3159-5859 / info@sonae.ltd
バース・ビュー株式会社 03-6801-5620 / sales.birdsview.jp

https://sonae.ltd
https://www.birdsview.jp

● システムの概要

CodeMateは、携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」と連携し、救命士が搬送先の病院および所属の消防署へ提出する各種救急レポートの作成を支援するアプリケーションです。タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にインストールしたアプリ上で、除細動器で取得した心電図等のデータをタイムリーに参照・反映、傷病者情報をタップやプルダウンで入力できるため、救急車内や病院の待機中などに輸送証・報告書などのレポート作成を効率的かつ正確に行えます。他社の除細動器や車載モニタであっても、アプリ上でレポートを作成する基本機能はご使用いただけます（一部機能制限あり）。

● 訴求ポイント

車載モニタの機能を兼ねる除細動器から救急活動に関するデータをアプリに取込み、傷病者搬送書類に反映・書類を作成、電子コピーやハードコピー（車載にモバイルプリンタが必要）で搬送先へ提出することが可能となります。また、入力したデータは帰署後に消防本部で必要となる活動記録の内容に取込むことができ、病院収容後からモバイル端末にて報告書の作成が可能、業務負担の軽減と活動の効率化に貢献します。また、除細動器で取得した活動データをもとに活動のデブリーフィング資料として活用いただけます。

● 導入効果

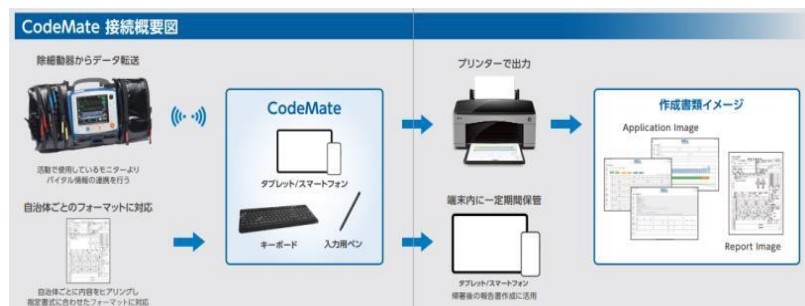
実証を行った施設では帰署後の報告書作成の平均時間が20分短縮された。また、搬送先へ提出する傷病者搬送書類も手書きによる読み難さが軽減され、病院側の患者記録の取得精度もより高まった。

● 導入実績

実証を依頼した3消防本部にて稼働中、令和7年以降の予算請求をおこなっている消防本部が複数あり。

● 費用の目安

初期費用として本部でのライセンス及び設定費用として¥1,000,000と、別途除細動器1台につき¥1,000,000を頂戴しております。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部 （03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry> ）

【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・ 指令台システムとの連携可
→ 事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・ 複数傷病者事案にも対応
→ 最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

<入力支援>

- ・ フリック/キーボード/スクリブル/音声
- ・ 各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

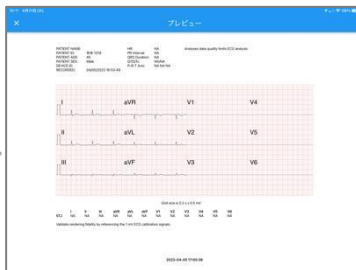
④ ⑤ ⑥ ⑦

- ・ 医療機関へリアルタイム情報共有
→ 入力情報・画像・映像など
- ・ 身分証/バイタルモニターのOCR
→ テキストを読み取り自動入力
- ・ 心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→ バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・ 入力内容による傷病判定補助
- ・ 医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧ ⑨ ⑩ ⑪

- ・ 傷病者引継書作成/データ化
→ 入力内容の自動反映
- ・ 医師署名の電子化
→ 任意のタイミングでサイン可
- ・ 各種署名の電子化
→ 不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・ 予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可

バイタルサイン	19:10(前)	19:00	19:10	19:16(後)
JCS(EV/A)	20/11/0	20/11/0	20/11/0	20/11/0
CS(EV/A)	70/50/0			
呼吸(分/分)	20			
脈拍(分/分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)				
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映



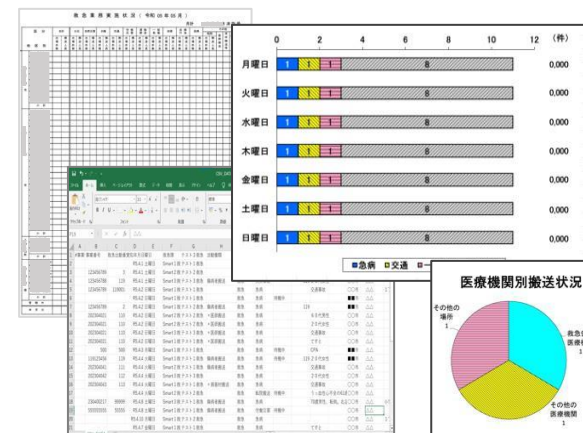
IV. 帰署～事務処理

⑩ ⑪

- ・ Smart119消防OAシステムへの自動反映
→ 救急活動記録票、救急救命処置記録など
- ・ 国報告CSV/統計出力可能
- ・ その他各種帳票等に反映
- ・ 事後検証
※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



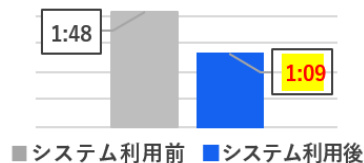
【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

- ◇ 千葉市消防局
- ◇ 千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇ 江別市消防本部
- ◇ 東広島市消防局
- ◇ 桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



システム名：NSER mobile

フェーズ番号：ⅡⅢⅣ/機能：④⑤観察内容等の自動記録⑦⑧⑨⑩⑪

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。

なぜ

NSER mobile は、
救急隊の負担を軽減し、
救急医療の質を高めるのか？

救急隊・救急救命士のための情報メディア

EMS Collection

<https://ems-collection.jp/>

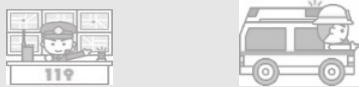
【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL:txp99@txpmedical.com



フェーズⅡ

⑥ バイタルサインや画像の分析による傷病者判定補助

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼		
		⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン		

システム名：FT-WEBシステム

フェーズ：ⅡⅣ／機能：⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助⑦⑩⑪

システムの概要

救急事案発生から、現地での傷病者情報・状況の記録と判定を行い、搬送先選定から搬送先医療機関への収容、その後の報告業務・記録票作成、事後検証までをデータで繋ぐシステムです。傷病者情報を医療機関マイページで連携照会が、搬送先選定時に他隊の搬送状況が確認できる完全Webシステムです。

システム訴求ポイント

事案発生から、事案終了までのデータを一元的に管理を行うため、無駄の無い情報管理ができます。以下の5つのポイントで救急活動を支援します。

①特別なソフトは必要ありません②登録が簡単なタッチ入力③自動重症度判定④搬送先選定時の情報連携⑤他システム連動カスタマイズ可能

導入効果

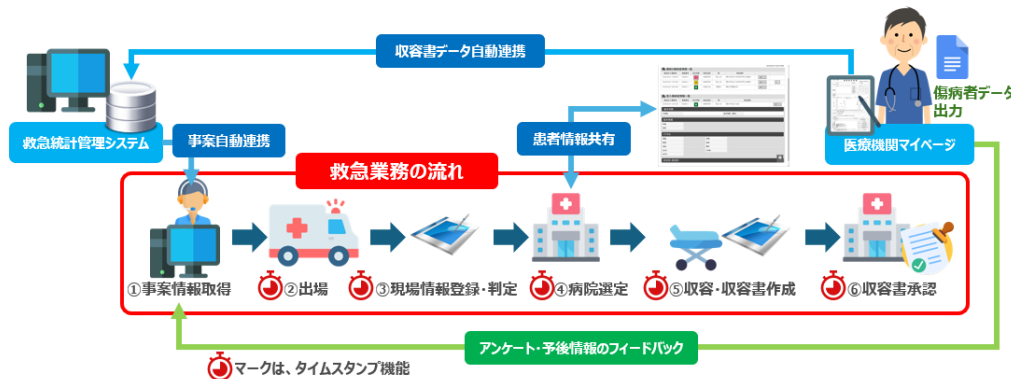
搬送先選定時に他隊の状況が確認ができ、1回目の医療機関への受け入れ交渉連絡において、受け入れ可能の回答が70%であったものが、導入後には80%に向上しました。隊員の現場滞在時間を少なくする事が可能です。

導入実績

横浜市消防局

費用の目安

導入費用119万円から（各オプション価格あり）保守・運用費用20万/月から



【問い合わせ先】

Fukula株式会社 <https://fukula.jp/> 電話：045-330-9191 メール：info@fukula.jp

システム名：医療関係者間アプリケーション「Join」 フェーズ：ⅡⅢ／機能：④⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助⑦

再掲

・システムの概要

①国内で初めて医療機器認証を受けた医療者向け遠隔医療アプリ

病院前救護の現場で、救急隊員が患者情報を正確に医療機関へ伝え、搬送先病院の選定や、病院到着後に迅速な治療が出来る体制を整えます。
※実現には、消防、医療機関双方にJoinの導入が必要。

②医療情報のモバイルハブ

画像/映像/生体検査機器、各種医療情報システムと連携し、スマホ・タブレットやPC上で表示可能。救急車内の情報をJoin経由で搬送先に事前連携。
(薬事承認・認可を受けた国：日本、米国(FDA)、欧州(CE)ブラジル、サウジアラビア、ケニア)

・訴求ポイントおよび導入実績

Joinの3つのバリュー

①医療機器(2014年)：汎用画像診断装置用プログラム ※世界のガイドラインも遵守：日本・米国・欧州・ブラジル・サウジ・ケニア等

②保険収載：2016年日本初、2022年・2024年診療報酬にて適用拡大

③グローバル展開：世界32か国、約1100医療機関(日本では約500医療機関) ※世界中の急性期地域医療情報連携に採用、臨床効果の報告多数

※本邦では86の消防本部/団/組合にて導入(2024年)

<https://www.allm.net/news/20220201/>

・導入効果(参考)

～消防と病院で双方にJoinが導入されることで、病院前連携を実現～

・消防隊とのプレホスピタル連携(写真や動画の事前情報を共有)

①事故による破損の程度、エアバック開閉の有無を把握

②病気の場合、家の様子がわかる

③身分証の写真(※本人の許可のもと)

・受け入れ病院は受電後→院内周知をシームレスに行える

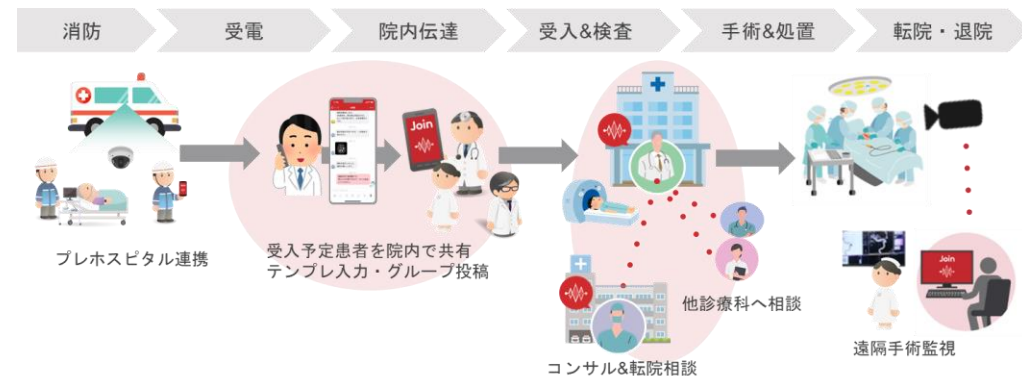
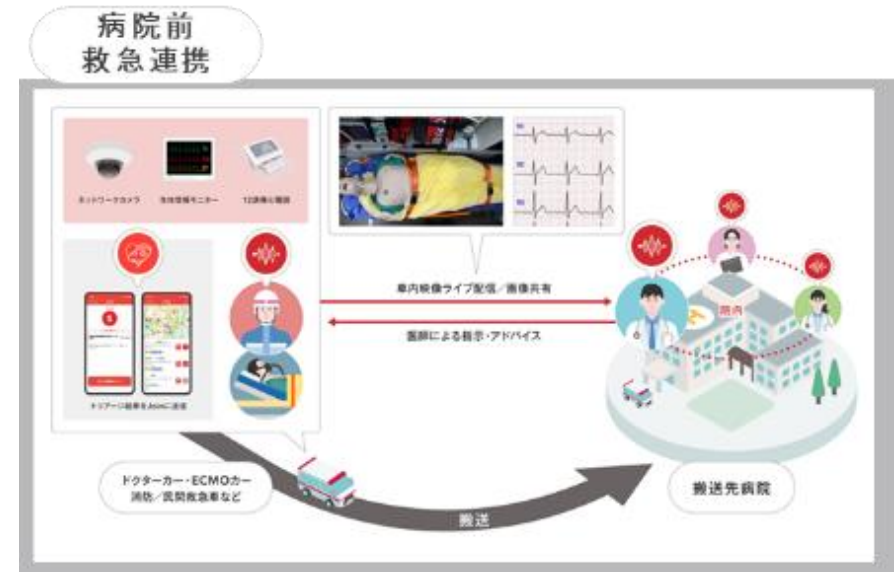
・費用の目安

・導入及び運営支援：300万円

・月額使用料：11万円/30ID

※DICOMデータ連携が必要な場合、サーバーを設置。設置費用：400万円

※2024/11時点 ご用命をいただき次第、ヒアリングを行い、お見積りを作成いたします。



【問い合わせ先】 株式会社アルム <https://www.allm.net/contact/>

システム名 : RescueNet 12-Lead

フェーズ : II / 機能 : ④⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助

再掲

● システムの概要

RescueNet 12-Leadは弊社携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」で12誘導心電図を取得・解析し傷病判定補助を行う機能になります。また心電図伝送システムなどにつなぎかえることなく、除細動器から登録されている複数のメールアドレスや FAXに心電図伝送が可能なシステムとなります。
(Wi-Fi環境必須)

● 訴求ポイント

場所を選ばずに12誘導心電図伝送が行える点。また、本体が生体情報モニタリング機能付きの除細動器であるため傷病者急変時にケーブルの取り外しや他モダリティの追加を行わずに救急処置継続が可能となります。

● 導入効果

これまで主に救急車内収容後に取得されていた12誘導心電図が傷病者接触時から取得が可能となり、現場離脱前に搬送先病院へ心電図と補助判定の結果を共有することができます。
また、心電図の解析と補助判定の機能を有するため、救命士の熟練度に関わらず傷病者への適切な対応が可能となります。

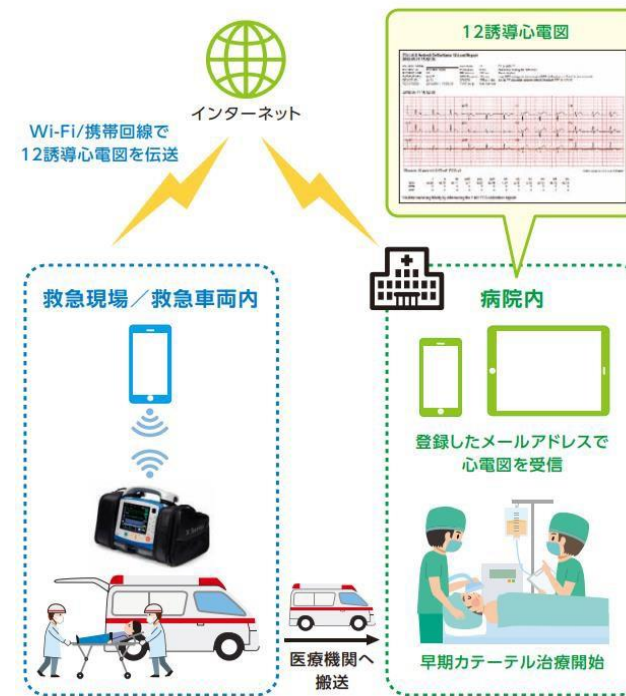
● 導入実績

全国150以上の消防本部にて稼働中。

● 費用の目安

弊社携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」には出荷時より 本機能が付属されているため、追加でのオプション費用は不要となります。ご使用に際し伝送先の登録・設定費用として除細動器1台につき¥100,000を頂戴しております。
その他、Wi-Fi環境が必要となるため導入先消防施設での携帯電話テザリングやポケットWi-Fiのご準備をお願いしており、その費用が別途必要となります。

RescueNet™ 12-Lead 伝送の仕組み



病院はEメールやFAXがあれば、12誘導心電図を受信することが可能です。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部 (03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry/>)

システム名 : Smart119

フェーズ : II III IV / 機能 : ④⑤⑥ バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦⑧⑨⑩⑪

再掲

【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・ 指令台システムとの連携可
→ 事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・ 複数傷病者事案にも対応
→ 最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

<入力支援>

- ・ フリック/キーボード/スクリブル/音声
- ・ 各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・ 医療機関へリアルタイム情報共有
→ 入力情報・画像・映像など
- ・ 身分証/バイタルモニターのOCR
→ テキストを読み取り自動入力
- ・ 心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→ バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・ 入力内容による傷病判定補助
- ・ 医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



Bluetooth



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・ 傷病者引継書作成/データ化
→ 入力内容の自動反映
- ・ 医師署名の電子化
→ 任意のタイミングでサイン可
- ・ 各種署名の電子化
→ 不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・ 予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン				
項目	19:14(搬送)	19:00	19:10	19:14(搬送)
JCS(P/A)	21/1/0		21/1/0	21/1/0
GCSEVM	10/0/0			
呼吸数(回/分)	20			
脈拍数(回/分)	61			
血圧(mmHg)	117/58			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)				
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

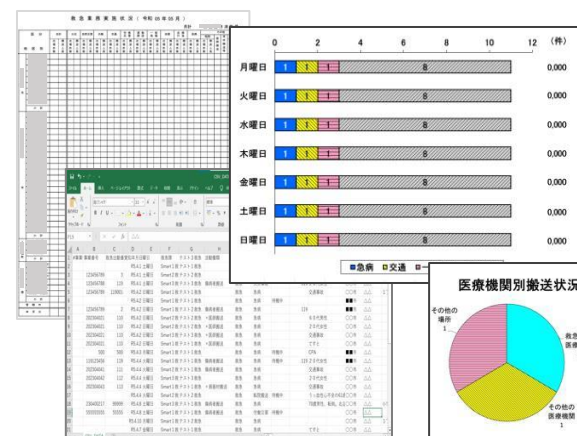
IV. 帰署～事務処理

⑩⑪

- ・ Smart119消防OAシステムへの自動反映
→ 救急活動記録票、救急救命処置録など
 - ・ 国報告CSV/統計出力可能
 - ・ その他各種帳票等に反映
 - ・ 事後検証
- ※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



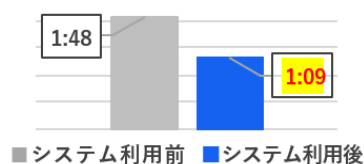
【訴求ポイント】 赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

- ◇ 千葉市消防局
- ◇ 千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇ 江別市消防本部
- ◇ 東広島市消防局
- ◇ 桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能

SMART119 inc.

<https://smart119.biz/>

事業開発部

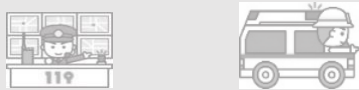
info@smart119.biz

連絡先 : 043-312-7471



フェーズⅡ

⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼

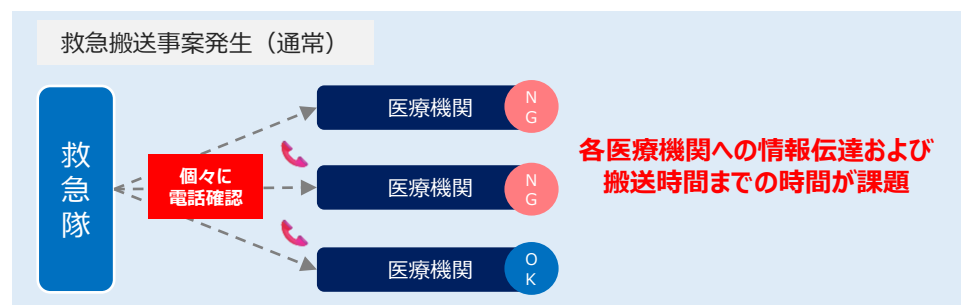
フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン	

システム名：LINE WORKS

フェーズ：Ⅱ／機能：⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼

- ・システムの概要（弊社HP：<https://line-works.com/>）
LINEでおなじみのトーク機能を中心に、グループウェア機能を搭載した「ビジネス版LINE」を提供しています。
多くの自治体様での導入実績も多数ありセキュリティ面もご安心してご利用いただけるサービスとなります。
- ・訴求ポイント
トーク機能から傷病者情報を入力し、救急隊から医療機関への収容依頼要請を一斉に実施する仕組みを提供することが可能。
既読確認機能を活用することで、どの医療機関がメッセージを見ているかすぐに確認することが可能です。

利用イメージ



- ・導入効果
収容依頼の照会は電話で確認することが多いが、一斉照会を行うことで都度、電話確認していた工数を削減し、受入先からの回答を救急隊はLINE WORKSを通じて、スマートフォンやPCから確認することが可能になります。

- ・導入実績：46万社以上

- ・費用の目安：LINE WORKSライセンス料：1IDあたり5,400円/年

※一斉受入照会の設定は（株）麻生情報システム様にて設定を行います。ライセンスとは別に設定費用が発生します。

【問い合わせ先】

LINE WORKS株式会社 <https://line-works.com/>

LINE WORKS 救急システム連携問合せ窓口 MAIL：dl_es@line-works.com

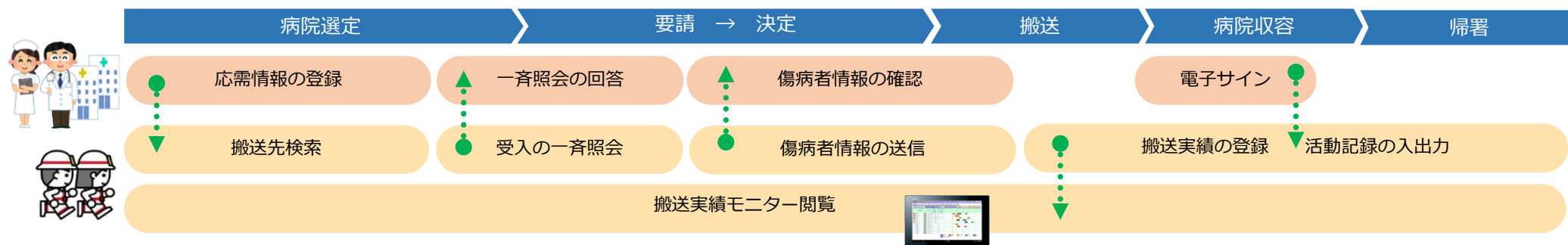
システム名：医療施設情報システム Mefis

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑦医療機関の空き状況把握・収容依頼⑧⑨⑩

再掲

システムの概要

救急搬送時の医療機関の情報と傷病者情報のやり取りや、医療機関の空き状況、救急隊の各種帳票への出力機能を有している、地域救急の見える化を行うシステムです。救急搬送時の搬送時間の短縮と救急隊の活動における書類作業の軽減に寄与する機能群を実装しています。救急隊はタブレット等のモバイル端末を用いて医療機関への受入要請・傷病者情報のやり取りを行い、活動時の記録を帳票出力できます。



訴求ポイント

導入する地域の課題や各種の様式種別に対応しており、地域によって異なるニーズに対応します。

搬送時間が長くなる事案ではリアルタイムの情報共有を充実させる、地域災害の多い地域では個別の一斉照会の運用支援を行うなどの運用全体のサポートにより成果を上げてきました。

導入効果

これまで導入頂いた自治体では下記の効果があったとの反響をいただいています。

- ・搬送時間の短縮
- ・交渉回数4回以上の事案が半減
- ・三次救急に集中していた搬送の平準化
- ・応需入力率の向上

導入実績・費用の目安

14都道府県、8自治体/費用目安は利用数及びカスタマイズ箇所により変動のためお問合せ下さい。

問い合わせ先：国際航業株式会社 info-mefis@kk-grp.jp

製品サイト：<https://www.kkc.co.jp/service/item/2814/>

システム名：医療関係者間アプリケーション「Join」 フェーズ：ⅡⅢ／機能：④⑥⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼

再掲

・システムの概要

①国内で初めて医療機器認証を受けた医療者向け遠隔医療アプリ

病院前救護の現場で、救急隊員が患者情報を正確に医療機関へ伝え、搬送先病院の選定や、病院到着後に迅速な治療が出来る体制を整えます。
※実現には、消防、医療機関双方にJoinの導入が必要。

②医療情報のモバイルハブ

画像/映像/生体検査機器、各種医療情報システムと連携し、スマホ・タブレットやPC上で表示可能。救急車内の情報をJoin経由で搬送先に事前連携。
(薬事承認・認可を受けた国：日本、米国(FDA)、欧州(CE)ブラジル、サウジアラビア、ケニア)

・訴求ポイントおよび導入実績

Joinの3つのバリュー

①医療機器(2014年)：汎用画像診断装置用プログラム ※世界のガイドラインも遵守：日本・米国・欧州・ブラジル・サウジ・ケニア等

②保険収載：2016年日本初、2022年・2024年診療報酬にて適用拡大

③グローバル展開：世界32か国、約1100医療機関(日本では約500医療機関) ※世界中の急性期地域医療情報連携に採用、臨床効果の報告多数
※本邦では86の消防本部/団/組合にて導入(2024年)

<https://www.allm.net/news/20220201/>

・導入効果(参考)

～消防と病院で双方にJoinが導入されることで、病院前連携を実現～

・消防隊とのプレホスピタル連携(写真や動画の事前情報を共有)

- ①事故による破損の程度、エアバック開閉の有無を把握
- ②病気の場合、家の様子がわかる
- ③身分証の写真(※本人の許可のもと)

・受け入れ病院は受電後→院内周知をシームレスに行える

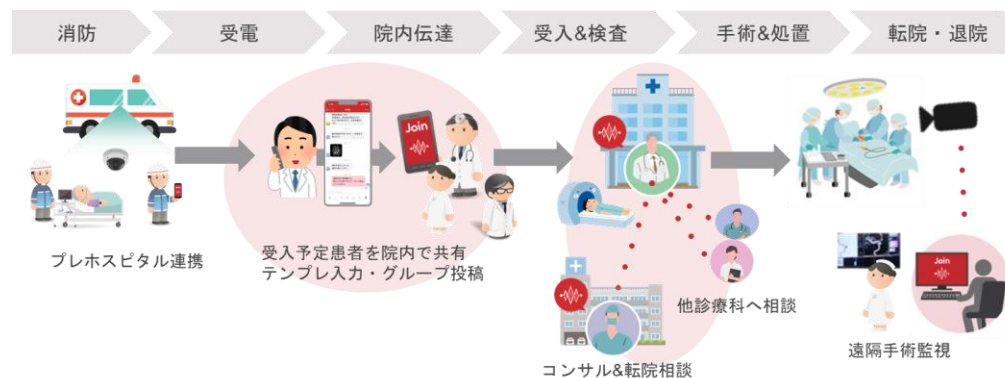
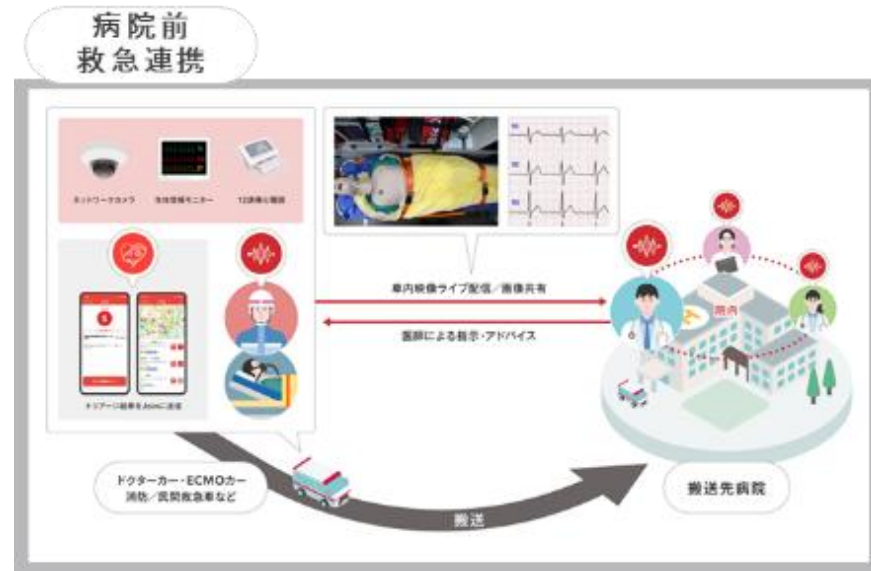
・費用の目安

・導入及び運営支援：300万円

・月額使用料：11万円/30ID

※DICOMデータ連携が必要な場合、サーバーを設置。設置費用：400万円

※2024/11時点 ご用命をいただき次第、ヒアリングを行い、お見積りを作成いたします。



【問い合わせ先】 株式会社アルム <https://www.allm.net/contact/>

システム名：救急医療情報システム

フェーズ：ⅡⅣ／④⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼⑪

再掲

・システムの概要（システムの説明）

救急医療情報システムは、救急隊と医療機関が救急業務に係る情報を入力・閲覧し、情報連携を強化することで、搬送時間の短縮および業務効率化を目的とした情報連携プラットフォームです。

・訴求ポイント

救急医療情報システムに救急隊は搬送実績情報を、医療機関は応需情報を入力、救急システムを通して情報共有できます。

また、オプションとして、救急隊が救急現場で記載する傷病者観察メモや、メディカルコントロール内で救急業務の分析を行う事後検証業務のシステム化も可能です。

これらにより、救急業務の各フェーズで発生する情報を救急医療情報システム上に集約することができ、関係者間の情報連携、情報管理の一元化、情報の利活用を推進します。

・導入効果

- 応需情報、搬送実績情報に加え、傷病者観察メモ、現場画像や心電図、事後検証をオンライン上に反映し、関係者間の早期情報連携が可能
- 傷病者観察メモや事後検証のペーパーレス化による情報管理の一元化が可能
- 入力した各種情報のうち、共通項目は救急医療情報システムの各機能の間で自動連携するため、二重入力項目の削減が可能
- 入力した各種情報は統計活用が可能

・導入実績

17都道府県に提供しています。（2024年11月時点）

・その他

詳細資料については、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

株式会社NTTデータ <https://www.nttdata.com/jp>

第四公共事業本部 ヘルスケア事業部 企画統括部 ヘルスケアソリューション担当

メールアドレス noriaki.takahashi@nttdata.com

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼⑧⑨⑩⑪⑫

再掲

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。

入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。

また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。

医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。

また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

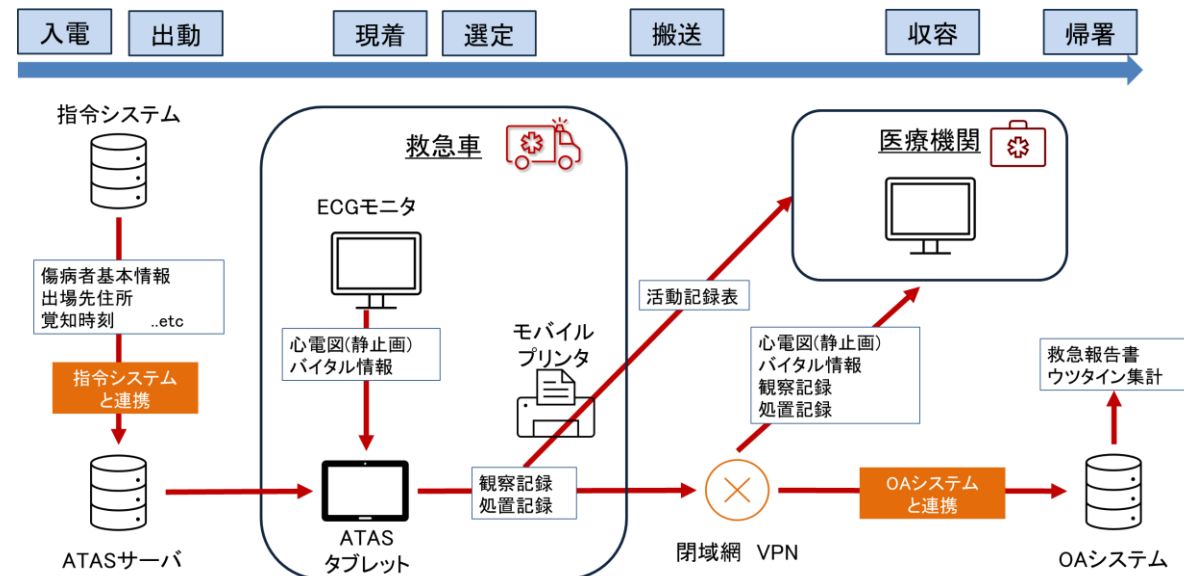
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ



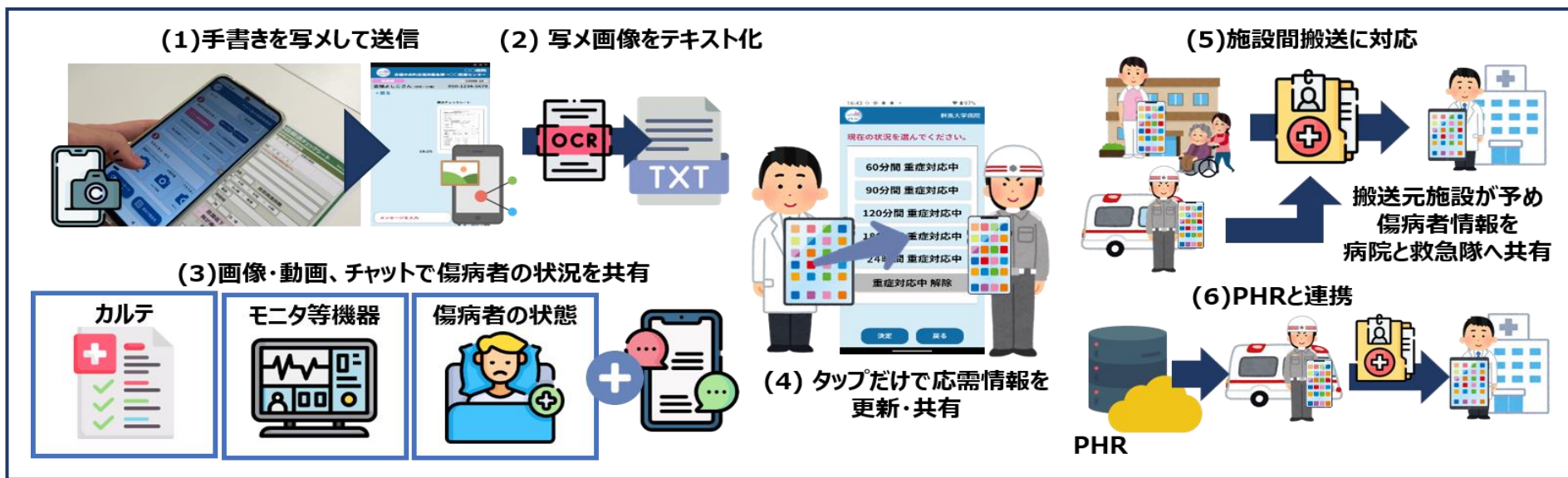
【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL: support-qq@ais-idc.jp

システム
概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、**(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始**を実現している。加えて、iPicssは、**(3)写メを基本**とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも**全世代が迷わず使える**仕様となっている

訴求
ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の**紙のシステムにそのまま導入**でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。
各所への情報共有により様々な時短が可能！**(1)手書きの用紙を写メして送るだけ (2)写メ画像をOCRによりテキスト化**してデータベース利用が可能。
(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。**(4)現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」**をタイムリーに関係者間で共有。
(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。**(6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携**した実績あり。



導入
効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：**20分50秒 → 13分30秒**。
消防指令における**119番電話対応時間が約20秒短縮**。高齢者施設でのシミュレーションで、**施設者の対応時間が2分36秒短縮**。

導入
実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

問合せ

そなえ株式会社

バース・ビュー株式会社

050-3159-5859 / info@sonae.ltd

03-6801-5620 / sales.birdsview.jp

<https://sonae.ltd>

<https://www.birdsview.jp>

システムの概要

e-MATCH(救急医療管制・意思決定支援システム)は1.救急患者と医療機関のマッチングの適正化、2.地域全体の病院前～急性期医療の情報共有の仕組みを提供、3.継続的な質向上(PDSA)のためのフィードバックに資するデータ提供します。

システムの詳細

訴求ポイント

各都道府県・MCにおける傷病者の搬送および受け入れに関する実施基準の見直し・改善を支援(エビデンスベースの議論を促進させ、各種検証や研究にも幅広く活用可能)データ活用のご相談から各種資料作成をサポート！

導入実績

奈良県(2012年～)
千葉市(2014年～2018年)
三重3市(津市、伊賀市、名張市)
(2014年～2016年)
福島県
(県北地区での運用2016年～2018年)

病院前医療(救急隊)と急性期医療(医療機関)における救急診療情報の共有と救急搬送の適正化を実現します。



導入効果(定性、定量)

※奈良県での効果

重症外傷傷病者における現地活動時間30分以上の割合
25.3%→15.2% (導入前後)
重症外傷傷病者における現地での紹介回数4回以上の割合
15.4%→9.7% (導入前後)
重症者の照会回数4回以上の割合
12.0% → 1.7% (稼働後5年間)
重症者の現場滞在時間30分以上の割合
16.2% → 7.4% (稼働後5年間)
重症以上傷病者における照会1回決定率
66.4%→81.8%(稼働後5年間)
コロナ禍、熱発患者の搬送ルール策定に活用

費用の目安

導入費用 応相談
運用費用 200,000円～年/台
(運用契約内容により変動します)



製品詳細はこちら

【問い合わせ先】



事業者名：バース・ビュー株式会社
担当部署：救急災害医療DX事業部

Web: <https://www.birdsview.jp>

連絡先：03-6801-5620

e-mail: e-match@birdsview.jp

システムの概要

救急事案発生から、現地での傷病者情報・状況の記録と判定を行い、搬送先選定から搬送先医療機関への収容、その後の報告業務・記録票作成、事後検証までをデータで繋ぐシステムです。傷病者情報を医療機関マイページで連携照会が、搬送先選定時に他隊の搬送状況が確認できる完全Webシステムです。

システム訴求ポイント

事案発生から、事案終了までのデータを一元的に管理を行うため、無駄の無い情報管理ができます。以下の5つのポイントで救急活動を支援します。

①特別なソフトは必要ありません②登録が簡単なタッチ入力③自動重症度判定④搬送先選定時の情報連携⑤他システム連動カスマイズ可能

導入効果

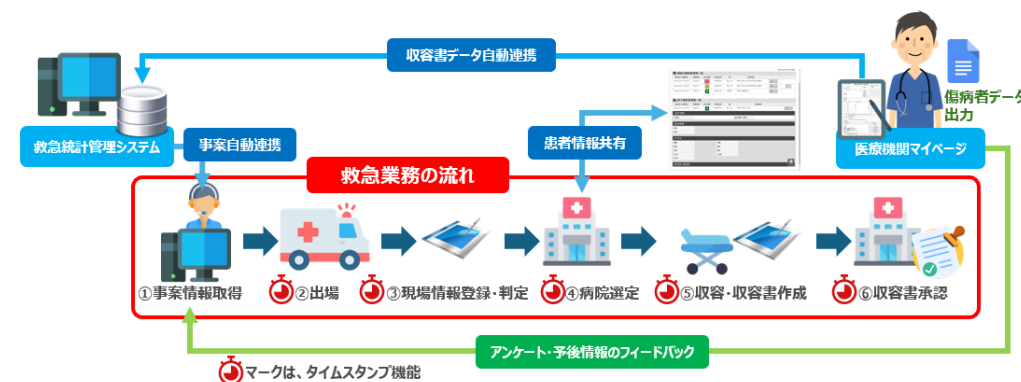
搬送先選定時に他隊の状況が確認ができ、1回目の医療機関への受け入れ交渉連絡において、受け入れ可能の回答が70%であったものが、導入後には80%に向上しました。隊員の現場滞在時間を少なくする事が可能です。

導入実績

横浜市消防局

費用の目安

導入費用119万円から（各オプション価格あり）保守・運用費用20万/月から



システム名 : NSER mobile

フェーズ : II III IV / 機能 : ④⑤⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼⑧⑨⑩⑪

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。



【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL: txp99@txpmedical.com



【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

<入力支援>

- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
- ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン	19:10(前)	19:00	19:10	19:16(最新)
JCS(EV/A)	20/11/0	20/11/0	20/11/0	20/11/0
心電図(分)	20			
呼吸(分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)	-	-	-	-
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

IV. 帰署～事務処理

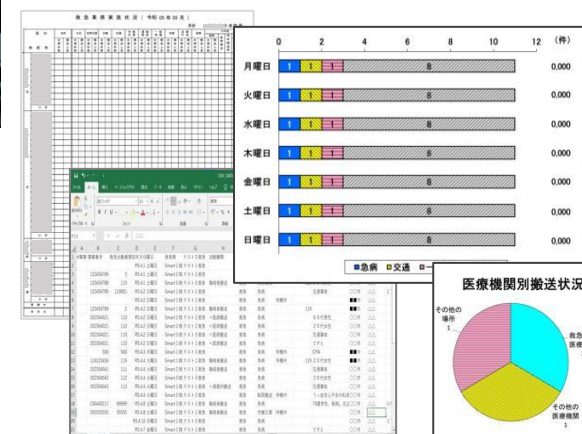
⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置記録など
- ・国報告CSV/統計出力可能
- ・その他各種帳票等に反映
- ・事後検証

※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負担軽減 事務作業時間短縮効果



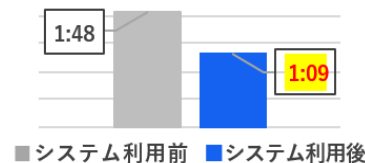
【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

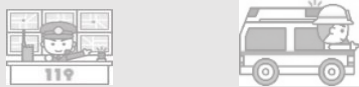
- ◇千葉市消防局
- ◇千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇江別市消防本部
- ◇東広島市消防局
- ◇桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



フェーズⅢ

⑧収集した情報を引継書へ自動反映

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン	

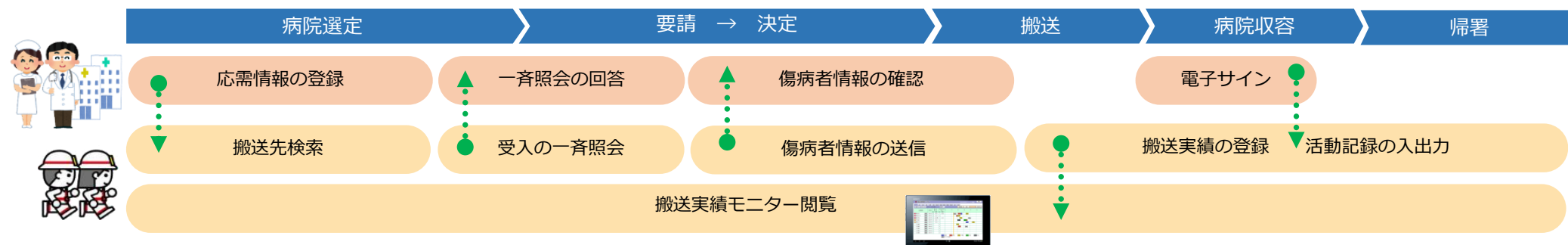
システム名：医療施設情報システム Mefis

フェーズ：ⅡⅢⅣ/機能：④⑦⑧収集した情報を引継書へ自動反映⑨⑩

再掲

システムの概要

救急搬送時の医療機関の情報と傷病者情報のやり取りや、医療機関の空き状況、救急隊の各種帳票への出力機能を有している、地域救急の見える化を行うシステムです。救急搬送時の搬送時間の短縮と救急隊の活動における書類作業の軽減に寄与する機能群を実装しています。救急隊はタブレット等のモバイル端末を用いて医療機関への受入要請・傷病者情報のやり取りを行い、活動時の記録を帳票出力できます。



訴求ポイント

導入する地域の課題や各種の様式種別に対応しており、地域によって異なるニーズに対応します。

搬送時間が長くなる事案ではリアルタイムの情報共有を充実させる、地域災害の多い地域では個別の一斉照会の運用支援を行うなどの運用全体のサポートにより成果を上げてきました。

導入効果

これまで導入頂いた自治体では下記の効果があったとの反響をいただいています。

- ・搬送時間の短縮
- ・交渉回数4回以上の事案が半減
- ・三次救急に集中していた搬送の平準化
- ・応需入力率の向上

導入実績・費用の目安

14都道府県、8自治体/費用目安は利用数及びカスタマイズ箇所により変動のためお問合せ下さい。

問い合わせ先：国際航業株式会社 info-mefis@kk-grp.jp

製品サイト：<https://www.kkc.co.jp/service/item/2814/>

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑦⑧収集した情報を引継書へ自動反映⑨⑩⑪⑫

再掲

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。

入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。

また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。

医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。

また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。

その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

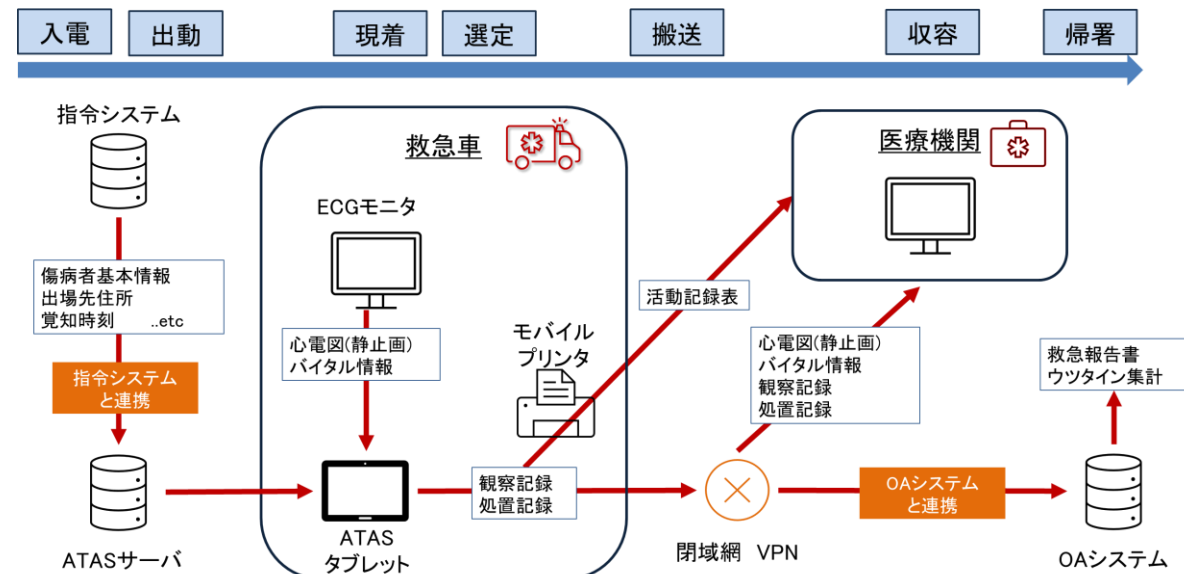
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ



【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL: support-qq@ais-idc.jp

システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／④⑤⑧収集した情報を引継書へ自動反映⑨⑩⑪

再掲

「概要」

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入に役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・ 傷病者申し送り票の電子化
- ・ 救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・ 入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



フェーズⅢ

- ・ 医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・ 傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・ 登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・ 予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■ 訴求ポイント

- ① 救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ② 医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③ シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④ 機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■ 導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

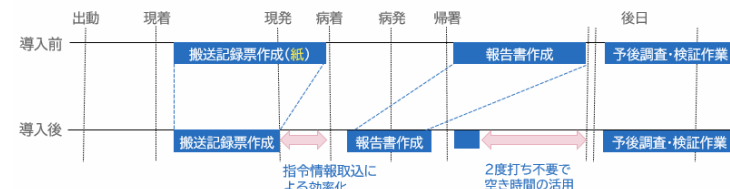
- ① 指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ② 指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■ 導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入＋入力簡素化機能＋医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入＋入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



MINの導入イメージ

【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube

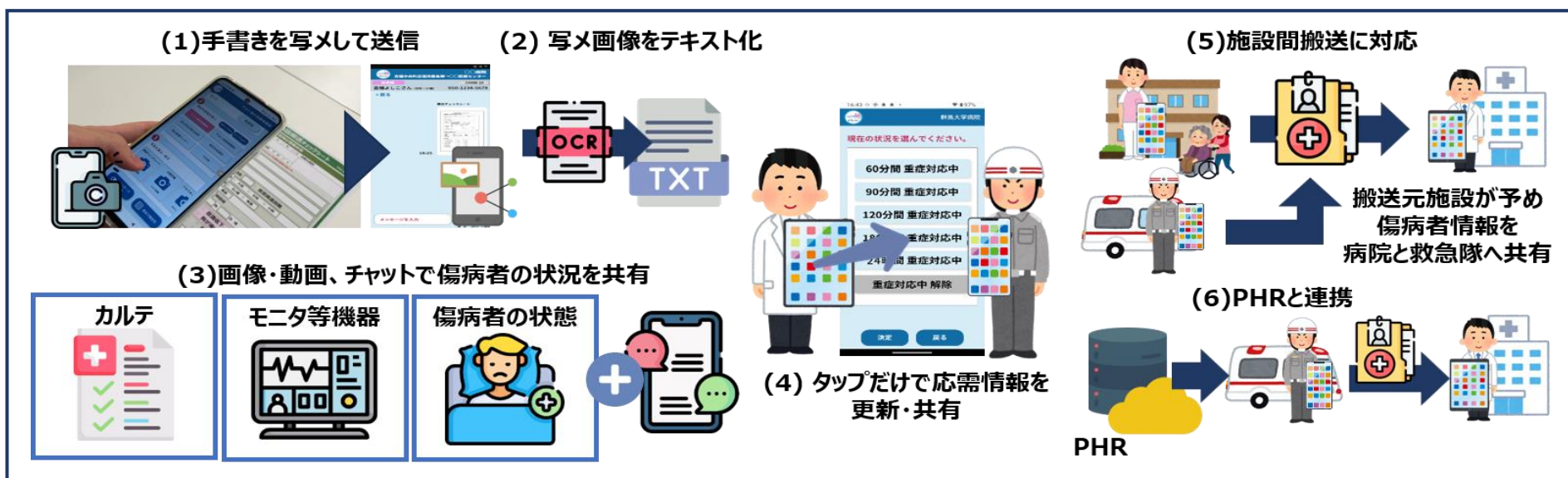


システム
概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、**(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始**を実現している。加えて、iPicssは、**(3)写メを基本**とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも**全世代が迷わず使える**仕様となっている

訴求
ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の**紙のシステムにそのまま導入**でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。
各所への情報共有により様々な時短が可能！**(1)手書きの用紙を写メして送るだけ (2)写メ画像をOCRによりテキスト化**してデータベース利用が可能。
(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。**(4)現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」**をタイムリーに関係者間で共有。
(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。**(6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携**した実績あり。



導入
効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：**20分50秒 → 13分30秒**。
消防指令における**119番電話対応時間が約20秒短縮**。高齢者施設でのシミュレーションで、**施設者の対応時間が2分36秒短縮**。

導入
実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

問合せ

そなえ株式会社

バース・ビュー株式会社

050-3159-5859 / info@sonae.ltd

03-6801-5620 / sales.birdsview.jp

<https://sonae.ltd>

<https://www.birdsview.jp>

● システムの概要

CodeMateは、携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」と連携し、救命士が搬送先の病院および所属の消防署へ提出する各種救急レポートの作成を支援するアプリケーションです。タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にインストールしたアプリ上で、除細動器で取得した心電図等のデータをタイムリーに参照・反映、傷病者情報をタップやプルダウンで入力できるため、救急車内や病院の待機中などに輸送証・報告書などのレポート作成を効率的かつ正確に行えます。他社の除細動器や車載モニタであっても、アプリ上でレポートを作成する基本機能はご使用いただけます（一部機能制限あり）。

● 訴求ポイント

車載モニタの機能を兼ねる除細動器から救急活動に関するデータをアプリに取込み、傷病者搬送書類に反映・書類を作成、電子コピーやハードコピー（車載にモバイルプリンタが必要）で搬送先へ提出することが可能となります。また、入力したデータは帰署後に消防本部で必要となる活動記録の内容に取込むことができ、病院収容後からモバイル端末にて報告書の作成が可能、業務負担の軽減と活動の効率化に貢献します。また、除細動器で取得した活動データをもとに活動のデブリーフィング資料として活用いただけます。

● 導入効果

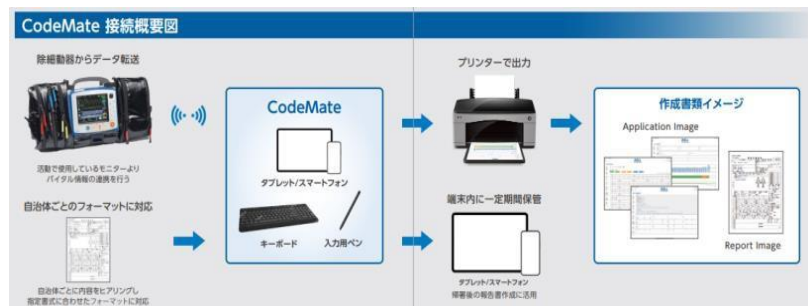
実証を行った施設では帰署後の報告書作成の平均時間が20分短縮された。また、搬送先へ提出する傷病者搬送書類も手書きによる読み難さが軽減され、病院側の患者記録の取得精度もより高まった。

● 導入実績

実証を依頼した3消防本部にて稼働中、令和7年以降の予算請求をおこなっている消防本部が複数あり。

● 費用の目安

初期費用として本部でのライセンス及び設定費用として¥1,000,000と、別途除細動器1台につき¥1,000,000を頂戴しております。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部 （03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry>）

【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

※PC・タブレット・スマートフォン

- ＜入力支援＞
- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
 - ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン	19:10(前)	19:00	19:10	19:16(最新)
JCS(EV/A)	20/11/0	20/11/0	20/11/0	20/11/0
CS(EV/A)	70/50/0			
呼吸(回/分)	20			
脈動(回/分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素吸入量(L)	-	-	-	-
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

【導入実績】

- ◇千葉市消防局
- ◇千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇江別市消防本部
- ◇東広島市消防局
- ◇桑名市消防本部

IV. 帰署～事務処理

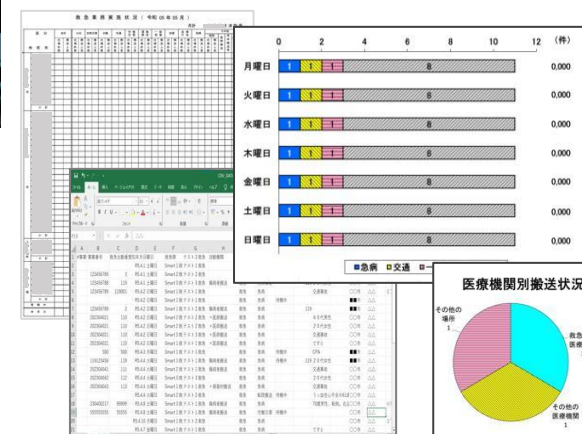
⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置記録など
- ・国報告CSV/統計出力可能
- ・その他各種帳票等に反映
- ・事後検証

※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)

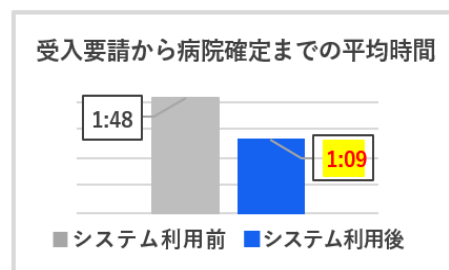
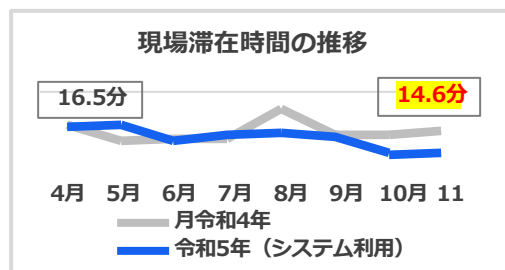


隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】



帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



システム名：NSER mobile

フェーズ：ⅡⅢⅣ/機能：④⑤⑦⑧収集した情報を引継書へ自動反映⑨⑩⑪

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。



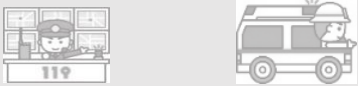
【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL:txp99@txpmedical.com



フェーズⅢ

⑨電子サイン

フェーズ	Ⅰ. 119入電～出動～現場到着 	Ⅱ. 傷病者接触～車内收容～搬送先選定 	Ⅲ. 現場出発 ～ 病院收容 (医師引継) 	Ⅳ. 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・收容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

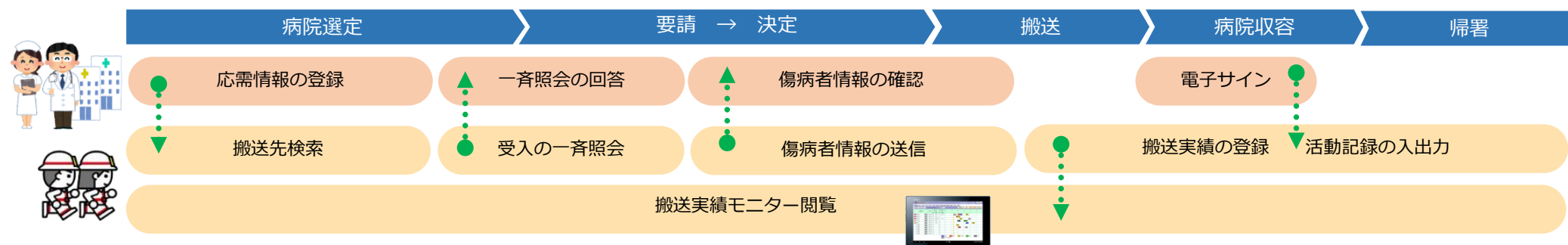
システム名：医療施設情報システム Mefis

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑦⑧⑨電子サイン⑩

再掲

システムの概要

救急搬送時の医療機関の情報と傷病者情報のやり取りや、医療機関の空き状況、救急隊の各種帳票への出力機能を有している、地域救急の見える化を行うシステムです。救急搬送時の搬送時間の短縮と救急隊の活動における書類作業の軽減に寄与する機能群を実装しています。救急隊はタブレット等のモバイル端末を用いて医療機関への受入要請・傷病者情報のやり取りを行い、活動時の記録を帳票出力できます。



訴求ポイント

導入する地域の課題や各種の様式種別に対応しており、地域によって異なるニーズに対応します。搬送時間が長くなる事案ではリアルタイムの情報共有を充実させる、地域災害の多い地域では個別の一斉照会の運用支援を行うなどの運用全体のサポートにより成果を上げてきました。

導入効果

これまで導入頂いた自治体では下記の効果があったとの反響をいただいています。

- ・搬送時間の短縮
- ・交渉回数4回以上の事案が半減
- ・三次救急に集中していた搬送の平準化
- ・応需入力率の向上

導入実績・費用の目安

14都道府県、8自治体/費用目安は利用数及びカスタマイズ箇所により変動のためお問合せ下さい。

問い合わせ先：国際航業株式会社 info-mefis@kk-grp.jp
製品サイト：<https://www.kkc.co.jp/service/item/2814/>

- ・システム運用イメージ
-
- The diagram illustrates the system operation flow for emergency medical services. At the top, a timeline shows the sequence: 入電 (In-call) → 出動 (Dispatch) → 現着 (Arrival) → 選定 (Selection) → 搬送 (Transport) → 収容 (Admission) → 帰署 (Return to station). The main flow starts with the 指令システム (Command System) providing 傷病者基本情報 出場先住所 覚知時刻 ..etc (Patient basic information, destination, detection time, etc.) to the 指令システムと連携 (Command system integration) module. This module connects to the ATASサーバ (ATAS Server). The ATASサーバ sends data to the ATASタブレット (ATAS Tablet), which is used by the 救急車 (Ambulance). The tablet displays ECGモニター (ECG Monitor) and 心電図(静止画) バイタル情報 (ECG (Still Image) Vital Information). It also connects to a モバイルプリンタ (Mobile Printer). The tablet sends 観察記録 処置記録 (Observation record, Treatment record) to a 活動記録表 (Activity record table) and a 医療機関 (Medical institution). The medical institution receives 心電図(静止画) バイタル情報 観察記録 処置記録 (ECG (Still Image) Vital Information, Observation record, Treatment record) and sends a 救急報告書 ウツタイン集計 (Emergency report, Utsutain collection) to the OAシステム (OA System). The OAシステム is connected to the ATASサーバ via a 閉域網 VPN (Private network VPN) and an OAシステムと連携 (OA system integration) module.

システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑧⑨電子サイン⑩⑪

再掲

「概要」

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入に役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・傷病者申し送り票の電子化
- ・救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



フェーズⅢ

- ・医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■訴求ポイント

- ①救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ②医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

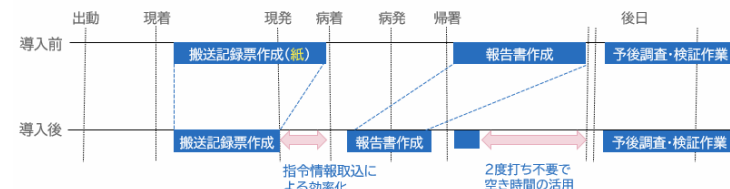
- ①指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ②指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入+入力簡素化機能+医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入+入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



MINの導入イメージ

【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

※PC・タブレット・スマートフォン

- ＜入力支援＞
- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
 - ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
- バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン	19:10(前)	19:00	19:10	19:16(最新)
JCS(EV/A)	20/11/0	20/11/0	20/11/0	20/11/0
心電図(V/A)	70/50/5			
呼吸数(回/分)	20			
脈拍(回/分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)	-	-	-	-
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

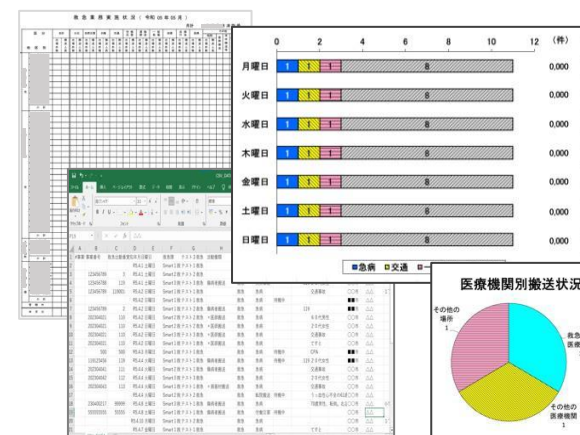
IV. 帰署～事務処理

⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置記録など
 - ・国報告CSV/統計出力可能
 - ・その他各種帳票等に反映
 - ・事後検証
- ※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



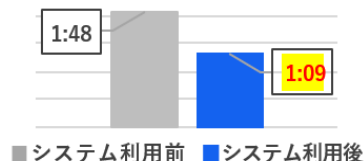
【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

- ◇千葉市消防局
- ◇千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇江別市消防本部
- ◇東広島市消防局
- ◇桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



システム名 : NSER mobile

フェーズ : II III IV / 機能 : ④⑤⑦⑧⑨電子サイン⑩⑪

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。



【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL: txp99@txpmedical.com



フェーズⅣ

⑩活動記録票への自動反映

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着 	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	IV . 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

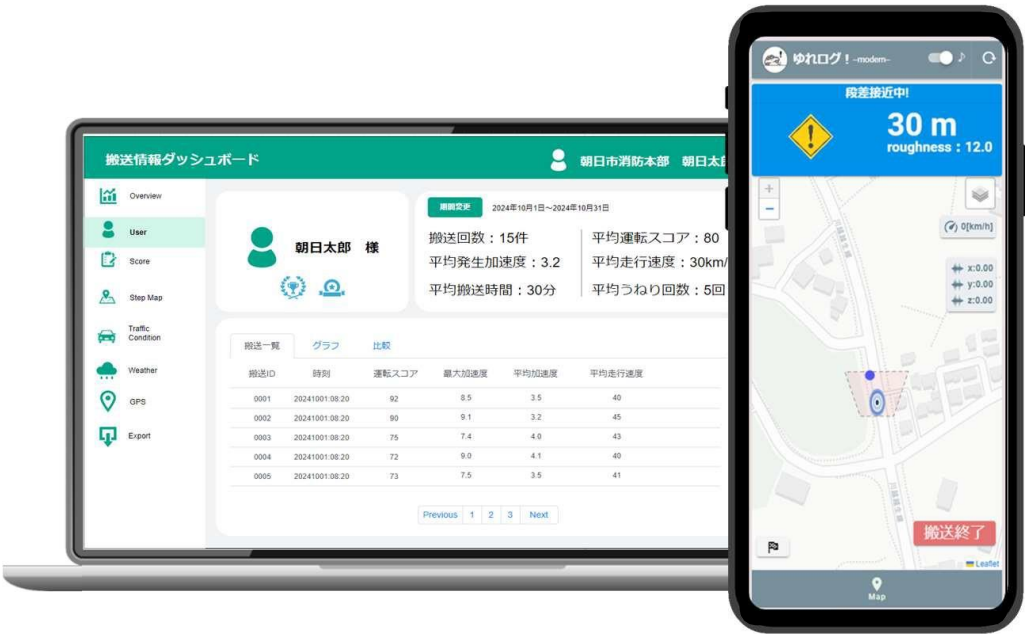
システム名：搬送中のゆれ防止アプリおよび、搬送状況の数値化・共有化システム（通称：ゆれログ）

フェーズ：Ⅳ/機能：⑩活動記録票への自動反映⑬



【システムの概要】

- ①アプリ通知により走行中のゆれを低減
- ②ダッシュボードで走行記録の確認・共有・労務管理



【訴求ポイント】

- ・搬送中に音声で段差をお知らせすることで、ゆらさない搬送をサポートします。
- ・各隊員の搬送の記録をスコア等で確認でき、安全安静な搬送の教育コンテンツとして活用できます。
- ・各隊員の記録をもとに、走行時間・走行距離・平均加速度のしきい値を設定して労務管理に活用できます。

【導入効果】



搬送中のゆれ低減



運転手の心理的
負担軽減



教育への活用
隊員スキル向上

【導入実績】

千葉県栄町消防の救急搬送で実証中

【導入費用の目安】

1 消防本部 10万円/月～（予定）

【問い合わせ先】

会社名：朝日航洋株式会社

担当部署：イノベーション推進室

☎：連絡先：049-256-7862

✉：116120@aeroasahi.co.jp

システムの詳細情報はこちら

https://yureloglab001.blob.core.windows.net/media/20241204_%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E5%85%AC%E5%8B%9F%E7%94%A8%E8%B3%87%E6%96%99_blob%E6%90%AD%E8%BC%89.pdf?sp=r&st=2024-12-04T03:59:57Z&se=2025-12-04T11:59:57Z&spr=https&sv=2022-11-02&sr=b&sig=bXa%2F4AVezS3clXxJkTDmyKE9iRX6Uhdxf6Q3rU0sa4%3D



システム名：救急情報管理システム ベストル119Light
フェーズ：Ⅳ／機能：⑩活動記録票への自動反映 ⑪⑫⑬

・システムの概要

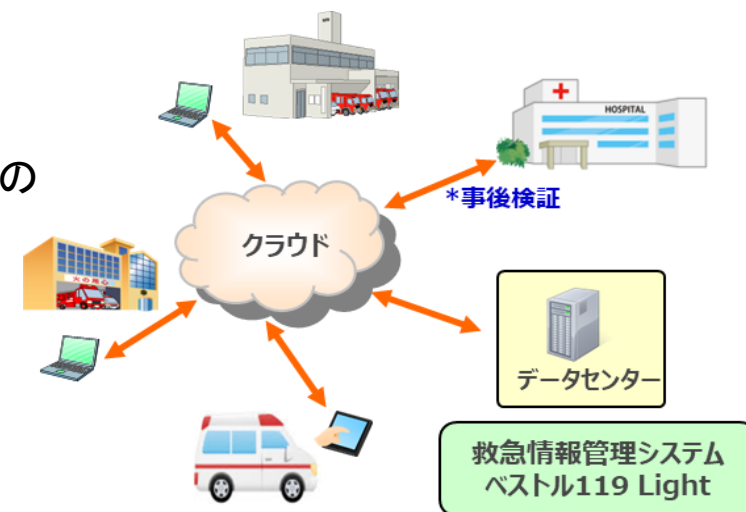
- * クラウド上のデータセンター活用によるSaaS型救急情報管理システム
- * 消防庁のSaaS型消防業務システム（[G 1 0 2]消防業務システム標準仕様書機能一覧 xlsx)に対応
- * 救急医療・災害医療・救助資器材に長年携わり消防現場の要望を取り入れ、ランニングコストを抑え、消防業務の効率化が図れるシステム
- * 通信指令システムや救急医療情報システムなどの他社システムとの連携が可能

・訴求ポイント

- * 自由項目(入力項目)追加、様式作成(報告書)、汎用統計(帳票作成、調査依頼対応)の標準機能により無償でカスタマイズが可能
- * 法改正や消防庁の調査内容の変更に対する無償アップデート対応
- * 月額単位の定額料金でサーバー更新などの追加費用不要

・導入効果

- * タブレットなどを使用して、帰署前での救急事案入力、閲覧が可能
- * SaaS型システムのため、技術者のリモートサポートでの迅速な対応が可能
- * 消防庁と同等の突合チェック機能により国報告時におけるエラーを回避し、業務効率化が図れる



<ベストルHP>: <https://wako-shoji.com/bestle119>

【問い合わせ先】 事業者名：株式会社ワコー商事 HPアドレス：<https://wako-shoji.com> 担当部署：営業本部
連絡先：〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5
TEL 0466-84-2485、 FAX 0466-84-2484、 メールアドレス info@wako-shoji.com

システム名：M-NEXT

フェーズ：Ⅳ／機能：⑩活動記録票への自動反映⑪⑫

■システム概要（システムの説明）

■M-NEXTは、救急活動フェーズⅠ・Ⅱの各種情報との連携機能により、⑩活動記録票への自動反映を実現しています。また、⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援も可能です。他に、資機材管理システムによる⑫救急車の資材在庫管理も可能です。

・訴求ポイント

■M-NEXTは、消防OA単独での導入が可能です。他システムとの分離発注により、調達事務の分散化が図れます。また、消防OAのライフサイクルによる更新計画が可能となり、最新のICT技術の検討機会が増えたり、導入コストの削減が期待できます。

・導入効果

■M-NEXTの導入で、救急オンライン報告、月報・年報統計処理、議会報告用等に係る事務処理の時短を実現します。

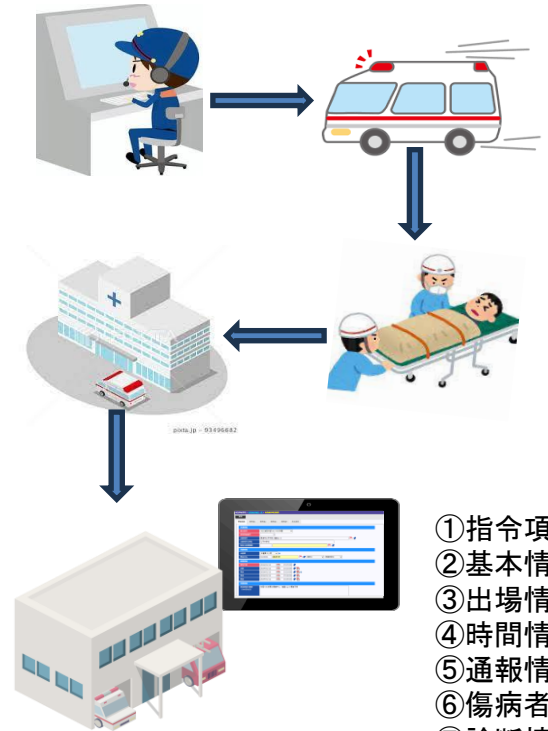
・導入実績

■全国63の政令市消防本部～離島型消防本部への導入実績があります。

・費用の目安

■別途、ご相談（選択される業務数やネットワーク構成により異なります）

■救急活動フェーズⅠ・Ⅱとの連携項目（例）



- ①指令項目
- ②基本情報
- ③出場情報
- ④時間情報
- ⑤通報情報
- ⑥傷病者情報
- ⑦診断情報
- ⑧医療機関情報

【問い合わせ先】 株式会社M J C <https://www.mjcnet.co.jp/>
事業本部営業部 連絡先（0985-25-8228/market-ing@mjcnet.co.jp）

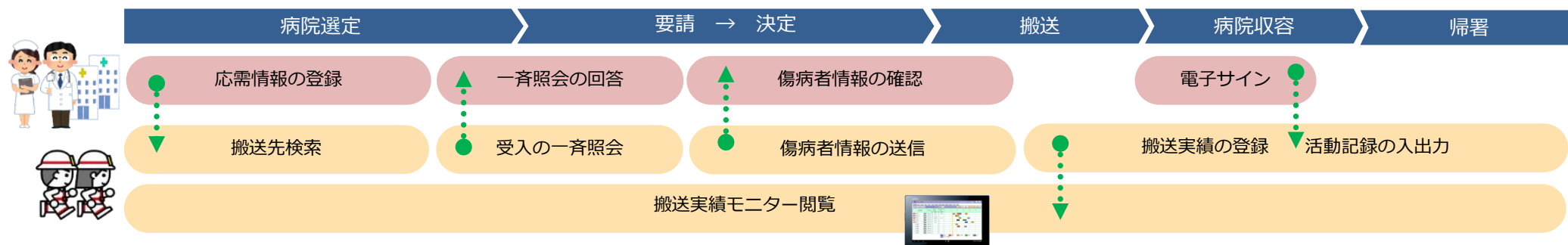
システム名：医療施設情報システム Mefis

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑦⑧⑨⑩活動記録票への自動反映

再掲

システムの概要

救急搬送時の医療機関の情報と傷病者情報のやり取りや、医療機関の空き状況、救急隊の各種帳票への出力機能を有している、地域救急の見える化を行うシステムです。救急搬送時の搬送時間の短縮と救急隊の活動における書類作業の軽減に寄与する機能群を実装しています。救急隊はタブレット等のモバイル端末を用いて医療機関への受入要請・傷病者情報のやり取りを行い、活動時の記録を帳票出力できます。



訴求ポイント

導入する地域の課題や各種の様式種別に対応しており、地域によって異なるニーズに対応します。搬送時間が長くなる事案ではリアルタイムの情報共有を充実させる、地域災害の多い地域では個別の一斉照会の運用支援を行うなどの運用全体のサポートにより成果を上げてきました。

導入効果

これまで導入頂いた自治体では下記の効果があったとの反響をいただいています。

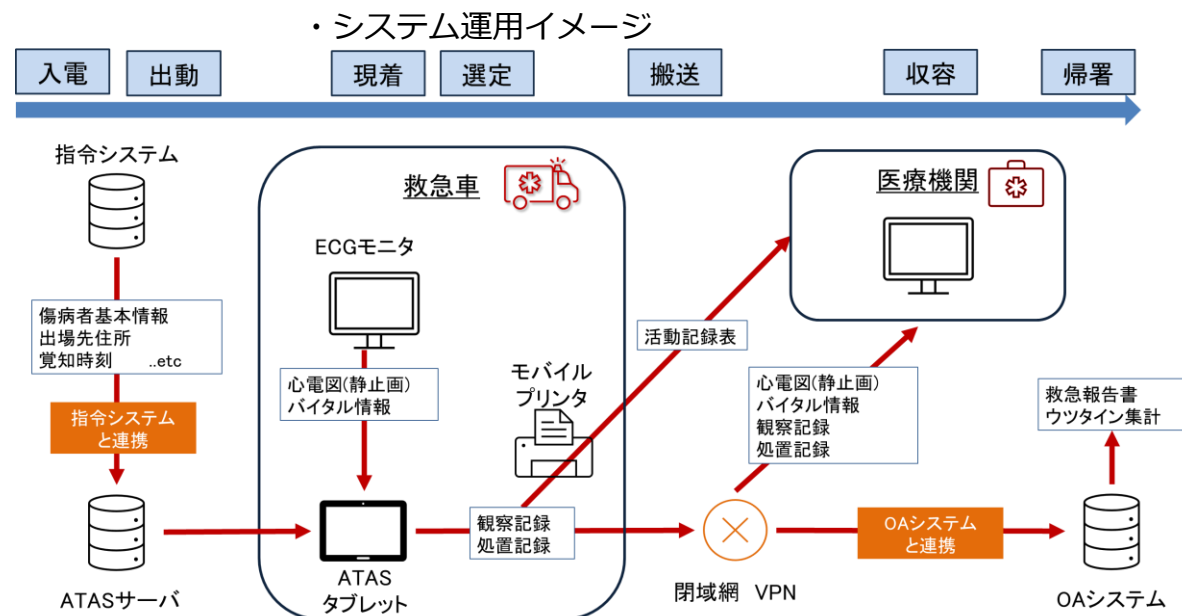
- ・搬送時間の短縮
- ・交渉回数4回以上の事案が半減
- ・三次救急に集中していた搬送の平準化
- ・応需入力率の向上

導入実績・費用の目安

14都道府県、8自治体/費用目安は利用数及びカスタマイズ箇所により変動のためお問合せ下さい。

問い合わせ先：国際航業株式会社 info-mefis@kk-grp.jp
製品サイト：<https://www.kkc.co.jp/service/item/2814/>

- ※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。



システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑧⑨⑩活動記録票への自動反映⑪

再掲

＜概要＞

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入れに役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・傷病者申し送り票の電子化
- ・救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



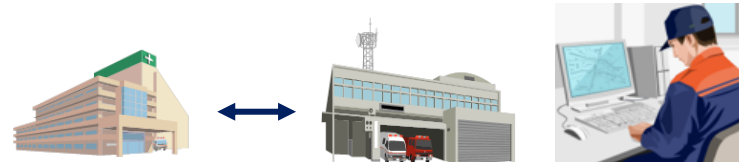
フェーズⅢ

- ・医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■訴求ポイント

- ①救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ②医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

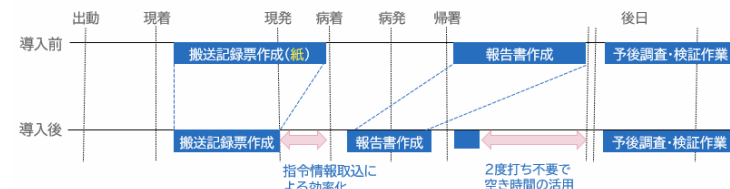
- ①指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ②指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入+入力簡素化機能+医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入+入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



MINの導入イメージ

【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube

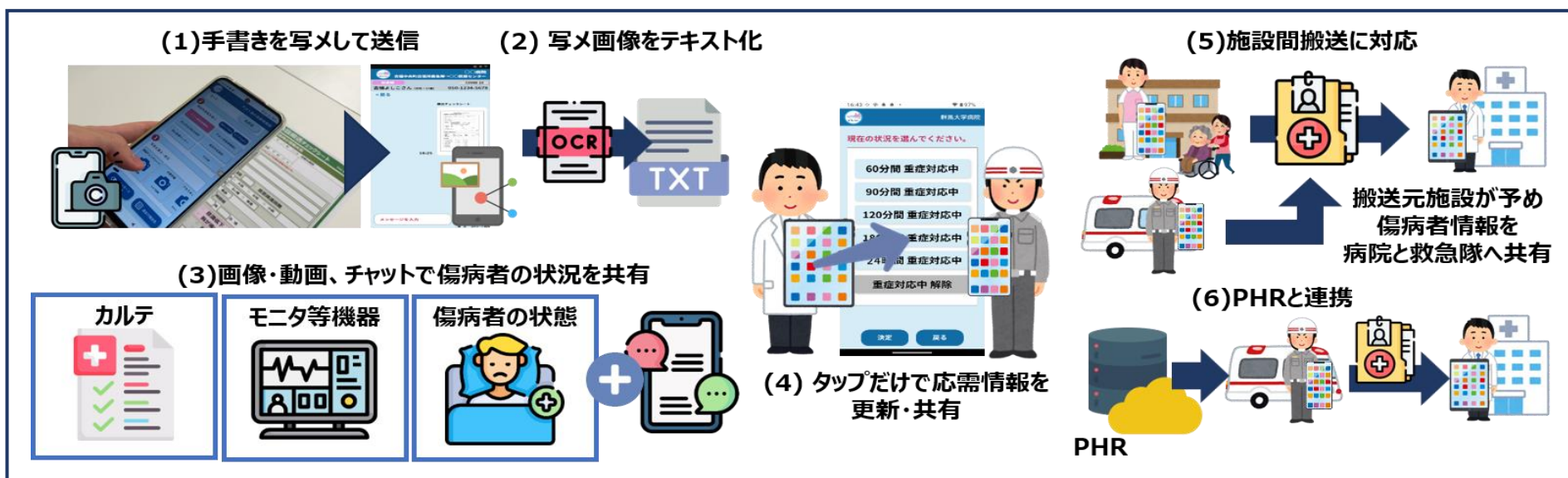


システム
概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始を実現している。加えて、iPicssは、(3)写メを基本とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも全世代が迷わず使える仕様となっている

訴求
ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の紙のシステムにそのまま導入でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。
各所への情報共有により様々な時短が可能！(1)手書きの用紙を写メして送るだけ (2)写メ画像をOCRによりテキスト化してデータベース利用が可能。
(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。(4)現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」をタイムリーに関係者間で共有。
(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。(6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携した実績あり。



導入
効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：**20分50秒 → 13分30秒**。
消防指令における**119番電話対応時間が約20秒短縮**。高齢者施設でのシミュレーションで、**施設者の対応時間が2分36秒短縮**。

導入
実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

問合せ

そなえ株式会社

050-3159-5859 / info@sonae.ltd

<https://sonae.ltd>

バース・ビュー株式会社

03-6801-5620 / sales.birdsview.jp

<https://www.birdsview.jp>

● システムの概要

CodeMateは、携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」と連携し、救命士が搬送先の病院および所属の消防署へ提出する各種救急レポートの作成を支援するアプリケーションです。タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にインストールしたアプリ上で、除細動器で取得した心電図等のデータをタイムリーに参照・反映、傷病者情報をタップやプルダウンで入力できるため、救急車内や病院の待機中などに輸送証・報告書などのレポート作成を効率的かつ正確に行えます。他社の除細動器や車載モニタであっても、アプリ上でレポートを作成する基本機能はご使用いただけます（一部機能制限あり）。

● 訴求ポイント

車載モニタの機能を兼ねる除細動器から救急活動に関するデータをアプリに取込み、傷病者搬送書類に反映・書類を作成、電子コピーやハードコピー（車載にモバイルプリンタが必要）で搬送先へ提出することが可能となります。また、入力したデータは帰署後に消防本部で必要となる活動記録の内容に取込むことができ、病院収容後からモバイル端末にて報告書の作成が可能、業務負担の軽減と活動の効率化に貢献します。また、除細動器で取得した活動データをもとに活動のデブリーフィング資料として活用いただけます。

● 導入効果

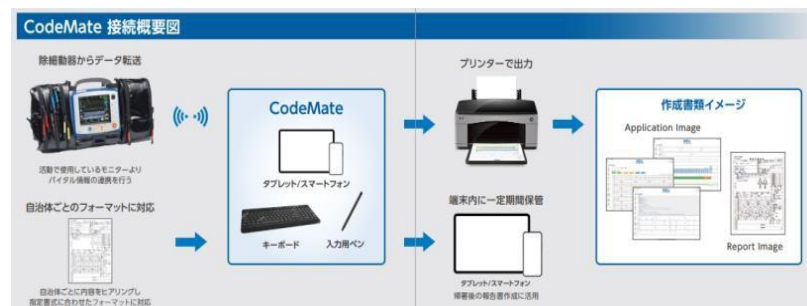
実証を行った施設では帰署後の報告書作成の平均時間が20分短縮された。また、搬送先へ提出する傷病者搬送書類も手書きによる読み難さが軽減され、病院側の患者記録の取得精度もより高まった。

● 導入実績

実証を依頼した3消防本部にて稼働中、令和7年以降の予算請求をおこなっている消防本部が複数あり。

● 費用の目安

初期費用として本部でのライセンス及び設定費用として¥1,000,000と、別途除細動器1台につき¥1,000,000を頂戴しております。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部（03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry>）

システムの概要

救急事案発生から、現地での傷病者情報・状況の記録と判定を行い、搬送先選定から搬送先医療機関への収容、その後の報告業務・記録票作成、事後検証までをデータで繋ぐシステムです。傷病者情報を医療機関マイページで連携照会が、搬送先選定時に他隊の搬送状況が確認できる完全Webシステムです。

システム訴求ポイント

事案発生から、事案終了までのデータを一元的に管理を行うため、無駄の無い情報管理ができます。以下の5つのポイントで救急活動を支援します。

①特別なソフトは必要ありません②登録が簡単なタッチ入力③自動重症度判定④搬送先選定時の情報連携⑤他システム連動カスタマイズ可能

導入効果

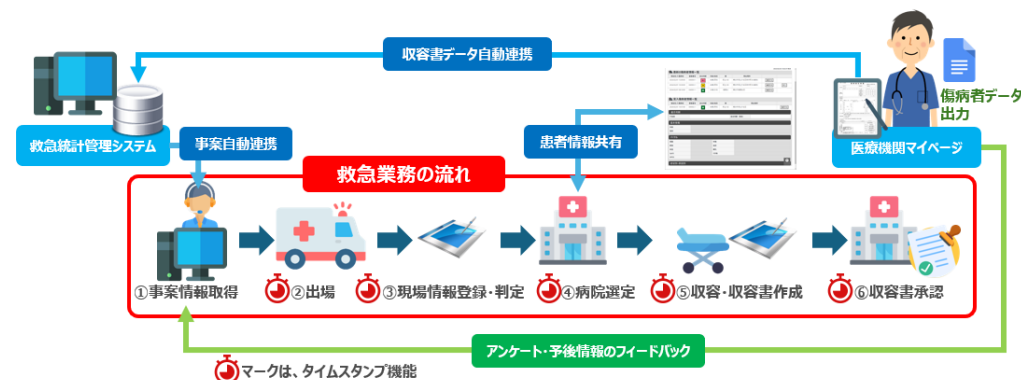
搬送先選定時に他隊の状況が確認ができ、1回目の医療機関への受け入れ交渉連絡において、受け入れ可能の回答が70%であったものが、導入後には80%に向上しました。隊員の現場滞在時間を少なくする事が可能です。

導入実績

横浜市消防局

費用の目安

導入費用119万円から（各オプション価格あり）保守・運用費用20万/月から



システム名 : Smart119

フェーズ : II III IV

機能 : ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪活動記録票への自動反映⑪

再掲

【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

<入力支援>

- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
- ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



Bluetooth



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可



バイタルサイン	19:14(搬送)	19:00	19:10	19:14(搬送)
JCS(P/A)	21/110		21/110	21/110
GCSEVM	10/20%			
呼吸数(回/分)	20			
脈拍数(回/分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)				
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5

バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

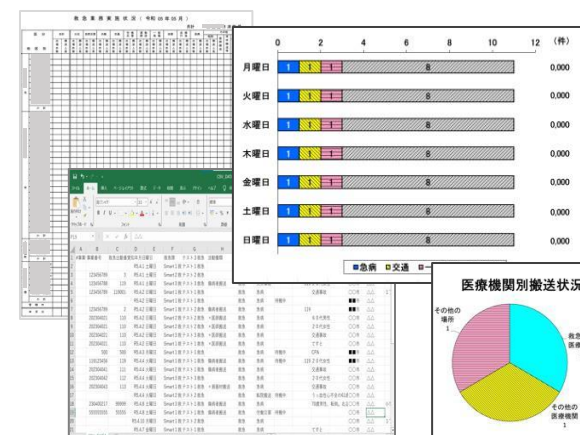
IV. 帰署～事務処理

⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置録など
 - ・国報告CSV/統計出力可能
 - ・その他各種帳票等に反映
 - ・事後検証
- ※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



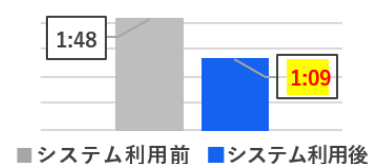
【訴求ポイント】 赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

- ◇千葉市消防局
- ◇千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇江別市消防本部
- ◇東広島市消防局
- ◇桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能

SMART119 inc.

<https://smart119.biz/>

事業開発部

info@smart119.biz

連絡先 : 043-312-7471



システム名：NSER mobile

フェーズ：ⅡⅢⅣ/機能：④⑤⑦⑧⑨⑩活動記録票への自動反映⑪

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化：救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮：病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化：傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進：救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間：最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価：利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療：Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間：75%削減
- ・情報連携の質向上：体感90%以上
- ・医師の働き方改革：システム利用によるタスクシェア

【導入実績（一部）】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体（※本導入・実証を含む）

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。

なぜ

NSER mobile は、
救急隊の負担を軽減し、
救急医療の質を高めるのか？

救急隊・救急救命士のための情報メディア

EMS Collection

<https://ems-collection.jp/>

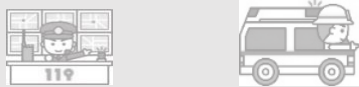
【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL: txp99@txpmedical.com



フェーズⅣ

⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン	

システム名：事後検証システム

フェーズ：Ⅳ / 機能：⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

・システム概要

事後検証対象事案の救急隊活動記録および医療処置・予後情報をデータベースに登録をして、救急業務の評価・検証できる資料を出力するWebシステムです。

・訴求ポイント

- ①MC協議会で事後検証対象事案の評価・検証ができます。
- ②Webシステムのため導入が早く容易です。
- ③自治体ごとに入力情報や出力情報を変更できます。(別途改修)

・導入効果

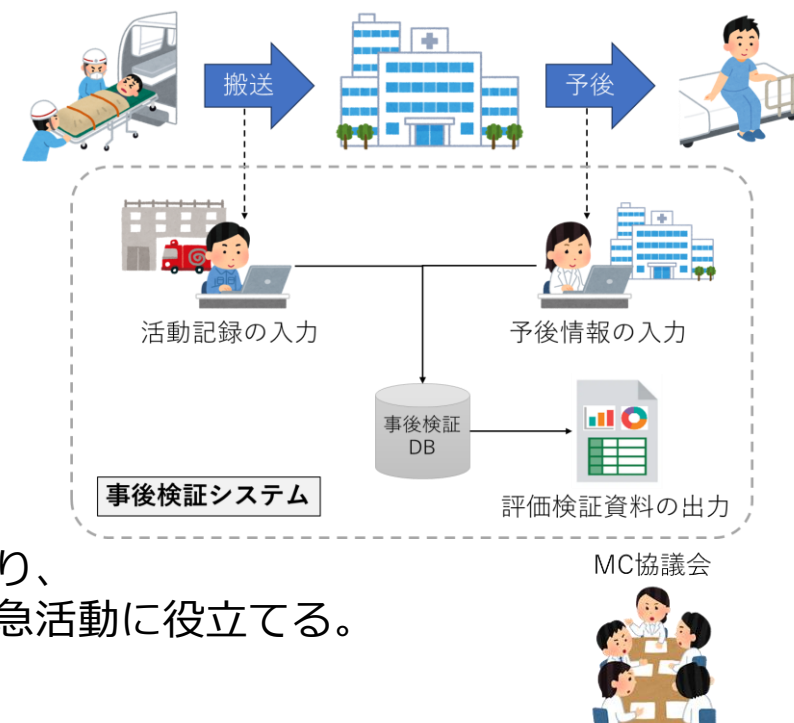
救急隊活動及び医学的判断・処置について評価・検証することにより、救急救命士を含む救急隊員の活動に対する質を向上させ、今後の救急活動に役立てる。

・導入実績

2013年に岐阜県で導入し、運用中です。

・費用の目安

導入費用200万～、改修費用別途、保守費用6万～/月



【問い合わせ先】

株式会社パケモ <https://pakemo.jp/>
連絡先：052-325-6789 メール：info@pakemo.jp

システム名：AEDリモート監視システム ARM-1000 救助データダウンロードサービス
フェーズ：Ⅳ／機能：⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

・ **システムの概要（システムの説明）**

AEDに標準装備されているAEDリモート監視システム※1（以下、AED Linkage）の拡張機能としてAEDに保存されている救助データ（心電図データ）をWeb上でダウンロードできるサービスです。

※1：下記Webサイトで、AED Linkageの概要をアニメーションでご覧になれます。

<https://www.aed-life.com/products/feature/aedlinkage/>

・ **訴求ポイント**

- ①救助データ取得のためにAED本体とPCを通信させる作業や、電子メールによる救助データの送受信作業等が発生しません。
- ②AED-3100/3200シリーズが使用されると、AED LinkageのWeb画面に救助データが自動でアップロード（最長3日）されます。
- ③分署設置分AEDの救助データも、本部にてAED LinkageのWeb画面からダウンロード（保管期間30日）することができます。
- ④緊急取得の場合は、AED本体とリモート監視端末の通信作業をすることにより、取得できるようになります。

・ **導入効果**

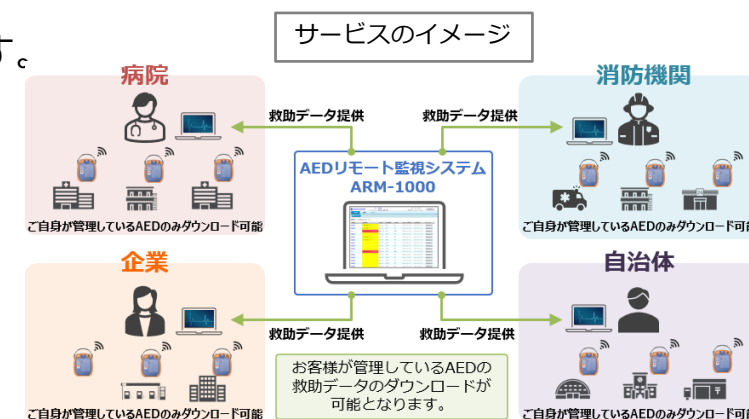
- ①消防本部、分署でのAED使用後の救助データ取得業務の効率化・円滑化が見込めます。
- ②救助データを取得しやすくなると、消防本部・メディカルコントロール協議会での事後検証が進むことで、地域医療の質の向上が見込めます。

・ **導入実績**

約16.6万台（通信できているAED）

・ **費用の目安**

AED本体に標準装備



【問い合わせ先】 事業者名：日本光電工業株式会社、HPアドレス：<https://www.nihonkohden.co.jp/>
担当部署：国内事業本部 中央営業部、連絡先：電話：03-5996-8647 メールアドレス：SalesOperations-chuo@db.nkc.co.jp

システム名：救急医療情報システム

フェーズ：ⅡⅣ／機能：④⑦⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

再掲

・システムの概要（システムの説明）

救急医療情報システムは、救急隊と医療機関が救急業務に係る情報を入力・閲覧し、情報連携を強化することで、搬送時間の短縮および業務効率化を目的とした情報連携プラットフォームです。

・訴求ポイント

救急医療情報システムに救急隊は搬送実績情報を、医療機関は応需情報を入力、救急システムを通して情報共有できます。

また、オプションとして、救急隊が救急現場で記載する傷病者観察メモや、メディカルコントロール内で救急業務の分析を行う事後検証業務のシステム化も可能です。

これらにより、救急業務の各フェーズで発生する情報を救急医療情報システム上に集約することができ、関係者間の情報連携、情報管理の一元化、情報の利活用を推進します。

・導入効果

- 応需情報、搬送実績情報に加え、傷病者観察メモ、現場画像や心電図、事後検証をオンライン上に反映し、関係者間の早期情報連携が可能
- 傷病者観察メモや事後検証のペーパーレス化による情報管理の一元化が可能
- 入力した各種情報のうち、共通項目は救急医療情報システムの各機能の間で自動連携するため、二重入力項目の削減が可能
- 入力した各種情報は統計活用が可能

・導入実績

17都道府県に提供しています。（2024年11月時点）

・その他

詳細資料については、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

株式会社NTTデータ <https://www.nttdata.com/jp>

第四公共事業本部 ヘルスケア事業部 企画統括部 ヘルスケアソリューション担当

メールアドレス noriaki.takahashi@nttdata.com

システム名：救急情報管理システム ベストル119Light

フェーズ：Ⅳ／機能：⑩⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援⑫⑬

再掲

・システムの概要

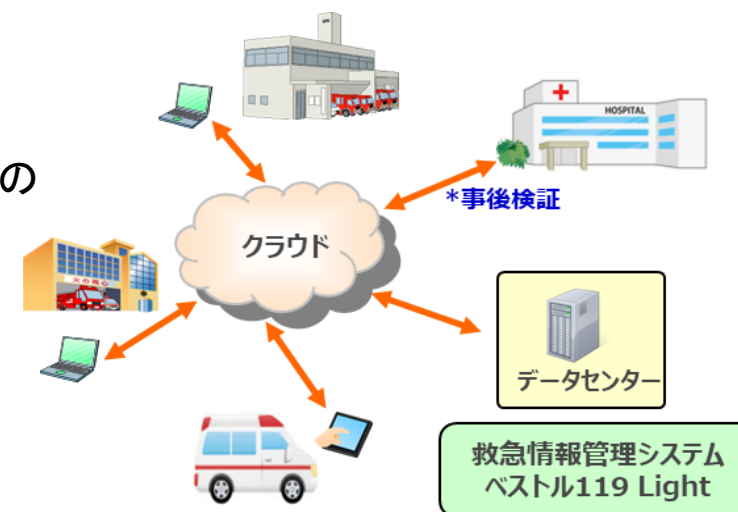
- * クラウド上のデータセンター活用によるSaaS型救急情報管理システム
- * 消防庁のSaaS型消防業務システム（[G 1 0 2]消防業務システム標準仕様書機能一覧 xlsx)に対応
- * 救急医療・災害医療・救助資器材に長年携わり消防現場の要望を取り入れ、ランニングコストを抑え、消防業務の効率化が図れるシステム
- * 通信指令システムや救急医療情報システムなどの他社システムとの連携が可能

・訴求ポイント

- * 自由項目(入力項目)追加、様式作成(報告書)、汎用統計(帳票作成、調査依頼対応)の標準機能により無償でカスタマイズが可能
- * 法改正や消防庁の調査内容の変更に対する無償アップデート対応
- * 月額単位の定額料金でサーバー更新などの追加費用不要

・導入効果

- * タブレットなどを使用して、帰署前での救急事案入力、閲覧が可能
- * SaaS型システムのため、技術者のリモートサポートでの迅速な対応が可能
- * 消防庁と同等の突合チェック機能により国報告時におけるエラーを回避し、業務効率化が図れる



<ベストルHP>: <https://wako-shoji.com/bestle119>

【問い合わせ先】

事業者名：株式会社ワコー商事 HPアドレス：<https://wako-shoji.com> 担当部署：営業本部

連絡先：〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5

TEL 0466-84-2485、 FAX 0466-84-2484、 メールアドレス info@wako-shoji.com

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑦⑧⑨⑩⑪活動記録票や予後入力等における事後検証支援⑫

再掲

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。

入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。

また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。

医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。

また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。

その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

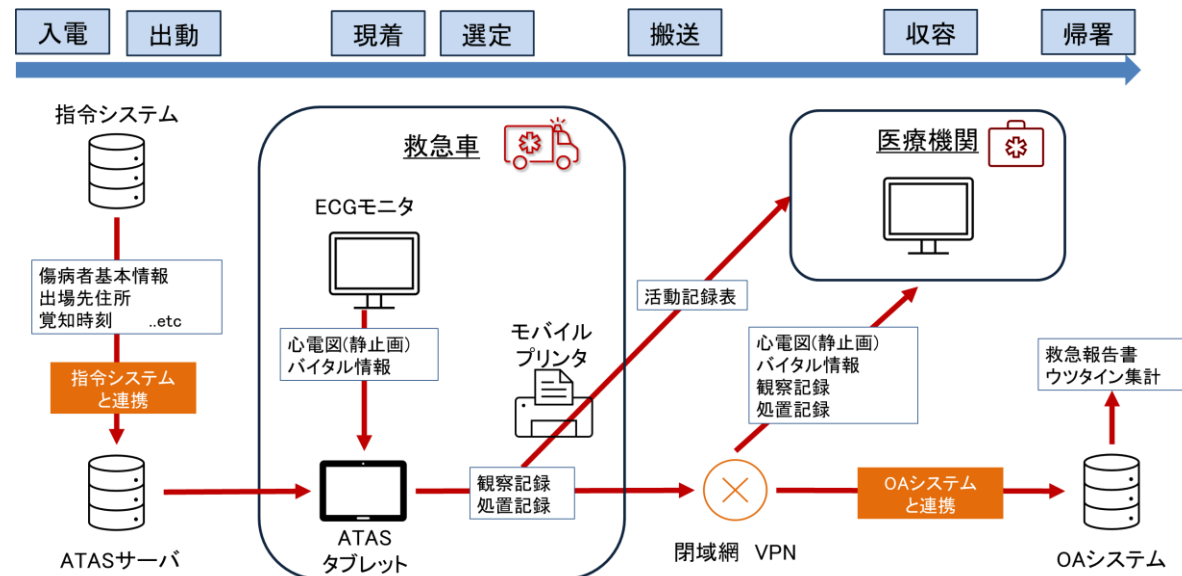
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ



【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL : support-qq@ais-idc.jp

システム名：救急搬送支援システム（救急DX）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑧⑨⑩⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

再掲

「概要」

救急隊の出動から帰署後のあらゆる活動フェーズをシステムで強固に支援します。

記録する傷病者情報や静止画/動画・バイタルなどの記録内容は医療機関とリアルタイムに共有でき、搬送者受入に役立てられます。

私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を消防救急医療関係の皆様と創ってまいります。

フェーズⅡ

- ・ 傷病者申し送り票の電子化
- ・ 救急報告(救急OA)の出先での入力
- ・ 入力簡素化(指令連携、OCR/画像解析、音声認識)



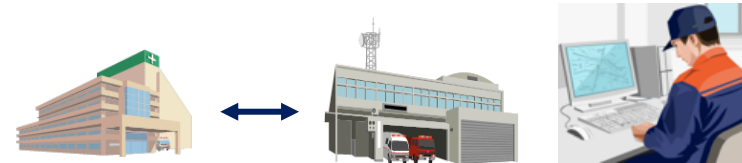
フェーズⅢ

- ・ 医療機関との傷病者情報共有
(静止画、映像、電カルへの情報共有)
- ・ 傷病名、医師署名等の電子化



フェーズⅣ

- ・ 登録内容の救急報告(消防OA)へのシームレスな反映
- ・ 予後調査(ウツタイン様式)及び事後検証情報の入力支援
(医療機関⇔消防間)



and more...

■ 訴求ポイント

- ① 救急隊の大幅な業務負荷軽減
- ② 医療機関側との傷病者情報の必要情報を網羅
- ③ シームレスな指令システム/消防OAシステムへの情報連携
- ④ 機密性の高い情報に対する高セキュア回線/対策の実施

■ 導入効果

30%減*

本システム/サービス導入によりトータル
約30%の業務負荷軽減を目指せます
(*当社調べ、各本部の運営状況によって変動)

2つのゼロ*

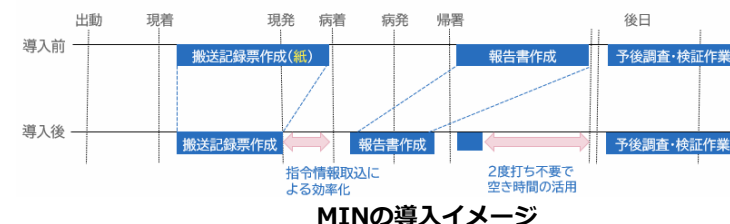
- ① 指令システムや消防OAシステムとの連携に対して中間サーバ等の機器の配備が不要です。(連携のための機器ゼロ)
- ② 指令連携は1動作のみ、消防OA連携は自動反映(操作ゼロ)

■ 導入事例（柔軟なシステム導入が可能です、導入後アドオンも対応できます）

MAX：救急タブレット導入＋入力簡素化機能＋医療機関共有サービス実装

MID：救急タブレット導入＋入力簡素化機能 or 医療機関共有サービス実装

MIN：救急タブレットのみ(傷病者申し送り票電子化、救急報告持ち出し)



【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



システムの概要

装着者の視点で撮影できるスマートグラスを使用し、搬送中の処置の様子を受け入れ先病院に共有します。加えて、車内に固定のモニタリング用カメラを設置することで、バイタルデータも同時に確認できます。

スマートグラスで隊員の視線映像を撮影、リアルタイムで搬送先病院に中継



現場-救急-専門医など複数でのやり取りも可能



訴求ポイント

1. スマートグラスでは隊員が映像をハンズフリーで送信でき、受入れ病院側では隊員の目線をそのまま確認できる
2. A病院とB病院、救急医と専門医など、複数拠点/人での会話が可能となり、臨機応変な相談や受入れ準備ができる
3. 受入れ病院側からカメラを遠隔操作し、確認したい箇所を見られる
4. 車載モニター画面の映像を共有することで、病院側がリアルタイムにバイタルデータを確認できる
5. 音声や映像・共有画面を自動で録画保存することで、医療機関側での閲覧や事後検証に活用できる

導入効果

搬送中、支援システムに接続しておくことで、受入れ病院側がリアルタイムで患者の状態を確認し、適切な処置を指示できるようになりました。また搬送の途中経過を把握できるため、到着から処置開始までの時間を短縮できます。

導入事例

医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック病院様
他システムと比較して、4G回線において映像や音声 が乱れなかったことがLiveOnWearable採用のポイントとなりました。
導入事例：<https://web.liveon.ne.jp/case/scvc/> ※手術配信における近似事例のインタビューになります。

導入費用

初期費用150万円～

【問い合わせ先】

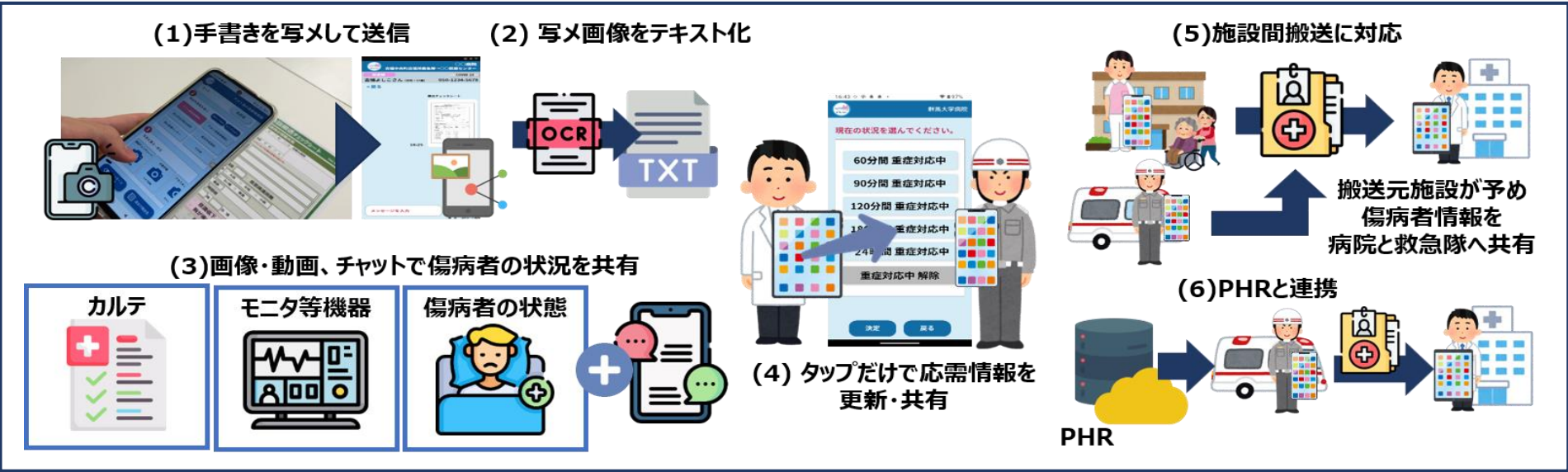
ジャパンメディアシステム株式会社 マーケティング担当

電話：03-5297-5511 メール：mkt@jm-s.co.jp <https://web.liveon.ne.jp/product/liveon-wearable/>

- システム概要

iPicssによるスムーズな情報共有で、(1)救急車内の傷病者の安全担保、(2)搬送先病院での適切な診療の早期開始を実現している。加えて、iPicssは、(3) 写メを基本とした誰でも使えるメッセージアプリ型システムであり、いきなりの本番環境でも全世代が迷わず使える仕様となっている
- 訴求ポイント

アナログ+デジタルの「いいとこ取り」した簡便システム：現行の紙のシステムにそのまま導入でき、ITの新規導入時のわずらわしさが無い。
各所への情報共有により様々な時短が可能！(1)手書きの用紙を写メして送るだけ (2)写メ画像をOCRによりテキスト化してデータベース利用が可能。
(3)画像・動画、チャットで傷病者の状況を共有。(4) 現場の医療者がタップして応需情報を更新し「受入可否」をタイムリーに関係者間で共有。
(5)産婦人科／高齢者施設からの施設間搬送に対応。 (6)地域のPHRデータベースから傷病者の情報を連携した実績あり。



- 導入効果

iPicss利用で妊産婦搬送の到着後、輸血開始時間や、児の緊急娩出までの所要時間を大幅に短縮：20分50秒 → 13分30秒。
消防指令における119番電話対応時間が約20秒短縮。高齢者施設でのシミュレーションで、施設者の対応時間が2分36秒短縮。
- 導入実績

妊産婦の緊急搬送：岡山県全域、広島県備後地区、群馬県(2024年から3年かけて全域に導入)
高齢者施設からの搬送・すべての119番入電による搬送：岡山県吉備中央町

● システムの概要

CodeMateは、携帯型モニタリング機能付き除細動器「X Series™」と連携し、救命士が搬送先の病院および所属の消防署へ提出する各種救急レポートの作成を支援するアプリケーションです。タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にインストールしたアプリ上で、除細動器で取得した心電図等のデータをタイムリーに参照・反映、傷病者情報をタップやプルダウンで入力できるため、救急車内や病院の待機中などに輸送証・報告書などのレポート作成を効率的かつ正確に行えます。他社の除細動器や車載モニタであっても、アプリ上でレポートを作成する基本機能はご使用いただけます（一部機能制限あり）。

● 訴求ポイント

車載モニタの機能を兼ねる除細動器から救急活動に関するデータをアプリに取込み、傷病者搬送書類に反映・書類を作成、電子コピーやハードコピー（車載にモバイルプリンタが必要）で搬送先へ提出することが可能となります。また、入力したデータは帰署後に消防本部で必要となる活動記録の内容に取込むことができ、病院収容後からモバイル端末にて報告書の作成が可能、業務負担の軽減と活動の効率化に貢献します。また、除細動器で取得した活動データをもとに活動のデブリーフィング資料として活用いただけます。

● 導入効果

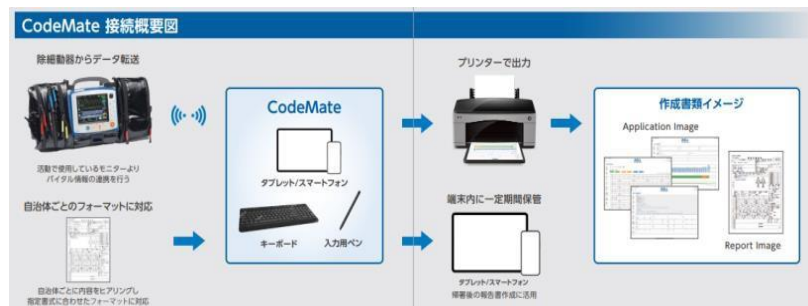
実証を行った施設では帰署後の報告書作成の平均時間が20分短縮された。また、搬送先へ提出する傷病者搬送書類も手書きによる読み難さが軽減され、病院側の患者記録の取得精度もより高まった。

● 導入実績

実証を依頼した3消防本部にて稼働中、令和7年以降の予算請求をおこなっている消防本部が複数あり。

● 費用の目安

初期費用として本部でのライセンス及び設定費用として¥1,000,000と、別途除細動器1台につき¥1,000,000を頂戴しております。



製品の紹介HP



製品のパンフレット

【問い合わせ先】

旭化成ゾールメディカル株式会社

救命医療機器事業本部 （03-6205-4920 / <https://www.ak-zoll.com/resus/inquiry> ）

システム名：FT-WEBシステム

フェーズ：ⅡⅣ／機能：⑥⑦⑩⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

再掲

システムの概要

救急事案発生から、現地での傷病者情報・状況の記録と判定を行い、搬送先選定から搬送先医療機関への収容、その後の報告業務・記録票作成、事後検証までをデータで繋ぐシステムです。傷病者情報を医療機関マイページで連携照会が、搬送先選定時に他隊の搬送状況が確認できる完全Webシステムです。

システム訴求ポイント

事案発生から、事案終了までのデータを一元的に管理を行うため、無駄の無い情報管理ができます。以下の5つのポイントで救急活動を支援します。

①特別なソフトは必要ありません②登録が簡単なタッチ入力③自動重症度判定④搬送先選定時の情報連携⑤他システム連動カスマイズ可能

導入効果

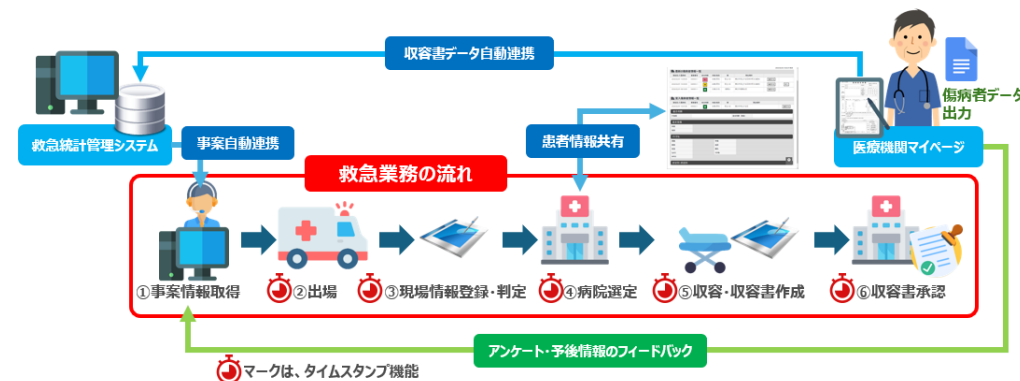
搬送先選定時に他隊の状況が確認ができ、1回目の医療機関への受け入れ交渉連絡において、受け入れ可能の回答が70%であったものが、導入後には80%に向上しました。隊員の現場滞在時間を少なくする事が可能です。

導入実績

横浜市消防局

費用の目安

導入費用119万円から（各オプション価格あり）保守・運用費用20万/月から



【問い合わせ先】

Fukula株式会社 <https://fukula.jp/> 電話：045-330-9191 メール：info@fukula.jp

システム名：M-NEXT

フェーズ：Ⅳ／機能：⑩⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援⑫

再掲

■システム概要（システムの説明）

■M-NEXTは、救急活動フェーズⅠ・Ⅱの各種情報との連携機能により、⑩活動記録票への自動反映を実現しています。また、⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援も可能です。他に、資機材管理システムによる⑫救急車の資材在庫管理も可能です。

・訴求ポイント

■M-NEXTは、消防OA単独での導入が可能です。他システムとの分離発注により、調達事務の分散化が図れます。また、消防OAのライフサイクルによる更新計画が可能となり、最新のICT技術の検討機会が増えたり、導入コストの削減が期待できます。

・導入効果

■M-NEXTの導入で、救急オンライン報告、月報・年報統計処理、議会報告用等に係る事務処理の時短を実現します。

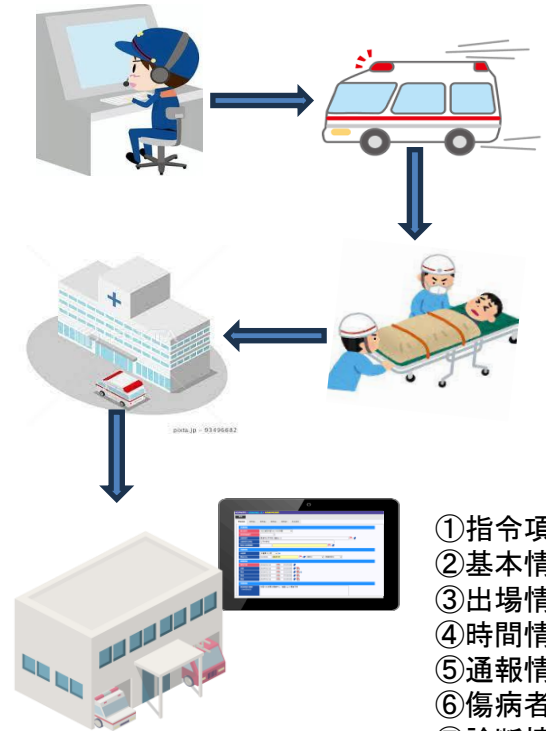
・導入実績

■全国63の政令市消防本部～離島型消防本部への導入実績があります。

・費用の目安

■別途、ご相談（選択される業務数やネットワーク構成により異なります）

■救急活動フェーズⅠ・Ⅱとの連携項目（例）



- ① 指令項目
- ② 基本情報
- ③ 出場情報
- ④ 時間情報
- ⑤ 通報情報
- ⑥ 傷病者情報
- ⑦ 診断情報
- ⑧ 医療機関情報

【問い合わせ先】 株式会社M J C <https://www.mjcnet.co.jp/>
事業本部営業部 連絡先（0985-25-8228/market-ing@mjcnet.co.jp）

システム名 : NSER mobile

フェーズ : II III IV / 機能 : ④⑤⑦⑧⑨⑩⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援

再掲

【システム概要】

NSER mobileは救急隊と病院をデジタルでつなぐ SaaS型のクラウド救急医療情報システム です。



AI OCRや生成AI音声入力を用いた入力支援機能



受入要請情報をデータ共有QRを用いて電子カルテへ転記



LINEWORKS等と連携し院内の情報伝達も効率化



医療機関の受入可能状況や交渉・応需状況を可視化



帳票へのサインもシステム化活動記録票へ自動反映



OAシステムと連携可能報告書作成業務を効率化



予後調査・事後検証のデジタル化、ペーパーレス化

【訴求ポイント】

- 1,業務効率化 : 救急隊と医療機関内の情報のバケツリレーを削減し、リアルタイム共有を実現。これにより、救急隊と医療機関双方の業務負担を軽減し、迅速かつ効率的な対応が可能になります。
- 2,搬送時間の短縮 : 病院要請時の情報伝達を一元化し、特に複数病院との交渉における負担を軽減。迅速な意思決定をサポートし、搬送時間を短縮します。
- 3,マッチング最適化 : 傷病者の重症度に応じた適切な医療機関への搬送をサポート。救命率向上と医療リソースの有効活用を両立します。
- 4,EBPMの推進 : 救急搬送に関わるデータを一元化・構造化することで、エビデンスに基づく政策立案や業務改善を可能にします。

■機能面の特徴

- ・自社製AI OCRを用いて各種証明書、AVMモニター、バイタルモニター、お薬手帳を高精度に読み取り、入力作業を削減します。
- ・生成AIを用いたLLM機能により、音声情報を解析し、必要データを構造化して自動入力。現場の負担を軽減します。

【導入効果】

- ・救急隊通話時間 : 最大1分1秒短縮
- ・医療機関評価 : 利用率・高評価90%以上
- ・迅速な治療 : Door to Balloonタイム短縮
- ・OA入力作業時間 : 75%削減
- ・情報連携の質向上 : 体感90%以上
- ・医師の働き方改革 : システム利用によるタスクシェア

【導入実績 (一部)】

神奈川県藤沢市・秦野市・鎌倉市/北海道札幌市・恵庭市/山形県山形市/新潟県新潟市/福岡県北九州市/沖縄県那覇市
計40以上の自治体 (※本導入・実証を含む)

【費用の目安】

ご利用の機能、条件等により異なります。弊社担当者までお問い合わせください。



【問い合わせ先】 TXP Medical株式会社 自治体事業部

URL : <https://txpmedical.jp/> TEL : 03-5615-8433 MAIL:txp99@txpmedical.com



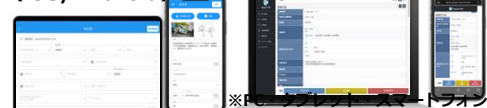
【システムの概要】 救急活動中に端末に情報を入力し医療機関と情報共有。一度入力した情報を引継書や報告書等に反映させ救急業務の効率化を図るシステム

I. 119入電～出動～現場到着

- ・指令台システムとの連携可
→事案情報/AVMをSmart119に送信
- ・複数傷病者事案にも対応
→最大4人まで傷病者情報の入力が可能

システム使用方法

救急隊 : アプリ (iOS/Android) 医療機関 : WEBブラウザ



※1隊で複数台を同時使用可能

<入力支援>

- ・フリック/キーボード/スクリブル/音声
- ・各消防本部に合わせた画面設計

II. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定

④⑤⑥⑦

- ・医療機関へリアルタイム情報共有
→入力情報・画像・映像など
- ・身分証/バイタルモニターのOCR
→テキストを読み取り自動入力
- ・心電図モニター自動連携・伝送 (12誘導)
→バイタル/心電図の自動保存・自動記録
- ・入力内容による傷病判定補助
- ・医療機関へオンライン収容依頼/応需情報



病院交渉時間短縮効果

自動連携で入力不要！
30秒に1度自動的に
バイタル値を取得・保存
(12誘導心電図/スナップショット)



Bluetooth



III. 現場出発～病院収容 (医師引継)

⑧⑨⑩⑪

- ・傷病者引継書作成/データ化
→入力内容の自動反映
- ・医師署名の電子化
→任意のタイミングでサイン可
- ・各種署名の電子化
→不搬送/死亡時の引受機関署名
- ・予後調査



病院滞在時間短縮効果



各種署名 : 救急隊の端末から可
医師署名 : 医療機関WEBから
任意のタイミングで可

バイタルサイン	19:10(乗車)	19:10	19:10	19:10(降車)
JCS(P/A)	21/110	21/110	21/110	21/110
GCSEVM	100/95			
呼吸数(回/分)	20			
脈拍数(回/分)	61			
血圧(mmHg)	117/68			
SpO2(%)	98			
酸素飽和量(L)				
体温(℃)	36.5	36.5	36.5	36.5



バイタルサインの変化など
追加情報をリアルタイムに
医療機関へ更新・反映

IV. 帰署～事務処理

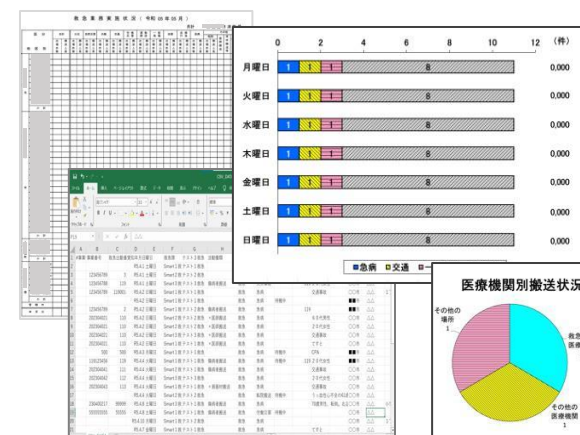
⑩⑪

- ・Smart119消防OAシステムへの自動反映
→救急活動記録票、救急救命処置録など
- ・国報告CSV/統計出力可能
- ・その他各種帳票等に反映
- ・事後検証

※既存OAシステムへの連携も可 (要相談)



隊員の業務負荷軽減 事務作業時間短縮効果



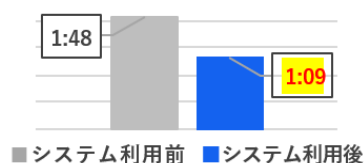
【訴求ポイント】 赤字で記載

【導入効果】

現場滞在時間の推移



受入要請から病院確定までの平均時間



【導入実績】

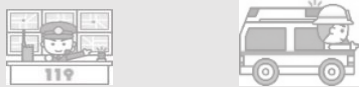
- ◇千葉市消防局
- ◇千葉県 (千葉市を除く30消防本部)
- ◇江別市消防本部
- ◇東広島市消防局
- ◇桑名市消防本部

帰署途中に端末へ入力
帰署後にPCから出力可能



フェーズⅣ

⑫救急車の資材在庫管理

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着 	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	IV . 帰署 ～ 事務処理 	
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼		⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

システム名：期限管理 ～リミトック～
フェーズ：Ⅳ／ 機能：⑫救急車の資材在庫管理

【システムの概要（システムの説明）】

救急車で使用する資材の在庫管理や使用期限、免許証の更新日等期限に関する情報をデジタルで管理します。アラート機能を活用して更新期限が近付いていることを気づかせることができます。また、資材の集計作業の短縮にも活用できます。

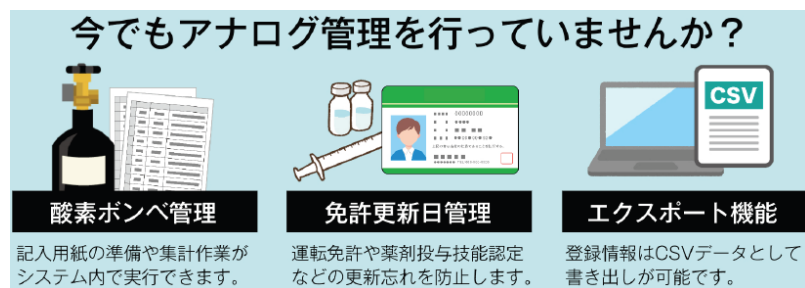
詳しい資料はこちらを「PandA_リミトック1.1.pdf (<https://acrobat.adobe.com/id/urn:aaid:sc:AP:ae194cb3-b874-4ce1-bf21-6d87c79ae750>)」ご参照下さい。

【訴求ポイント】

救急業務に特化した在庫管理及び期限管理を行います。運転免許や資格期限、酸素ボンベの耐圧期限等の更新忘れを防止します。資材の期限情報はパソコンやスマホ端末から確認することができるため、集計作業が簡易化されます。また、資材の写真やコメントを共有することができます。

【導入効果】

アラート通知による期限切れの防止、在庫集計の時間短縮、ペーパーレスによる保管場所の削減



【お問合せ先】

会社名：株式会社イーバイピー
担当部署：ソリューション事業部

会社HP：<https://www.exp-corp.com/>
連絡先：090-9306-1003/matsumoto@exp-corp.com/松本

システム名：クラウド在庫管理システムzaico
フェーズ：Ⅳ／機能：⑫救急車の資材在庫管理

■ システム概要・訴求ポイント

あなたの代わりに
面倒な在庫管理を担います



かんたんリアルタイム更新

少ない手間でミスなく在庫を更新。
リアルタイムにデータ反映します。



在庫データを見える化

現在庫、入庫/出庫予定、履歴などのデータを共有。いつでも誰でも、zaicoを見れば在庫状況がわかります。



発注を仕組み化

発注業務の属人化を解消し、欠品や過剰在庫を防ぎます。

※記載のサービス内容や料金は2025年1月時点のものです。

■ 導入効果 愛知県春日井市消防本部の場合



愛知県春日井市消防本部

消防署の在庫管理をDX化！作業効率7倍、棚卸時間は3分の1に短縮！

業種	官公庁・自治体
従業員数	～50名
地域	中部
課題	棚卸を効率化したい / 紙やExcelでの管理をなくしたい / 過剰在庫・欠品をなくしたい / 管理の属人化をなくしたい
活用機能	発注点管理 / QRコードのラベル印刷 / QRコード/バーコードスキャン
管理物品	器材 / 資材

品名	数量	单位	原價	買入價	買入價	原價
1. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
2. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
3. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
4. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
5. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
6. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
7. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
8. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
9. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00
10. 猪肉	2.5	kg	10.00	8.00	8.00	10.00

春日井市消防本部は
紙管理からの脱却を実現！

■ 料金

- ・初期費用**0円**～
- ・月額**3,980円**～
- ・スマホとPCで！特別な機材は不要！



ミニマムプラン ¥3,980/月 (税込 ¥4,378)

入庫/出庫、棚卸時の人的ミスをなくす基本的な機能を利用できます
このプランに含まれるユーザー数: 3

■ 導入実績

導入企業数

継続利用率

17万社以上※

90%以上※

※2024年5月時点zaico登録者実績より

公式サイト



【問い合わせ先】



←お問い合わせはフォームから
株式会社ZAICO カスタマーサポートチーム

システム名：クラウド在庫管理ソフト KG ZAICO

フェーズ：Ⅳ／機能：⑫救急車の資材在庫管理

■システムの概要

スマートフォン/タブレット/パソコンで利用できるクラウド在庫管理アプリです。



■訴求ポイント

どこでも利用できる

倉庫や救急車内で在庫情報をリアルタイムに確認・更新できる

誰でも簡単に操作できる

バーコードのスキャン、ボタンをタップするだけなのでとても簡単

必要な機能を網羅

発注点管理や期限管理など、救急資器材の在庫管理に必要な全ての機能を完備

伴走支援

初期データの登録や利用環境の設定をリモートでしっかりとサポート

■導入効果

紙・エクセルによる在庫管理と比較した実績値をもとに算出

在庫確認時間 → 99%短縮

出庫処理時間 → 85%短縮

棚卸時間 → 62%短縮

薬剤廃棄ロス → 確認漏れゼロ

救急資器材の在庫管理に関する業務を劇的に改善。救急要請対応、訓練などの本来業務に集中することができます。

詳細は事例記事よりご確認ください→



■導入実績

一部を記載。他にも多数の導入先・トライアル中の消防署があります。



西春日井広域事務組合消防本部



小牧市消防本部



丹羽広域事務組合消防本部

■費用の目安

リーズナブル

初期費用	0円
年間利用料	117,600円～(税抜)*

* ライトプラン(3ユーザーパック) 9,800円/月を想定

【お問い合わせ先】

兼松株式会社
Business Co-Creation Center

TEL : 080-2092-8892
Mail : bc3@kanematsu.co.jp

ウェブサイト リンク→
URL <https://bc3.kanematsu.co.jp/kgzaico>



システム名：車両管理等システム（kintone） フェーズ：Ⅳ／機能：⑫救急車の資材在庫管理

・システムの概要（システムの説明）

消防車両や救急車などの「運行管理」・「車両管理」・「修理依頼」などを行うシステムです。

運行前や運行後の点検・記録を現場からモバイル端末で行うことが可能になり、事務所に戻る・転記するといった業務を削減することができます。

また、修理依頼書及び説明資料作成の手間を削減することも可能です。

このシステムはkintone（業務アプリがつけれるサイボウズのノーコード・ローコードツール。）で構築されており、それぞれの団体の業務や要件にあわせて設定を柔軟に変更することができます。

↑ 運行後に記載する運行日誌の画面

消防車両から運行日誌を記載 →



・訴求ポイント

消防車両や救急車などの運行前や運行後の点検・記録を現場からモバイル端末で行うことを可能にし、現場で紙に運行記録をメモし、事務所に持ち帰りシステムに転記するといった手間を削減することができます。

また、システムに必要項目を入力すると修理依頼書と説明資料が完成し、担当部署へ迅速に状況報告できます。その後のやり取りもkintoneのコメント機能を活用することで、修理依頼書と説明資料作成にかかる手間を削減できます。

他にも現場から上がってくる修理依頼書を取りまとめるデータベースとしてkintoneを活用することも可能であり、システムを見るだけで車両や設備が過去に受けた修理や点検を簡単に確認することもできます。

・導入効果

24時間ごとに職員が入れ替わる時の課題だった申し送り時間も圧縮することができ、災害対応訓練等の「本来の業務」に充てる時間を創出できるようになりました。

・導入実績

・那覇市消防局様（導入支援：株式会社システック沖縄様）

事例ページ：<https://page.cybozu.co.jp/-/cybozu-fukuoka/activities/13430>

・費用の目安

kintone：月額 1,800円（税別）/1ユーザー

※官公庁などの公共団体での業務利用については、アカデミック/ガバメントライセンス
月額1,080円（税別）/1ユーザーがご利用いただけます。

※最小10ユーザーから契約いただけます。

※本システムの構築を外注する場合、別途、構築費用等が必要です。

【問い合わせ先】

サイボウズ株式会社（<https://cybozu.co.jp/>）

担当部署：営業本部 ソリューション営業部 公共グループ

電話番号：03-4306-0810/メールアドレス：cy-public@cybozu.co.jp

システム名：Panda 積載管理アプリ
フェーズ：Ⅳ／機能：⑫救急車の資材在庫管理

【システムの概要（システムの説明）】

救急活動では、出勤から現場へ、現場から病院へ、また帰署するタイミングで資器材の積載確認が必要です。Bluetoothのタグを使用して積載管理アプリを活用することで、スピーディに資器材の確認及び出勤／帰署することが可能になります。詳しい資料はこちらを「Panda_積載管理5.3.pdf（<https://acrobat.adobe.com/id/urn:aaid:sc:AP:0cf2246d-34d2-454b-9e2f-28d006d4797a>）」ご参照下さい。

【訴求ポイント】

全国で救急車両の出勤が逼迫している中、1秒でも早く救急活動が行えるよう救急隊員の方々の業務時間短縮をサポートします。また、マイナンバーカード、保険証、お薬手帳など預かり品を取り扱い履歴として残すことができます。

【導入効果】

出勤／帰署の時間短縮、預かり品の返却忘れ防止

【費用】

1ライセンス：月額 5,000円（ライセンス+ビーコン（タグ3個付き））
年間 60,000円（ライセンス+ビーコン（タグ3個付き））

追加タグ：タグ1個 1,800円 / ブザー音がでるタグ1個 4,800円

※携帯アプリからWEBシステムへアクセスが発生するため、別途パケット料金が発生します。



【お問合せ先】

会社名：株式会社イーバイピー
担当部署：ソリューション事業部

会社HP：<https://www.exp-corp.com/>
連絡先：090-9306-1003/matsumoto@exp-corp.com/松本

システム名：SAFE（Support Action for Fire and Emergency services）在庫システム

フェーズ：Ⅳ／機能：⑫救急車の資材在庫管理

システム概要

救急車の資材在庫の管理にRFID（Radio Frequency Identification）システムを活用します。

管理資器材に専用のICチップ付のシール（ICタグ）を貼付し、専用の読取り機（リーダー）にてそのICチップデータを読み込み、各署毎に作成されたクラウド在庫表にデータを送信する。（説明動画サイト：<https://youtu.be/Qpa0aRn8ZzA>）



本部はクラウドにて各署のデータを把握できる上、本部全体で管理している資器材の状況を確認する事ができる。

訴求ポイント

- ① 現場での資材管理の作業が迅速にかつ、正確及びリアルタイムで把握できる。
- ② 各署に配布される末端機器の操作は容易であり、管理作業は誰でも可能になる。
- ③ 倉庫及び救急車内にて在庫確認作業は非常に短時間であり操作者を選ばず即時に不足品・不明品の判明が可能。
- ④ 作業履歴がカレンダー形式にて自動登録され、各署は自署、本部は全署の納品、持出等の作業が把握できる。
- ⑤ 資材の「使用期限」をクラウド内で自動管理するため期限切れを優先使用、署間横持等の指示が可能。
- ⑥ 本部が使用実績、作業履歴の把握にて予算策定の効率化及び資材管理業務全体のガバナンスの保持が可能。

導入効果

導入した民間企業が90%以上の時間短縮に成功したRFIDを採用し、救急隊員の帰署後作業の削減を行い「働き方改革」に貢献。

コスト面は、1日1時間作業をした場合、人件費コストとして約1,980円※/日及び、在庫Lost（期限切れ・不明等）を年間5%で計算した場合、約750,000円が1署毎に見えないコストとして発生しており、このコストの削減。

※ 検査員単価：「R3地方公務員給与実態調査」全地方公務員全職種平均単価

導入実績

現在の導入実績はありませんが、11月より三重県津市消防本部にてデモを行っております。

費用の目安

基本パッケージ（クラウド管理料・機器貸出料）として1署約20,000円/月を目安としています。

株式会社 リソコ

ホームページ

： <https://resoco01.studio.site/>

連絡先

： 070-4288-7425

e-mail： Info-safe@re-soco.co.jp

システム名：救急情報管理システム ベストル119Light

フェーズ：Ⅳ／機能：⑩⑪⑫救急車の資材在庫管理⑬

再掲

・システムの概要

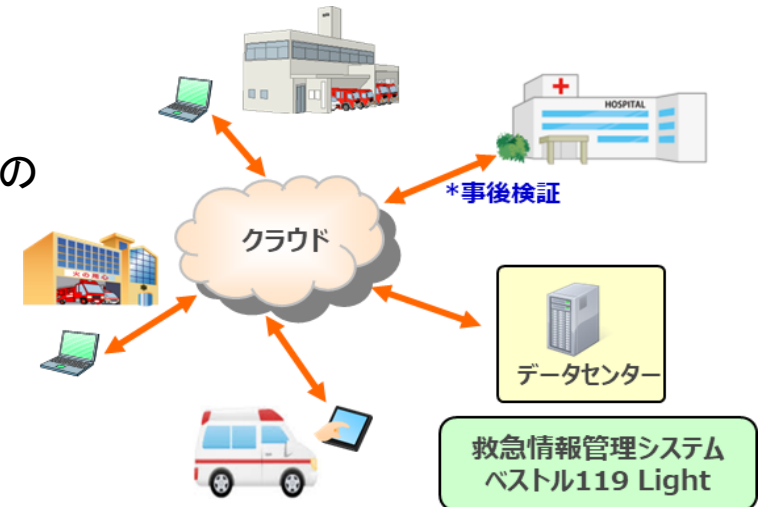
- * クラウド上のデータセンター活用によるSaaS型救急情報管理システム
- * 消防庁のSaaS型消防業務システム（[G 1 0 2]消防業務システム標準仕様書機能一覧 xlsx)に対応
- * 救急医療・災害医療・救助資器材に長年携わり消防現場の要望を取り入れ、ランニングコストを抑え、消防業務の効率化が図れるシステム
- * 通信指令システムや救急医療情報システムなどの他社システムとの連携が可能

・訴求ポイント

- * 自由項目(入力項目)追加、様式作成(報告書)、汎用統計(帳票作成、調査依頼対応)の標準機能により無償でカスタマイズが可能
- * 法改正や消防庁の調査内容の変更に対する無償アップデート対応
- * 月額単位の定額料金でサーバー更新などの追加費用不要

・導入効果

- * タブレットなどを使用して、帰署前での救急事案入力、閲覧が可能
- * SaaS型システムのため、技術者のリモートサポートでの迅速な対応が可能
- * 消防庁と同等の突合チェック機能により国報告時におけるエラーを回避し、業務効率化が図れる



<ベストルHP>: <https://wako-shoji.com/bestle119>

【問い合わせ先】

事業者名：株式会社ワコー商事 HPアドレス：<https://wako-shoji.com> 担当部署：営業本部

連絡先：〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5

TEL 0466-84-2485、 FAX 0466-84-2484、メールアドレス info@wako-shoji.com

システム名：救急総合支援システムATAS（エイタス）

フェーズ：ⅡⅢⅣ／機能：④⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑫救急車の資材在庫管理

再掲

・システムの概要

救急総合支援システムATAS（エイタス）は、救急隊が患者情報を素早く入力できるシステムです。入力した患者情報を消防本部や医療機関と共有することで、迅速な搬送を支援します。また、消防OAシステムと連携することで、帰署後の報告書作成など、救急隊の事務負担を軽減し、現場活動から事務作業までを一貫して効率化・最適化することができます。

・訴求ポイント

本システムは救急現場に必要な機能をまとめたオールインワンパッケージです。医療機関とのデータ、画像共有はもちろんのこと、医療機関の空き情報の確認から引継書作成まで可能です。また、OAシステムと連携することで記録した内容を反映することで事務処理の効率化も図れます。その他機能については、お問い合わせください。

・導入効果

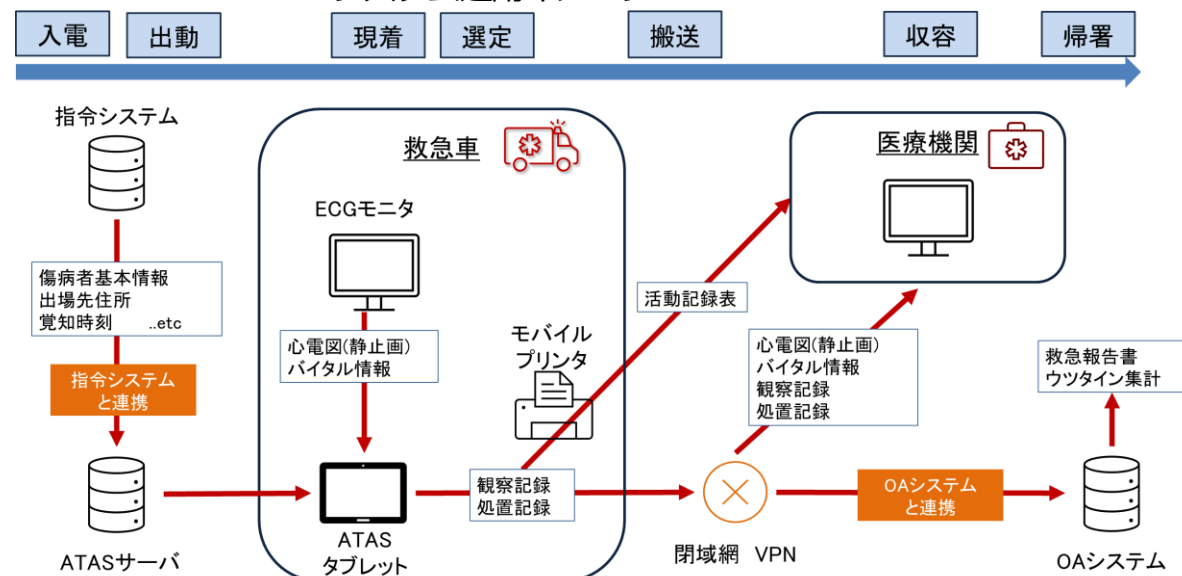
導入いただいた消防様では、覚知から病院収容までの時間が0.9分短縮でき、帰署後の活動記録作成時間は6.5分（11分36秒→4分58秒）短縮できています。

・導入実績：15消防本部

・費用の目安：ATASサーバライセンス料：1台あたり600,000円/年 ATASクライアントライセンス料：1台あたり120,000円/年

※ライセンス費用とは別途、システム開発費用が発生します。

・システム運用イメージ



【問い合わせ先】 株式会社麻生情報システム <https://www.aso-group.co.jp/ais/>
ビジネスソリューション部 MAIL: support-qq@ais-idc.jp

システム名：M-NEXT

フェーズ：Ⅳ／機能：⑩⑪⑫救急車の資材在庫管理

再掲

■システム概要（システムの説明）

■M-NEXTは、救急活動フェーズⅠ・Ⅱの各種情報との連携機能により、⑩活動記録票への自動反映を実現しています。また、⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援も可能です。他に、資機材管理システムによる⑫救急車の資材在庫管理も可能です。

・訴求ポイント

■M-NEXTは、消防OA単独での導入が可能です。他システムとの分離発注により、調達事務の分散化が図れます。また、消防OAのライフサイクルによる更新計画が可能となり、最新のICT技術の検討機会が増えたり、導入コストの削減が期待できます。

・導入効果

■M-NEXTの導入で、救急オンライン報告、月報・年報統計処理、議会報告用等に係る事務処理の時短を実現します。

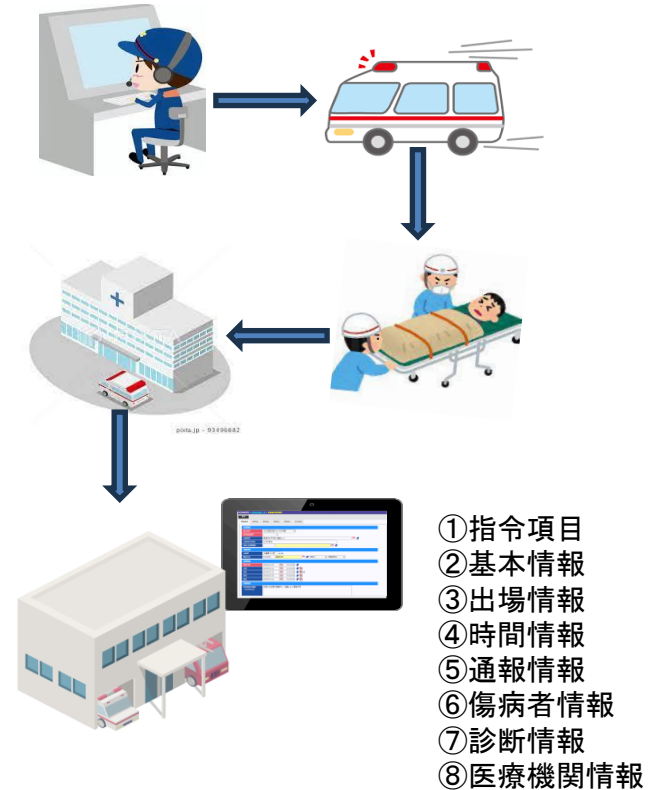
・導入実績

■全国63の政令市消防本部～離島型消防本部への導入実績があります。

・費用の目安

■別途、ご相談（選択される業務数やネットワーク構成により異なります）

■救急活動フェーズⅠ・Ⅱとの連携項目（例）

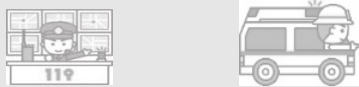


【問い合わせ先】

株式会社M J C <https://www.mjcnet.co.jp/>
事業本部営業部 連絡先（0985-25-8228/market-ing@mjcnet.co.jp）

フェーズⅣ

⑬救急隊員の労務負担の把握

フェーズ	I . 119入電～出動～現場到着	II . 傷病者接触～車内収容～搬送先選定	III . 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継)	IV . 帰署 ～ 事務処理
				
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等)		⑩活動記録票への自動反映 ⑪活動記録票や予後入力等による事後検証支援 ⑫救急車の資材在庫管理 ⑬救急隊員の労務負担の把握
		⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継書へ自動反映 ⑨電子サイン	

フェーズ：Ⅳ／機能：⑬救急隊員の労務負担の把握

【概要】

救急業務の特殊な勤怠管理を、インターネット接続が可能なスマートフォン等を活用することによって、当直中の執務状況・活動状況・休憩状況をリアルタイムに当直責任者が把握することができるサービスです。

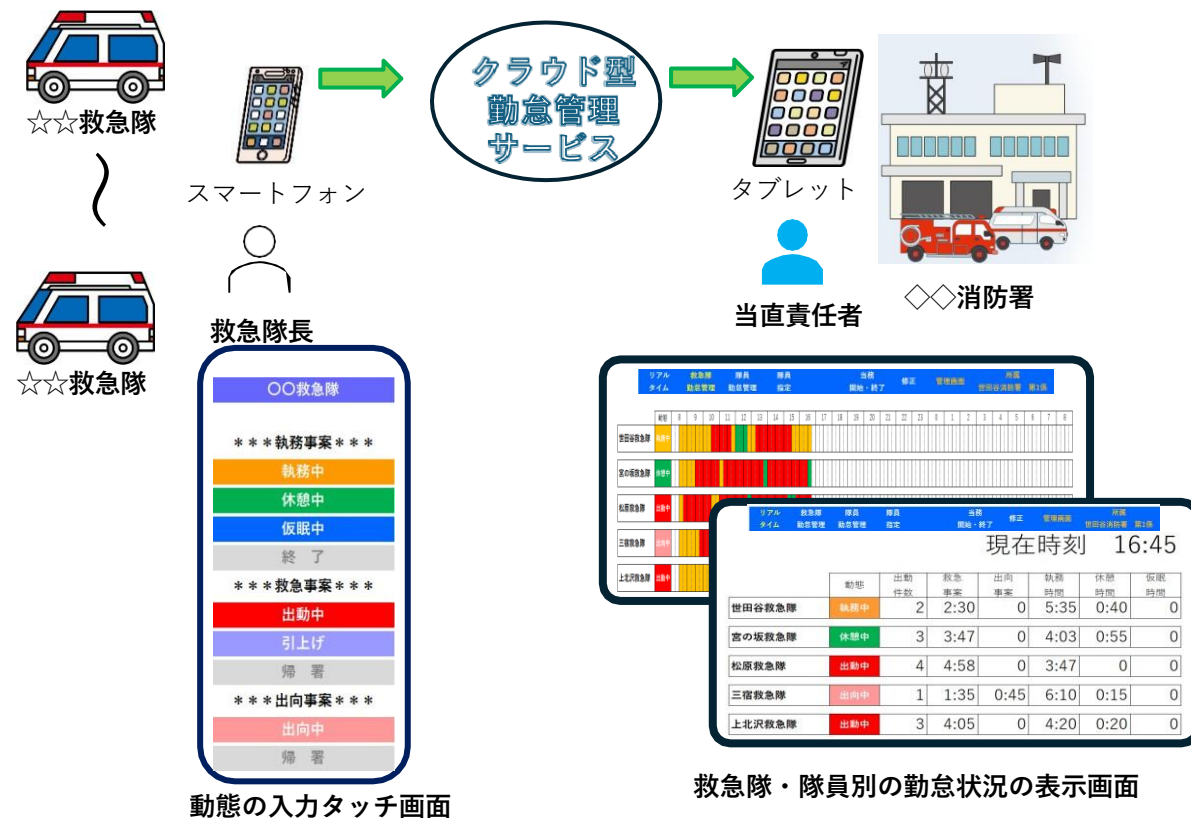
【ポイント】

- ・大掛かりなシステム導入は不要です。
- ・勤怠状況を事案ベースで管理します。
- ・勤怠状況を数値表やシフト表で把握できます。
- ・様々な労務負担の軽減策に対応します。
- ・指令システムと連携することができます。

勤怠状況入力の自動化、位置情報、走行距離の表示が可能。

【導入効果】

- ・当直責任者の適時適切な勤怠管理をサポート
- ・救急隊員の適正な労務管理⇒住民サービスの向上



【問い合わせ先】

 050-5830-0750

[受付時間]平日9:00~17:00]

Arcadia 株式会社アルカディア
Computing Innovation® <https://arcadia.co.jp>

〒562-0043 大阪府箕面市桜井一丁目10番28号

システム名：消防力DX（稼働状況可視化/救急隊負荷アラート）

フェーズ：Ⅳ／機能：⑬救急隊員の労務負担の把握

「概要」

全救急隊の活動状況データをシステムで分析、消防力/救急力に係る稼働状況を地図や一覧として可視化するサービスです。救急隊の動きを把握でき、高負荷や特定条件下に陥っている救急隊情報をシステムが発見し、早期にアラートや判断情報を発出します。私たちNECは最新技術によるDXの様々な技術×ノウハウを結集し、「新しいあたり前の社会」を全国の消防様と創ってまいります。

■訴求ポイント

- ①管轄エリアの消防力低下/空白地域発生時に早期にアラートを発出
- ②救急車両の負荷/稼働状況を把握するための稼働状況リストを表示
- ③指令後の災害点により近い出動可能車両が存在した際に早期アラートとして通知

■導入効果

**確認業務
軽減**

－消防力低下アラート－
救急車両位置や管轄内の稼働状況を逐次確認する作業の削減が可能となります（一目で可視化）

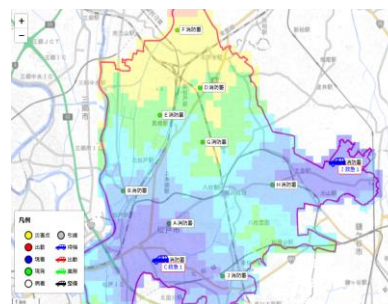
**検知速度
向上**

－救急隊稼働状況可視化－
救急隊稼働状況において、特定条件発生時（救急隊高負荷）に早期にシステムが検知し、判断情報を指令員へ発出します

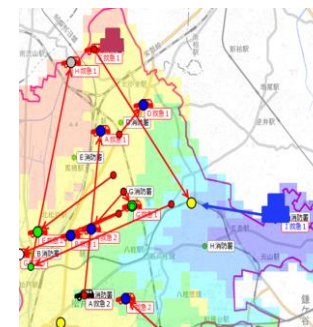
**駆付時間
短縮**

－救急車両入替アラート－
最直近車両の選択余地が発生した際、システムから指令員へ入替提案を促し、駆け付け時間短縮に貢献します

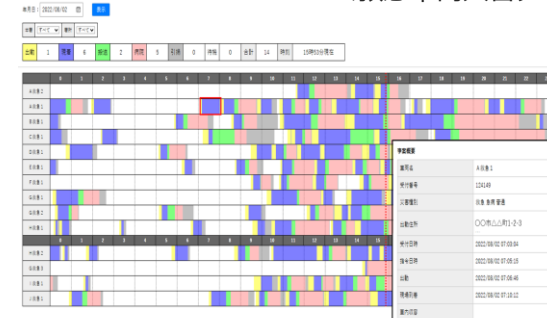
システムイメージ



＜消防力可視化＞



＜救急車両入替アラート＞



＜救急隊負荷アラート＞

【問い合わせ先】

日本電気株式会社 レジリエンス事業部門 レジリエンス営業統括部宛

問い合わせフォーム https://www2.nec.co.jp/contact_v1/contact_form.html

※問い合わせの際にはリンク内・ご用件を「見積・概要説明・デモ」を選択いただき、お気軽にお問合せください。

NECの消防DX

明日もあなたに会える未来の仕組みづくり

弊社取組紹介
YouTube



システム名：救急情報管理システム ベストル119Light
フェーズ：Ⅳ／機能：⑩⑪⑫⑬救急隊員の労務負担の把握

再掲

・システムの概要

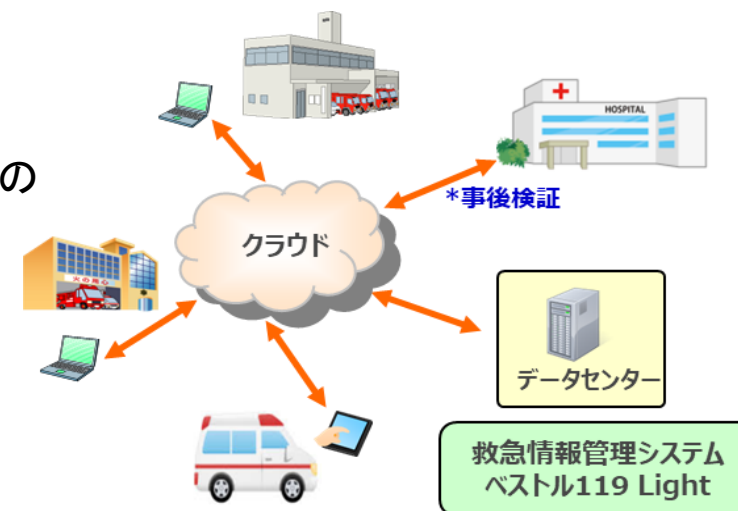
- * クラウド上のデータセンター活用によるSaaS型救急情報管理システム
- * 消防庁のSaaS型消防業務システム（[G 1 0 2]消防業務システム標準仕様書機能一覧 xlsx)に対応
- * 救急医療・災害医療・救助資器材に長年携わり消防現場の要望を取り入れ、ランニングコストを抑え、消防業務の効率化が図れるシステム
- * 通信指令システムや救急医療情報システムなどの他社システムとの連携が可能

・訴求ポイント

- * 自由項目(入力項目)追加、様式作成(報告書)、汎用統計(帳票作成、調査依頼対応)の標準機能により無償でカスタマイズが可能
- * 法改正や消防庁の調査内容の変更に対する無償アップデート対応
- * 月額単位の定額料金でサーバー更新などの追加費用不要

・導入効果

- * タブレットなどを使用して、帰署前での救急事案入力、閲覧が可能
- * SaaS型システムのため、技術者のリモートサポートでの迅速な対応が可能
- * 消防庁と同等の突合チェック機能により国報告時におけるエラーを回避し、業務効率化が図れる



<ベストルHP>: <https://wako-shoji.com/bestle119>

【問い合わせ先】 事業者名：株式会社ワコー商事 HPアドレス：<https://wako-shoji.com> 担当部署：営業本部
連絡先：〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5
TEL 0466-84-2485、 FAX 0466-84-2484、メールアドレス info@wako-shoji.com

システム名：搬送中のゆれ防止アプリおよび、搬送状況の数値化・共有化システム（通称：ゆれログ）

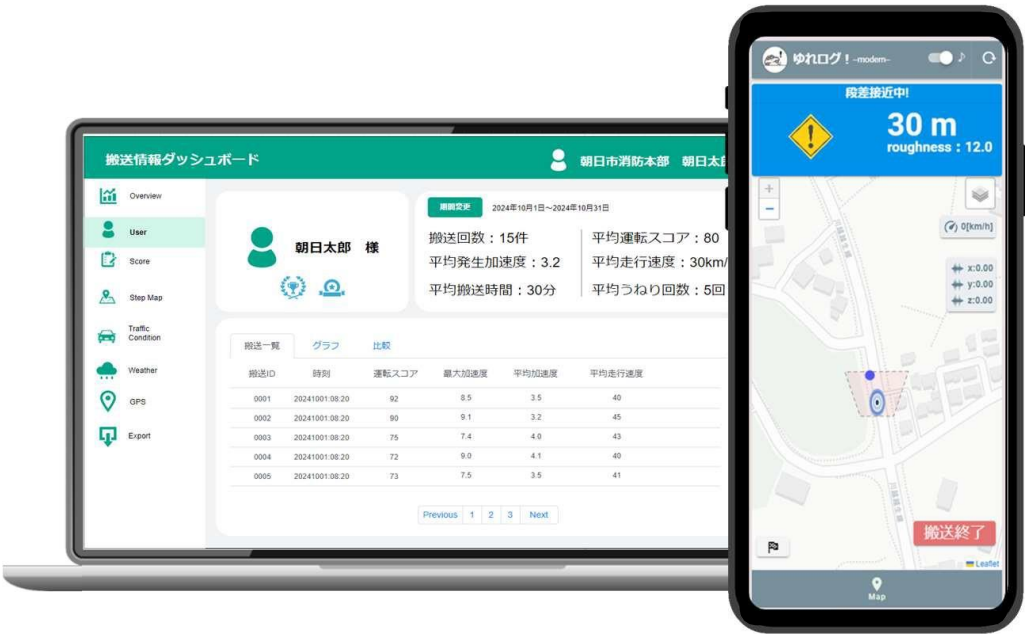
再掲

フェーズ：Ⅳ/機能：⑩⑬救急隊員の労務負担の把握



【システムの概要】

- ①アプリ通知により走行中のゆれを低減
- ②ダッシュボードで走行記録の確認・共有・労務管理



【訴求ポイント】

- ・搬送中に音声で段差をお知らせすることで、ゆらさない搬送をサポートします。
- ・各隊員の搬送の記録をスコア等で確認でき、安全安静な搬送の教育コンテンツとして活用できます。
- ・各隊員の記録をもとに、走行時間・走行距離・平均加速度のしきい値を設定して労務管理に活用できます。

【導入効果】



搬送中のゆれ低減



運転手の心理的
負担軽減



教育への活用
隊員スキル向上

【導入実績】

千葉県栄町消防の救急搬送で実証中

【導入費用の目安】

1 消防本部 10万円/月～（予定）

【問い合わせ先】

会社名：朝日航洋株式会社

担当部署：イノベーション推進室

☎：連絡先：049-256-7862

✉：116120@aeroasahi.co.jp

システムの詳細情報はこちら

https://yureloglab001.blob.core.windows.net/media/20241204_%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E5%85%AC%E5%8B%9F%E7%94%A8%E8%B3%87%E6%96%99_blob%E6%90%AD%E8%BC%89.pdf?sp=r&st=2024-12-04T03:59:57Z&se=2025-12-04T11:59:57Z&spr=https&sv=2022-11-02&sr=b&sig=bXa%2F4AVezS3clXxJkTDmyKE9iRX6Uhdxf6Q3rUOs4%3D



システム名：救急需要予測及び配置シミュレーション

フェーズ：ⅠⅣ／機能：①②⑬救急隊員の労務負担の把握

再掲

【システムの概要】救急需要を予測し予測に応じた最適な配置をシミュレーションする



データ解析

- 過去の救急統計データ
- 住民基本台帳地区別・年齢別人口
- 地区別・年齢別人口/人口推計
- 国勢調査将来人口推計
- 天候/天気予報など



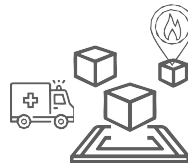
救急需要予測

地理情報、使用道路、エリア、地区、時間帯、天候、人口、高齢者の割合など、様々な要因を網羅的に解析しAIを活用し需要を予測



シミュレーション

- 救急隊の配置可能場所、増隊場所、移動配置場所等を設定
- 運用条件を設定（曜日/署所/時間）
- 最適な配置を運用計画を検討



最適配置・部隊運用

事例①

短期的：システム運用

救急需要予測最適配置シミュレーションシステムの運用

事例②

長期的：報告書

救急活動記録データ分析・調査/
将来予測シミュレーション レポート作成

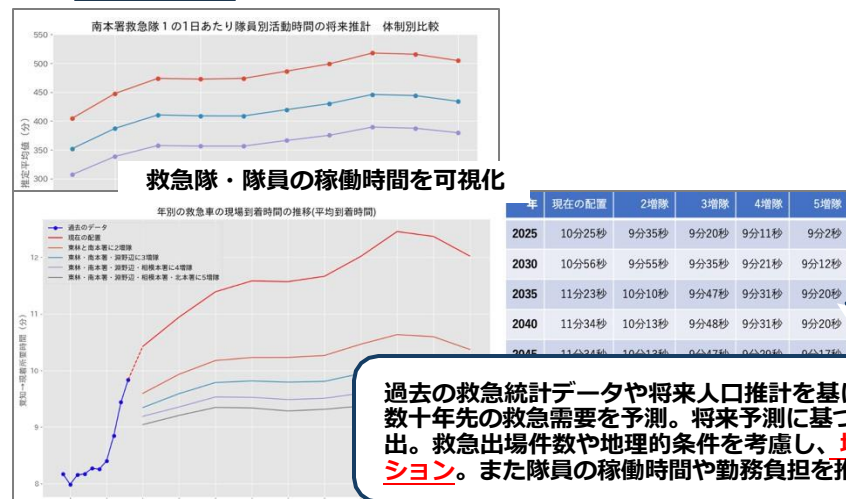
事例①

例：2日後までの需要予測と増隊配置シミュレーション



事例②

例：数年先の需要予測と増隊配置シミュレーション



【訴求ポイント】赤字で記載

【導入効果】事前に救急需要を予測し配置や増隊場所を決めることで初動が早くなり、現場到着時間の短縮や救急隊の効率の良い活動が期待できる。

SMART119 inc.

<https://smart119.biz/>

事業開発部

info@smart119.biz

連絡先：043-312-7471

